

# 2008年度 事業報告書

自 2008年4月 1 日

至 2009年3月31日

社団法人 日本建築学会

〒108-8414 東京都港区芝5丁目26番20号

電話 (03)3456-2051 (代表)

# 2008 年度事業報告書

## 目 次

1. 会 議	1		
1.1 総 会	1.2 理事会		
1.3 支部長会議	1.4 協力委員会議		
1.5 7学協会会長会議	1.6 建築学会・土木学会正副会長会議		
1.7 5会会長会議	1.8 日本技術者教育認定機構(JABEE)		
1.9 APEC アーキテクト・プロジェクト・モニタリング委員会			
1.10 日本工学会 CPD 協議会	1.11 建築 CPD 運営会議		
1.12 建設系 CPD 協議会運営委員会	1.13 UIA2011 東京大会組織委員会		
1.14 (仮称)産学連携建築教育推進協議会(準備会)			
2. 大 会	20		
2.1 概 要	2.2 学術講演会・建築デザイン発表会		
2.3 部門別研究集会(研究協議会・研究懇談会・パネルディスカッション・緊急集会ほか)			
2.4 2008 年日本建築学会賞(論文)受賞者記念講演			
3. 表 彰	27		
3.1 大 賞	3.2 学会賞	3.3 教育賞	3.4 奨励賞
3.5 作品選奨	3.6 文化賞	3.7 優秀卒業論文賞・優秀修士論文賞	
4. 支部共通事業	35		
4.1 講習会	4.2 設計競技	4.3 全国大学・高専卒業設計展示会	
5. 会 誌	40		
5.1 建築雑誌	5.2 作品選集	5.3 総合論文誌	
6. 学術振興	42		
6.1 論文集	6.2 大会学術講演梗概集	6.3 技術報告集	
6.4 英文論文集	6.5 研究補助・研究助成		
7. 委員会活動	48		
7.1 支援建築会議	7.2 全国建築系大学教育連絡協議会		
7.3 会務関係	7.4 研究関係		
7.5 社会ニーズ関係	7.6 学術レビュー関係		
7.7 教育関係	7.8 情報関係		
7.9 委員会数・開催数・委員数			
8. 講習会・講演会・シンポジウム・展示会・見学会等	74		
8.1 支援建築会議主催	8.2 全国建築系大学教育連絡協議会主催		
8.3 会務関係委員会主催	8.4 調査研究委員会主催	8.5 特別研究委員会主催	
8.6 受託研究委員会主催	8.7 社会ニーズ関係主催		
8.8 建築普及事業関係委員会主催	8.9 情報関係委員会主催	8.10 本会・他学協会共催	
8.11 開催数・参加者数			

9.	教育・文化事業				85
9.1	建築文化週間	9.2	講演会・展覧会	9.3	設計競技
9.4	教育・文化事業参加者数				
10.	国際交流事業				99
10.1	国際交流振興基金	10.2	渉外関係		
10.3	外国人来会者	10.4	現代日本建築展 1996-2006		
11.	図書館				101
11.1	運営管理	11.2	「建築雑誌」「論文集」の交換・寄贈		
11.3	受入図書・雑誌・研究報告	11.4	利用者数		
11.5	図書館複写サービス	11.6	研究助成関係		
12.	建築博物館				104
12.1	運営管理	12.2	事業		
13.	建策・進言・要望・提言				105
14.	刊行図書				106
14.1	直営出版物	14.2	委託出版物		
14.3	刊行物数	14.4	刊行物等からの引用転載許諾		
15.	会館				109
15.1	建築会館	15.2	建築会館ホール利用状況		
15.3	建築会館会議室使用状況	15.4	建築博物館・ギャラリー利用状況		
15.5	イベント広場利用状況	15.6	三宅島研修所		
16.	会員				112
16.1	会員数の移動	16.2	支部地域会員数		
16.3	名誉会員	16.4	終身正会員		
16.5	会友	16.6	メールサービス		
16.7	能力開発支援制度 履修登録	16.8	ホームページアクセス数		
17.	その他の重要事項				116
17.1	理事の登記に関する事項	17.2	文部科学省実地調査に関する事項		
17.3	国税調査に関する事項	17.4	都税調査に関する事項		
17.5	監事監査会に関する事項	17.6	寄付に関する事項		
17.7	委託研究の受託契約に関する事項	17.8	委託業務の受託契約に関する事項		
17.9	主務官庁（文部科学省）からの連絡事項等				
18.	役員等				120
18.1	民法上の役員	18.2	監事	18.3	代議員
18.4	支所長	18.5	職員		
	各支部事業報告				125
	(1) 北海道	(2) 東北	(3) 関東	(4) 東海	(5) 北陸
	(6) 近畿	(7) 中国	(8) 四国	(9) 九州	

支部・支所所在地

# 1. 会 議

## 1.1 総 会

開催年月日 場 所	主 要 議 事 と そ の 処 理
2008. 5. 30 建築会館ホール	1. 2007 年度事業報告案を承認議決 2. 2007 年度収支決算，財産目録および未処分金処分案を承認議決 3. 2007 年度各支部事業報告，収支決算ならびに財産目録案を承認議決 4. 役員を選任について承認議決 5. 選挙管理委員会委員を次期留任代議員の中から 3 名の選任，正会員の中から会長指名の 2 名，理事の中から 2 名を承認議決
2009. 3. 19 建築会館ホール	1. 経理規則の改正案を承認議決 2. 2009 年度事業計画案を承認議決 3. 2009 年度収支予算案を承認議決

## 1.2 理事会（議事中，毎月の入・退会，委員会委員の委嘱・解嘱，終身正会員（16.4 参照）は不記）

開催年月日 場 所	主 要 議 事 と そ の 処 理
4 月理事会 2008. 4. 8 本会会議室	1. 後援・協賛の名義使用を承認 (1) 後 援 イ) (社)地盤工学会から，「講習会：地盤環境振動対策工法」「講習会：地下水を知る」 ロ) (社)地盤工学会から，「講習会：地盤・耐震工学入門」 ハ) 日本の景観を良くする国民運動推進会議から，「日本の景観を良くする国民運動推進会議全国大会」 ニ) 特定非営利活動法人シックハウスを考える会，安全な住環境に関する研究会から，「健康・省エネのための住まいを推進するシンポジウム IN 経団連：地球環境を守り，同時に国民の健康寿命守るための住宅」 ホ) 日本仕上学会から，「輝く女性の建築色彩フォーラム」 ヘ) 松下電工汐留ミュージアムから，「村野藤吾 建築とインテリア展：ひとをつくる空間の美学」 ト) 第 5 回世界構造制御モニタリング会議組織委員会から，「第 5 回世界構造制御モニタリング会議」 (2) 協 賛 イ) (社)空気調和・衛生工学会から，「平成 20 年度技術講演会：最新の建築設備と実施例」 ロ) (社)可視化情報学会から，「第 36 回可視化情報シンポジウム」 ハ) (社)日本能率協会から，「第 30 回 Japan Home & Building Show」 ニ) (社)腐食防食協会から，「第 46 回技術セミナー：腐食を理解するための電気化学入門」 ホ) (財)都市緑化技術開発機構から，「第 7 回屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール」 ヘ) 日本実験力学会から，「日本実験力学会 2008 年度年次講演会」 ト) ヒューマンインタフェース学会から，「ヒューマンインタフェースシンポジウム 2008」 2. 2008 年日本建築学会大賞・学会賞・教育賞・奨励賞・文化賞の表彰業績（大賞 2 件，学会賞論文 10 件，作品 2 件，技術 3 件，業績 4 件，教育賞 4 件，奨励賞 15 件，文化賞 3 件）を承認可決 3. 教育賞選考委員会運営規程の改正について議論の結果，教育賞選考委員会に差し戻すこととした。 4. 会費長期滞納会員，正会員（個人）1,591 名，準会員 1 名，合計 1,592 名を下記の議決条件で 6 月理事会の議決を経て除名することを承認可決

	<p>議決条件：代議員・理事・監事は、会費長期滞納者に対し会費納入を督促することを条件に、2008年5月末日までに除名の保留を申し出る。除名を保留された会費長期滞納者は、7月末日までに会費を納入しなければ除名とする。</p> <p>5. 2009年度大会開催会場について東北支部から下記による受諾の回答報告 主会場：東北大学 川内北キャンパス 期間：2009年9月4日（金）～6日（日）</p> <p>6. 通常総会（5月）の理事担当について承認</p> <p>[報告・懇談事項]</p> <p>1. 賞の増加に伴う経費削減方策の検討報告 2. 男女共同参画推進行動計画（案）について報告 3. 情報委員会活動状況報告 4. 第9期代議員選挙結果報告 5. 「ユビキタス・コンピューティング社会の建築・都市特別研究委員会」報告</p>
<p>5月理事会 2008. 5. 14 本会会議室</p>	<p>1. 委託研究の受託を承認 (1) 九州電力(株)土木部から九州支部へ、「RC 構造物の耐震補強方法の合理化に関する研究その2」</p> <p>2. 共催・後援・協賛の名義使用を承認 (1) 共 催 イ) エコデザイン学会連合から、「EcoDesign2008」 (2) 後 援 イ) UIA2011 東京大会日本組織委員会, open! architecture 実行委員会から、「open! architecture—建築のまち・東京を開放する」(追認) ロ) (財)日本建築防災協会から、「実務者のための『既存鉄骨造体育館等の耐震改修の手引と事例』講習会」 ハ) (財)建築環境・省エネルギー機構から、「地球温暖化防止に貢献するサステナブルなまちづくりシンポジウム」 ニ) 土木・建築書協会から、「丸善丸の内本店 第4回土木・建築図書特別展示即売会：持続可能な都市・建築・空間を目指して」 ホ) 村野藤吾研究会から、「村野藤吾研究会シンポジウム：村野藤吾建築の現在を考える」 ヘ) 第5回国際ワークショップ及び第3回国際学会国際顧問委員会から、「第5回国際ワークショップ：住宅建築におけるエネルギー消費と環境問題及び第3回国際学会：住環境と健康」 (3) 協 賛 イ) (社)日本騒音制御工学会から、「第67回技術講習会」 ロ) (社)計測自動制御学会から、「SICEセミナー：ポストロバスト制御—ロバスト制御の基礎から、拘束系の制御、モデル予測制御の最前線」 ハ) (社)軽金属学会から、「第84回シンポジウム：アルミニウムと鉄鋼の接合技術—基礎から応用まで」 ニ) (社)溶接学会から、「平成20年度溶接工学夏季大学：溶接・接合工学の基礎と応用」 ホ) (社)日本材料学会から、「第38回初心者のための有限要素法講習会（演習付）」 ヘ) (社)日本材料学会から、「第9回材料の衝撃問題シンポジウム」 ト) (社)日本材料学会から、「第23回信頼性シンポジウム：信頼性工学の新展開—環境と安全を支える新技術」 チ) (社)日本流体力学会から、「日本流体力学会年会2008」 リ) (社)日本鉄鋼協会育成委員会から、「第196・197回西山記念技術講座：鉄鋼原料の動向と製鉄技術の新展開」 ヌ) (社)日本鉄鋼協会育成委員会から、「第60回白石記念講座：社会基盤・産業基盤の安心・安全を支えるリスクベースインスペクション/リスクベースメンテナンス」 ル) (社)可視化情報学会から、「可視化情報学会全国講演会（釧路2008）」 ヲ) (社)日本能率協会, 日本医療福祉設備協会から、「HOSPEX Japan 2008：医療・福祉施設のための専門展示会（第37回日本医療福祉設備学会併設展示会）」 ワ) (財)ヒートポンプ・蓄熱センターから、「蓄熱月間」 カ) (財)建築環境・省エネルギー機構から、「第7回CASBEE公開セミナー」 ヨ) 太陽光発電協会, SEMI ジャパンから、「PVJapan2008：太陽光発電関連総合イベント」</p>

	<p>タ) 日本計算工学会から、「サマースクール：有限要素法による流れ解析の基礎と応用講習会」</p> <p>レ) 日本知能情報ファジィ学会から、「第 24 回ファジィシステムシンポジウム：ひとつのファジィ、いくつもの夢」</p> <p>ソ) 日本熱物性学会から、「第 29 回日本熱物性シンポジウム」</p> <p>ツ) 東京ガス(株)都市エネルギー事業部から、「建築環境デザインコンペティション：建築と設備のトータルな調和を求めて」</p> <p>ネ) 日本 MRS・IUMRS-ICA2008 組織委員会から、「IUMRS-ICA2008」</p> <p>3. 総会議案について下記議案を付議することを承認可決</p> <p>(1) 2007 年度事業報告案について</p> <p>(2) 2007 年度収支決算、財産目録および未処分金処分案について</p> <p>(3) 2007 年度各支部事業報告、収支決算ならびに財産目録案について</p> <p>(4) 役員の選任について</p> <p>(5) 選挙管理委員会委員の選出について</p> <p>4. 2008 年度支部事業計画ならびに収支予算案について承認可決</p> <p>5. 2008 年内部監査報告があり、指摘された事項については、関係委員会に通達し検討方を依頼することとした。</p> <p>6. 男女共同参画推進行動計画について原案を承認</p> <p>7. 「日本建築学会表彰規程」「日本建築学会賞選考委員会運営規程」「作品選奨選考委員会運営規程」の改正について原案を承認可決</p> <p>[報告・懇談事項]</p> <p>1. 「会員増強に向けた取り組み状況」を中心とする会員委員会報告</p> <p>2. 「建築会館の構造安全性に関する二次調査」に関する会館委員会報告</p> <p>3. 「学術推進委員会の活性化の具体案の検討と実施状況」を中心とする学術推進委員会報告</p> <p>4. 「機関リポジトリについての許諾申請に対する方針」を中心とする学術レビュー委員会報告</p> <p>5. 「本会出版物の販売不振や在庫増・テーマ細分化による小部数刊行物点数増加への対応等を中心とする刊行委員会報告</p> <p>6. 「新しい図書館イメージの展開」を下敷きにしたネットワーク拡充やデジタル化などの活動状況を中心とする図書委員会報告</p> <p>7. 2008 年度大会の発表題数 6,376 題（前年比 147 題増）の推移について報告</p> <p>8. 建築生産における品質確保のための仕組みと業務の現状と課題特別調査委員会報告</p> <p>9. 非構造部材（屋根、外壁、天井）の地震・風による被害の軽減化特別研究委員会報告</p> <p>10. 2008 年度上期国際交流振興基金援助報告</p> <p>11. 関東支部から「学習院ピラミッド校舎群の保存に関する要望書」の提出について報告</p> <p>12. 2007 年度鹿島学術振興財団研究助成報告</p>															
<p>6 月理事会 2008. 6. 17 本会会議室</p>	<p>1. 理事会運営規程ならびに本会財政の仕組みについて説明</p> <p>2. 会長職務代行者（副会長）の順序ならびに職務分担について斎藤会長から以下のように指名</p> <table border="0" data-bbox="391 1601 1045 1780"> <tr> <td>第 1 順位</td> <td>研究担当</td> <td>中川 武君</td> </tr> <tr> <td>第 2 順位</td> <td>会務担当</td> <td>最上 公彦君</td> </tr> <tr> <td>第 3 順位</td> <td>支部・学術レビュー担当</td> <td>中島 正愛君</td> </tr> <tr> <td>第 4 順位</td> <td>社会・情報担当</td> <td>深尾 精一君</td> </tr> <tr> <td>第 5 順位</td> <td>教育担当</td> <td>櫻井 潔君</td> </tr> </table> <p>3. 組織機構と理事の職務分担ならびに事務局担当者について確認</p> <p>4. 斎藤会長から、1 年間の活動概況報告と、今期の活動方針について説明</p> <p>5. 委託研究の受託を承認</p> <p>(1) 京都市総合企画局から、「京都の都市景観の創生に関する調査研究業務」</p> <p>(2) 三交不動産(株)、(株)野口建築事務所から近畿支部へ、「(仮称)アトレ国府宮 II 計画建設前後における風環境調査」</p> <p>(3) 三菱地所(株)大阪支店、鹿島建設(株)から近畿支部へ、「(仮称)新千里北町第三団地住宅建替え検討に係る建設前後における風環境調査」</p>	第 1 順位	研究担当	中川 武君	第 2 順位	会務担当	最上 公彦君	第 3 順位	支部・学術レビュー担当	中島 正愛君	第 4 順位	社会・情報担当	深尾 精一君	第 5 順位	教育担当	櫻井 潔君
第 1 順位	研究担当	中川 武君														
第 2 順位	会務担当	最上 公彦君														
第 3 順位	支部・学術レビュー担当	中島 正愛君														
第 4 順位	社会・情報担当	深尾 精一君														
第 5 順位	教育担当	櫻井 潔君														

6. 共催・後援・協賛の名義使用を承認
- (1) 共催
- イ) 日本学術会議 土木工学・建築学委員会から、「第 55 回構造工学シンポジウム」
  - ロ) (社)文教施設協会から、「平成 20 年度既存鉄筋コンクリート造・鉄骨造学校建物の耐力測定方法 (改定版) 実務講習会」
- (2) 後援
- イ) (社)建築設備総合協会から、「第 98 回建築設備総合ゼミナール：カーボンチャンス・エンジニアリング “次の一手”」
  - ロ) (社)日本建築設備総合協会から、「第 7 回環境・設備デザイン賞」
  - ハ) (社)日本コンクリート工学協会から、「第 4 回建設材料に関する国際会議 (ConMat' 09)」
  - ニ) (社)日本コンクリート工学協会から、「構造技術者のための非線形有限要素法の基礎と応用と実例に関する講習会」
  - ホ) (社)日本コンクリート工学協会から、「第 41 回コンクリート技術講習会：コンクリート技術の基礎知識」
  - ヘ) (社)日本溶接協会から、「熱切断作業の品質と安全講習会：ガス、プラズマ、レーザー切断の勘所」
  - ト) (財)日本建築防災協会から、「講習会：木造住宅の耐震診断と補強方法」
  - チ) コージェネレーション・地域冷暖房普及促進協議会から、「CHP・DHC 国際シンポジウム：地球温暖化に対する世界のエネルギー技術展望とコージェネレーション・地域冷暖房の役割」
  - リ) 早稲田まちづくりシンポジウム 2008 実行委員会から、「早稲田まちづくりシンポジウム&メーヤーズ会議 2008：時空間を『シェア』する 21 世紀の都市・地域づくり」
  - ヌ) 特定非営利活動法人 LED 照明推進協議会から、「JLEDS シンポジウム 2008：地球環境保護への期待—いよいよやってきた LED 照明の時代」
  - ル) 文化財保存修復学会から、「学会創立 75 周年記念・国際シンポジウム：東アジア、東南アジアの文化財の保存修復」
  - ヲ) 「都市を創る建築への挑戦展」実行委員会から、「都市を創る建築への挑戦展」
  - ワ) 社会マネジメントシステム学会から、「The Society for Social Management Systems 2009 (SSMS 2009)」
- (3) 協賛
- イ) (社)日本基礎建設協会から、「場所打ちコンクリート杭の施工と管理」
  - ロ) (社)腐食防食協会から、「第 46 回技術セミナー：腐食を理解するための電気化学入門」
  - ハ) (社)日本機械学会から、「第 18 回設計工学・システム部門講演会」
  - ニ) (社)日本機械学会から、「2008 年度計算力学技術者 (固体力学分野の有限要素法解析技術者) ならびに計算力学技術者 (熱流体力学分野の解析技術者) に関する認定事業」
  - ホ) (社)日本熱供給事業協会から、「地域熱供給シンポジウム」
  - ヘ) (社)日本鋼構造協会から、「鋼構造シンポジウム 2008」
  - ト) (財)ヒートポンプ・蓄熱センターから、「平成 20 年度経済産業省電力負荷平準化対策推進事業 セミナー及び研修会」
  - チ) (財)エンジニアリング振興協会、特定非営利活動法人 日本プロジェクトマネジメント協会から、「PM シンポジウム 2008」
  - リ) 明治大学理工学部から、「夏休み科学教室」
  - ヌ) エコ・グリーンテック実行委員会から、「環境緑化産業展：エコ・グリーンテック 2008」
7. 会費長期滞納会員 (正会員 (個人) 1,323 名, 準会員 0 名) 合計 1,323 名の除名を承認可決
8. 2007 年度モダン・ムーブメントの建築物 10 件の選定報告と、歴史的価値の保全に関する要望書の送付について原案を承認可決
9. 「東京中央郵便局庁舎・大阪中央郵便局庁舎保存要望書」の提出について原案を承認可決
10. 関係 5 学会による「四川大地震復旧技術支援連絡会議」の設立および地震被災建築物の応急復旧技術支援チームの派遣について承認可決
11. UIA2008 トリノ大会へ公式訪問団の派遣を承認可決
12. 2008～2009 年主要行事日程を承認

	<p>[懇談事項]</p> <p>1. 産学連携教育支援協議会の設立報告</p> <p>[報告事項]</p> <p>1. 本会会務運営の推移についての報告</p> <p>2. 新公益法人制度の概要報告</p> <p>3. 2007 年度調査研究委員会小委員会活動成果報告</p> <p>4. 2007 年度特色ある支部活動企画の成果報告</p> <p>5. 英文論文集 (JAABE) の米国 Thomson 社「Science Citation Index Expanded」への登録についての報告</p> <p>6. 2008 年学会賞 (作品) 受賞者記念講演会の開催報告</p>
<p>7 月理事会 2008. 7. 14 本会会議室</p>	<p>1. 委託研究の受託を承認</p> <p>(1) 独立行政法人 国立美術館 国立西洋美術館から、「国立西洋美術館本館の保存活用計画策定に関する調査」</p> <p>2. 共催・後援・協賛の名義使用を承認</p> <p>(1) 共 催</p> <p>イ) 日本燃焼学会から、「第 46 回燃焼シンポジウム」</p> <p>(2) 後 援</p> <p>イ) (社)地盤工学会から、「講習会：第二回実務者のための土と基礎の設計計算演習」</p> <p>ロ) (社)日本コンクリート工学協会から、「合理的なアルカリ骨材反応抑制対策と維持管理に対する提言に関する講習会」</p> <p>ハ) 持続可能なまちづくり研究会から、「シンポジウム (基調講演とワークショップ)：スイスの事例から・・・環境モデル都市の構築を目指してースマートに豊かな都市を育てる地域マネジメント」</p> <p>ニ) 特定非営利活動法人まちづくりデザインサポートから、「『小田急線あと地』を考える シャレットワークショップー市民と共に小田急線地下化に伴う上部利用とまちづくりを考える」</p> <p>ホ) ギャラリー・間から、「卒業設計日本一展 2008」</p> <p>ヘ) フォーリッジクラブから、「ワークショップ：親子で木と触れ合うものづくり」</p> <p>ト) 日本福祉のまちづくり学会から、「日本福祉のまちづくり学会第 11 回全国大会：いつものもてなし、こちよ交流ー誰もががらしく訪れたいまちを目指して」</p> <p>チ) 九州デザインシャレット 2008 事務局から、「九州デザインシャレット」</p> <p>リ) エコビルド実行委員会、(財)建築環境・省エネルギー機構、(株)デルファイ研究所、(株)日刊工業新聞社から、「すまい・建築・都市の環境展 第 8 回 ecobuild 2008：地球を守る環境ソリューション」</p> <p>ヌ) 東京工業大学百年記念館から、「東京工業大学百年記念館第 11 回特別展示・講演会：坂本一成『日常の詩学』2008 展」</p> <p>ル) 富岡市教育委員会から、「旧富岡製糸場セミナー／ワークショップ」</p> <p>ヲ) 有限責任中間法人日本インテリアプランナー協会から、「IPEC-2008 (INTERIOR PRO EX CO 2008)ーひと環境デザイン」</p> <p>ワ) International Association for Urban Climate から、「第 7 回国際都市気象学会 (ICUC7)」</p> <p>(3) 協 賛</p> <p>イ) (社)日本エネルギー学会から、「第 17 回日本エネルギー学会大会」</p> <p>ロ) (社)腐食防食協会から、「第 35 回コロージョン・セミナー：電気化学測定法を習得するための集中的学習」</p> <p>ハ) (社)腐食防食協会から、「第 47 回技術セミナー：極値統計解析による材料の腐食寿命予測」</p> <p>ニ) (社)腐食防食協会から、「第 55 回材料と環境討論会：循環型社会と防食技術／腐食環境と防食技術」</p> <p>ホ) (社)腐食防食協会から、「第 163 回腐食防食シンポジウム：事例情報等の設備管理への活用」</p> <p>ヘ) (社)土壌環境センター、日刊工業新聞社から、「2008 土壌・地下水環境展：安全・安心な未来を拓く環境ソリューション」</p>



	<p>ト) (社)都市環境エネルギー協会から、「第15回都市環境エネルギーシンポジウム：カーボンニュートラル都市の可能性を探る」</p> <p>チ) (社)日本冷凍空調学会から、「2008年度日本冷凍空調学会年次大会」</p> <p>リ) (社)日本機械学会から、「最適化シンポジウム2008 (OPTIS2008)」</p> <p>ヌ) (社)日本流体力学学会から、「第22回数値流体力学シンポジウム」</p> <p>ル) (社)日本非破壊検査協会から、「第3回シンポジウム：コンクリート構造物の非破壊検査」</p> <p>ヲ) 日本感性工学会から、「第10回日本感性工学会大会」</p> <p>ワ) 日本複合材料学会から、「第33回複合材料シンポジウム」</p> <p>3. 2009年度大会(東北)の大会委員会・実行委員会委員の委嘱について原案を承認可決</p> <p>4. 外部資金への対応について、調査研究関係専門委員会運営に関する共通規程・特別調査委員会運営規程・委託研究取扱規程の一部改正原案の一部を追加修正し承認可決</p> <p>5. 事務局再雇用制度の導入、労働協約の更新、勤務規程等の改正について原案を承認可決</p> <p>6. 8月理事会の休会を承認</p> <p>[報告事項]</p> <p>1. 2008年度大会(中国)における理事の役割分担を確認</p> <p>2. 斎藤会長・中島副会長支部訪問報告</p> <p>3. 2008年優秀卒業論文賞・優秀修士論文賞の決定報告</p> <p>4. UIA2008 トリノ大会の参加報告</p> <p>5. JABEE 大学院認定の実施報告</p> <p>6. 第47回竹中育英会建築研究助成交付報告</p> <p>7. 特別研究委員会による「生物・化学要因による空気汚染の健康障害に関する建築学、医学、化学などの多領域からの予防、診断、治療、対策に関する研究報告書」の刊行報告</p>
<p>(通信)</p> <p>2008. 8. 19</p>	<p>千葉県・日本大学生産工学部・日本建築学会による「地域社会づくりに関する共同事業の実施に係る協定」の締結について承認可決</p>
<p>9月担当理事会</p> <p>2008. 9. 9</p> <p>本会会議室</p>	<p>1. 委託研究の受託を承認</p> <p>(1) ジャパンパイル(株)、ジオトップ(株)から近畿支部へ、「既成杭の杭頭接合部の支圧特性に関する技術研究(継続)」(追認)</p> <p>(2) (社)韓国空間構造学会附設研究所から、「韓国国内での空間構造物に対する設計指針資料作成(その3)」</p> <p>(3) 杉並区教育委員会事務局から、「荻窪小学校エコスクール化推進についての実践」</p> <p>2. 共催・後援・協賛の名義使用を承認</p> <p>(1) 共催</p> <p>イ) 日本学術会議 土木工学・建築学委員会から、「第23回環境工学連合講演会」(追認)</p> <p>ロ) 日本学術会議 機械工学委員会・土木工学・建築学委員会合同 IUTAM 分科会から、「理論応用力学講演会(第58回)」(追認)</p> <p>ハ) 独立行政法人国立科学博物館から、「シンポジウム：日本の技術革新—理工系における技術史研究」(追認)</p> <p>ニ) 「第14回高専シンポジウム in 高知」実行委員会から、「第14回高専シンポジウム in 高知」</p> <p>(2) 後援</p> <p>イ) (社)土木学会 鋼構造委員会本橋技術に関するシンポジウム運営委員会から、「第7回本橋技術に関するシンポジウム」(追認)</p> <p>ロ) (社)土木学会から、「第14回地下空間シンポジウム：都市問題解決のために地下空間が果たしてきた役割」(追認)</p> <p>ハ) (社)日本コンクリート工学協会から、「マスコンクリートのひび割れ制御指針に関する講習会」(追認)</p> <p>ニ) (社)日本建築美術工芸協会 aaca20 周年記念事業委員会から、「aaca20 周年記念事業講演会・パネルディスカッション：環境に生きる 建築・美術・工芸」(追認)</p> <p>ホ) 日本建築家講演及び日本・ベトナム建築系学生共同ワークショップ事務局から、「日本・ベトナム建築系学生の共同ワークショップ、日本人建築家5名による講演会」</p>

- (追認)
- へ) 地域住宅計画推進協議会から、「第3回地域住宅計画賞表彰」 (追認)
- ト) 特定非営利活動法人建設環境情報センターから、「第8回建設環境倫理セミナー：地球環境問題は建設産業に何をもちたらすかー具体的対応策はあるか」 (追認)
- チ) Shibuya1000 実行委員会から、「情報発信型まちづくりイベント『Shibuya1000』展」 (追認)
- リ) 特定非営利活動法人全国町並み保存連盟から、「第31回全国町並み卯之町大会：だんだん学ぼう よもよも人づくり」 (追認)
- ヌ) 区画整理フォーラム実行委員会から、「区画整理フォーラム2008：これからのまちづくりー持続可能な都市を目指して」 (追認)
- ル) (社)日本鉄鋼連盟から、「講習会：第15回建築構造用鋼材とその利用技術」
- ヲ) (社)日本鉄筋継手協会から、「平成20年 日本鉄筋継手協会 調査研究発表会」
- ワ) (社)日本建築家協会から、「JIA 全国学生卒業設計コンクール2008」
- カ) (社)建築業協会から、「BCS 建築セミナー：構造技術が拓く建築の未来2008」
- ヨ) (社)全日本建築士会から、「講演会：日仏景観会議ー日光・田母沢」
- タ) (財)日本建築防災協会から、「講習会：改正建築基準法による構造計算書作成の要点と事例」
- レ) (財)日本美術協会から、「2008 高松宮殿下記念世界文化賞受賞記念建築講演会：ピーター・ズントー建築を語る」
- ソ) Archi Future 実行委員会から、「Archi Future 2008」
- ツ) 日本地震工学会から、「第6回日本地震工学会大会2008：1978年宮城県沖地震30周年シンポジウムー過去の災害教訓・地震工学研究の進展・未来の社会安全」
- ネ) NPO 法人 アジア都市環境学会から、「第5回アジア都市環境学会国際シンポジウム：アジア型環境モデル都市を考える」
- ナ) 東京電力(株)から、「第12回 TEPCO 快適住宅コンテスト：人にも環境にも優しい快適住宅」
- ラ) 全国高等専門学校デザインコンペティション実行委員会から、「全国高等専門学校デザインコンペティション2008 in 高松」
- ム) 日本経済新聞社から、「建築・建材展2009 (第15回)」
- (3) 協 賛
- イ) (社)日本材料学会 腐食防食部門委員会から、「腐食防食部門委員会 第264回例会：Workshopー若手技術者による腐食・防食 XVI」 (追認)
- ロ) (社)日本材料学会から、「第28回疲労講座：疲労と破壊の基礎と応用」 (追認)
- ハ) (社)計測自動制御学会から、「SICE セミナー：現代制御理論入門」 (追認)
- ニ) (社)建築設備技術者協会、(社)日本能率協会から、「第41回2008 建築設備技術会議」 (追認)
- ホ) (社)強化プラスチック協会から、「53rd FRP CON-EX2008 講演会 in KYOTO」 (追認)
- へ) (社)日本原子力産業協会から、「第3回原子力産業セミナー」 (追認)
- ト) (財)ヒートポンプ・蓄熱センターから、「第5回ヒートポンプ・蓄熱シンポジウム：環境にやさしい運転管理」 (追認)
- チ) (財)住宅産業研修財団から、「第6回『真の日本のすまい』提案競技」 (追認)
- リ) バイオメディカル・ファジィ・システム学会から、「バイオメディカル・ファジィ・システム学会第21回年次大会」 (追認)
- ヌ) 暮らし創りメッセ実行委員会から、「Osaka Home Expo 2008」 (追認)
- ル) 海洋調査技術学会から、「第20回研究成果発表会」 (追認)
- ヲ) 日本塗装技術協会から、「平成20年度 第24回塗料・塗装研究発表会」 (追認)
- ワ) (社)軽金属学会から、「第30回軽金属セミナー：アルミニウム合金の状態図と組織」
- カ) (社)軽金属学会から、「第31回軽金属セミナー：アルミニウム合金の時効析出ー基礎から応用まで」
- ヨ) (社)空気調和・衛生工学会から、「平成20年度講演会：最新の建築設備と実施例」
- タ) (社)計測自動制御学会システムインテグレーション部門第9回システムインテグレーション部門講演会実行委員会から、「第9回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会」
- レ) 暮らし創りメッセ実行委員会から、「Osaka Home Expo 2008」

	<p>ソ) 日本コージェネレーションセンターから、「コージェネレーションシンポジウム 2008 (第 24 回)」</p> <p>ツ) 関東学院大学大沢記念建築設備工学研究所から、「関東学院創立 125 周年記念事業 関東学院大学大沢記念建築設備工学研究所創立 40 周年記念公開シンポジウム・論文募集：快適で安全・安心，環境に優しい住まい方」</p> <p>3. 事務局職員の 2 名の退職について承認</p> <p>[報告事項]</p> <p>1. 新公益法人制度への対応について報告</p> <p>2. 近畿支部から「千里ニュータウン南地区センタービル・文化センターの保存に関する要望書」について報告</p>
<p>10 月理事会 2008.10. 8 本会会議室</p>	<p>1. 委託研究の受託を承認</p> <p>(1) (財)資産評価システム研究センターから、「建築設備の総合評価に関する調査研究委託について」</p> <p>(2) オリックス不動産(株)，協同組合 都市設計連合から近畿支部へ、「(仮称) 御園公園跡地有効活用事業計画建設後における風環境調査」</p> <p>(3) 三交不動産(株)，(株)長谷工コーポレーションから近畿支部へ、「(仮称) 四日市市富田計画建設後における風環境調査」</p> <p>2. 共催・後援・協賛の名義使用を承認</p> <p>(1) 共 催</p> <p>イ) 独立行政法人 建築研究所から、「第 29 回 AIVC 国際会議 The 29th Air Infiltration and Ventilation Centre Conference in 2008」</p> <p>ロ) 東アジア中央アジア歴史都市会議実行委員会から、「第 6 回東アジア中央アジア歴史都市会議：東・中央アジアの歴史遺産と環境保全をめぐる政策フォーラム」</p> <p>(2) 後 援</p> <p>イ) (社)建築設備総合協会から、「第 5 回 BE シンポジウム：騒音と対策事例について，振動と対策事例について」</p> <p>ロ) (社)建築設備総合協会から、「第 33 回新技術・製品 FORUM：低炭素社会を目指した新エネルギー技術」</p> <p>ハ) (社)建築・設備維持保全推進協会から、「セミナー：オフィスの戦略的な改修計画」</p> <p>ニ) (社)日本建築美術工芸協会から、「aaca20 周年記念事業シンポジウム：石見銀山が世界遺産になったわけー自然とともに暮らしてきた産業遺産」</p> <p>ホ) (社)日本鉄筋継手協会から、「各種鉄筋継手の工事標準仕様書に基づく監・管理のための技術講習会 (第 2 回)：鉄筋継手の品質確保のための管理と検査」</p> <p>ヘ) (財)建築環境・省エネルギー機構から、「非住宅建築物のエネルギー消費実態に関するシンポジウム」</p> <p>ト) 団地再生産業協議会，特定非営利活動法人 団地再生研究会から、「第 5 回団地再生シンポジウム：団地再生の新たな地平」</p> <p>チ) 公共建築の日及び公共建築月間実行委員会から、「公共建築の日及び公共建築月間」</p> <p>リ) 日本耐震グランプリ実行委員会から、「第 2 回日本耐震グランプリ：耐震がつくる安心安全な地域社会」</p> <p>ヌ) 特定非営利活動法人 国境なき技師団から、「第 4 回定例セミナー」</p> <p>ル) 「下北沢で都市計画を考える」実行委員会から、「学術シンポジウム：下北沢で都市計画を考える」</p> <p>ヲ) 日本マンション学会から、「シンポジウム：マンションを 200 年もたせる！？課題と展望，方向，提言へ」</p> <p>(3) 協 賛</p> <p>イ) 日本学術会議 材料工学委員会から、「第 15 回界面シンポジウム：ナノテクによる水と材料界面の新機能創製」</p> <p>ロ) (社)計測自動制御学会から、「SICE セミナー：制御のためのシステム同定 in 九州&amp;システム同定セミナー」</p> <p>ハ) (社)計測自動制御学会から、「SICE セミナー：ロバスト制御」</p> <p>ニ) (社)日本騒音制御工学会から、「第 68 回技術講習会：騒音対策の基礎と考え方」</p>

	<p>ホ) (社) 日本材料学会から、「腐食防食部門委員会第 265 回例会」</p> <p>ヘ) (社) 日本材料学会から、「第 2 回光学樹脂の設計と応用に関する講習会」</p> <p>ト) (社) 日本材料学会から、「第 45 回 X 線材料強度に関する討論会：放射光を用いた材料評価への取り組み」</p> <p>チ) (社) 日本材料学会から、「JCOM-38 材料・構造の複合化と機能化に関するシンポジウム」</p> <p>リ) (社) 未踏科学技術協会から、「第 8 回エコバランス国際会議：社会と技術の革新に向けたシステム思考の挑戦」</p> <p>ヌ) (社) 自動車技術会から、「講習会：自動車における CAE」</p> <p>ル) (社) 軽金属学会から、「第 12 回アルミニウム合金国際会議 (The 12th International Conference on Aluminium Alloys)」</p> <p>ヲ) (財) 建築保全センターから、「講演会：公共建築月間記念講演会」</p> <p>ワ) 特定非営利活動法人 モバイル学会から、「シンポジウム：モバイル 09」</p> <p>カ) 有限責任中間法人 日本検査機器工業会から、「総合検査機器展 (JIMA2009)」</p> <p>3. 大賞選考委員会委員の選任について承認可決</p> <p>4. 「三菱東京 UFJ 銀行貨幣資料館 (旧名古屋銀行本店) の保存・活用に関する要望書」および「大阪府総合青少年野外活動センターの保存に関する要望書」保存要望書の提出について承認可決</p> <p>5. 国土交通省「建築等を通じた良好な景観形成協議会」への参加について承認可決</p> <p>6. 日本木材学会から「伐採木材の取り扱いに関する円卓会議」への参加について承認可決</p> <p>7. 2009 年本会・日本建築家協会・東京建築士会の三会共催による新年交礼会を、1 月 6 日 (火) 14 時から建築会館ホールにおいて開催することを承認</p> <p>8. 9 月担当理事会承認事項、事務局職員 2 名の退職を追認 後任職員補充ならびに今年度定年退職予定者 3 名の補充として職員 1 名を採用することを承認</p> <p>[懇談事項]</p> <p>1. 2009 年度事業計画・収支予算編成上の基本方針 (案) について報告</p> <p>2. 経理規則の改正について、12 月理事会ならびに 3 月総会の議決を経た後、2009 年 4 月 1 日からの適用を目指すことを報告</p> <p>3. 法人制度基本問題検討委員会の検討状況について報告</p> <p>4. アーキエアリング・デザイン展の支部巡回予定について報告</p> <p>5. 千葉県・日本大学生産工学部・本会による「地域社会づくりに関する共同事業」に対する理事からの質問について報告</p> <p>[報告事項]</p> <p>1. 2008 年度日本建築学会大会 (中国) 概要報告</p> <p>2. 2009 年度大会 (東北) の会場・会期について報告</p> <p>3. UNESCO/UIA による審査について本件を議案とし原案を承認可決</p> <p>4. 2008 年度支部共通事業設計競技「記憶の器」入選者報告</p> <p>5. 2008 年度技術部門設計競技「公共建築の再構成と更新のための計画技術」入選者報告</p> <p>6. 関東支部から「横浜松坂屋本館の保存に関する要望書」の提出報告</p> <p>7. 近畿支部から「中林邸の保存に関する要望書」の提出報告</p> <p>8. 九州支部「九州建築選 2007」の発刊について報告</p>
(通信) 2008. 10. 17	2009 年度日本建築学会大会 (東北) の開催日程及び会場の変更について承認可決
11 月担当理事会 2008. 11. 11 本会会議室	<p>1. 委託研究の受託を承認</p> <p>(1) 内閣府から、「平成 20 年度長周期地震動対策に関する調査業務」</p> <p>(2) 近畿生コンクリート圧送協同組合から近畿支部へ、「コンクリートのポンプ圧送性評価手法に関する研究 (継続)」</p> <p>(3) 三交不動産 (株)・(株) 中部都市建築設計事務所から近畿支部へ、「(仮称) 松阪川井計画建設後における風環境調査」</p> <p>2. 共催・後援・協賛の名義使用を承認</p> <p>(1) 共 催</p>

	<p>イ) 日本学術会議総合工学委員会から、「安全工学シンポジウム 2009」</p> <p>ロ) (社)日本アイソトープ協会から、「第 46 回アイソトープ・放射線研究発表会」</p> <p>ハ) School of Material Science and Engineering, Tongji University から、「6th Asian Symposium on Polymers in Concrete」</p> <p>(2) 後 援</p> <p>イ) (社)プレストレスト・コンクリート技術協会から、「第 37 回プレストレスト・コンクリート技術講習会：P C 技術・最近の動向」</p> <p>ロ) (社)日本コンクリート工学協会から、「『コンクリートのひび割れ調査、補修・補強指針』改定講習会」</p> <p>ハ) (財)東京オペラシティ文化財団から、「展示会：都市へ仕掛ける建築 - ディナー &amp; ディナーの試み」</p> <p>ニ) (財)震災予防協会から、「第 28 回震災予防協会講演会：内陸直下地震と火山」</p> <p>ホ) 足利工業大学総合研究センターから、「足利工業大学総合研究センター開設 10 周年記念特別講演会」</p> <p>ヘ) 「High-Tech &amp; Tradition」 展覧会実行委員会から、「展覧会及びシンポジウム：High-Tech &amp; Tradition」</p> <p>ト) 関東学院大学工学部から、「関東学院大学 125 周年記念工学部国際シンポジウム：イタリア歴史的都市と建築の再生の最先端に学ぶ」</p> <p>(3) 協 賛</p> <p>イ) (社)腐食防食協会から、「第 165 回腐食防食シンポジウム：大気腐食評価法の現状と問題点」</p> <p>ロ) (社)腐食防食協会から、「第 164 回腐食防食シンポジウム：微生物腐食の新しい展開と防止技術」</p> <p>ハ) (社)電子情報通信学会イメージメディアクオリティ研究専門委員会から、「電子情報通信学会主催・日本照明委員会共催セミナー：標準化に向かう画質評価」</p> <p>ニ) (社)空気調和・衛生工学会から、「第 39 回セミナー：再生可能エネルギー利用技術」</p> <p>ホ) (社)日本騒音制御工学会から、「第 69 回技術講習会：騒音・振動の苦情処理」</p> <p>ヘ) (社)自動車技術会から、「自動車空調技術総合レビュー2009：さらなる快適環境をめざす車両空調技術とその将来予測」</p> <p>ト) (社)日本工学教育協会から、「平成 21 年度工学・工業教育研究講演会」</p> <p>チ) (財)日本建築センターから、「実務者のための建築物風洞実験ガイドブック（2008 年版）講習会」</p> <p>リ) (財)日本建築センターから、「講習会：2008 年版冷間成形角形鋼管設計・施工マニュアル」</p> <p>ヌ) 人間 - 生活環境系学会から、「第 32 回人間 - 生活環境系シンポジウム」</p> <p>ル) 日本リスク研究学会から、「20 周年記念大会：過去を振り返り、未来を考える」</p> <p>ヲ) 日本接着学会から、「創立 45 周年記念日本接着学会第 47 回年次大会・第 3 回アジア接着会議（aca2009）」</p> <p>ワ) 再生可能エネルギー協議会から、「第 4 回新エネルギー世界展示会」</p> <p>[報告事項]</p> <p>1. 英文論文集の Science of Citation Index Expanded 採録による投稿題数増加への対応報告</p> <p>2. 2008 年度下期国際交流振興基金の援助事業・助成額報告</p> <p>3. 2009 年度特色ある支部活動企画審査報告</p>
<p>12 月理事会 2008. 12. 19 本会会議室</p>	<p>1. 委託研究の受託を承認</p> <p>(1) 八幡浜市から四国支部へ、「日土小学校校舎（改修）に伴う文化財申請資料作成委託業務」（追認）</p> <p>(2) 日本大学生産工学部から、「平成 20 年度 地域社会づくりに関する共同事業」</p> <p>(3) 環境省地球環境局から、「平成 20 年度地球環境研究総合推進費：低炭素社会の理想都市実現に向けた研究」</p> <p>(4) 墨田区から、「(仮称) 耐火性能の確保にむけた設計・工事管理チェックシート等作成」</p> <p>(5) 日本技術者教育認定機構から、「平成 20 年度技術者教育プログラム認定審査業務」</p> <p>(6) 学校法人追手門学院法人事務局管財課、(株)三菱地所設計から近畿支部へ、「(仮称)</p>

追手門学院大学新校舎建設前後における風環境調査」

- (7) (財)建築環境・省エネルギー機構から九州支部へ、「九州地域における非住宅建築物のエネルギー消費量データベース構築に関する研究 その2」

2. 共催・後援・協賛の名義使用を承認

(1) 共 催

- イ) (社)日本伝熱学会から、「第46回日本伝熱シンポジウム」  
ロ) (社)土木学会から、「第3回FRP複合構造・橋梁シンポジウム」  
ハ) (社)日本工学教育協会から、「平成21年度工学教育連合講演会」  
ニ) 第9回シェル・空間構造アジア太平洋会議 (APCS2009) 組織委員会から、「第9回シェル・空間構造アジア太平洋会議 (APCS2009)」

(2) 後 援

- イ) (社)地盤工学会から、「近接工事の調査・設計・施工技術講習会」  
ロ) (社)建築設備総合協会から、「第99回建築設備総合ゼミナール」  
ハ) (社)日本溶接協会から、「溶接鋼構造物の評価と施工に関する現状・展望 - 安全性・信頼性向上, 溶接施工効率向上 (第15回溶接構造用鋼材に関する研究発表会)」  
ニ) ミース賞展実行委員会から、「EU現代最優秀建築賞 (ミースファンデルローエ賞) とヨーロッパ現代建築の20年回顧展」  
ホ) 工学院大学エクステンションセンター, NPO法人建築環境・設備技術情報センターAEIから、「建築マイスタースクール:ソーラー建築講座の教育プログラム」  
ヘ) 「震災対策技術展/自然災害対策技術展」横浜会場実行委員会から、「第13回震災対策技術展/自然災害対策技術展横浜:日本を地震から守ろう!!-ここが世界の地震対策の総本山」  
ト) 日本地震工学会から、「セミナー:実務で使う地盤の地震応答解析」  
チ) 団地再生産業協議会から、「第5回団地再生技術セミナー:大規模修繕から団地再生への道筋」  
リ) トウキョウ建築コレクション 2009 実行委員会から、「トウキョウ建築コレクション 2009」  
ヌ) 東京工芸大学グローバルCOEプログラムから、「各種災害リスク低減のためのシンポジウム Cooperative Actions for Disaster Risk Reduction (CADRR)」  
ル) グリーン・サステイナブルケミストリーネットワークから、「第9回グリーン・サステイナブルケミストリーシンポジウム」  
ヲ) ICSA2010 Conference から、「1st International Conference on Structures & Architecture (ICSA2010)」

(3) 協 賛

- イ) (社)計測自動制御学会から、「SICEセミナー:実践的な制御系設計」  
ロ) (社)日本非破壊検査協会から、「第40回応力・ひずみ測定と強度評価シンポジウム」  
ハ) (社)日本非破壊検査協会から、「第16回超音波による非破壊評価シンポジウム」  
ニ) (社)日本材料学会 腐食防食部門委員会から、「腐食防食部門委員会 第266回例会:塗膜下における鋼材の腐食とその解析」  
ホ) (社)軽金属学会から、「85回シンポジウム:アルミニウムの切削加工技術」  
ヘ) (社)日本オペレーションズ・リサーチ学会から、「日本OR学会 第61回シンポジウム:地球時代のOR-CSR (Corporate Social Responsibility) とOR」  
ト) (社)日本空気清浄協会から、「第27回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会」  
チ) (社)日本機械学会から、「ロボティクス・メカトロニクス講演会 2009」  
リ) (社)日本機械学会から、「第19回環境工学総合シンポジウム 2009」  
ヌ) (社)日本機械学会から、「2009年動力エネルギー国際会議神戸大会: International Conference on Power Engineering - 09, Kobe (ICOPE - 09)」  
ル) (社)日本防錆技術協会から、「第29回防錆防食技術発表大会」  
ヲ) (財)日本建築センターから、「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針講習会」  
ワ) (財)日本建築センターから、「技術セミナー:基礎から学べる構造設計シリーズ木造編入門コース」  
カ) (財)地域開発研究所から、「平成21年度1級・2級建築施工管理技術検定試験受験対策講座」

	<p>ヨ) 日本計算工学会から、「第 14 回計算工学講演会」  タ) 日本人間工学会から、「日本人間工学会第 50 回記念大会」  レ) バイオメカニズム学会から、「第 21 回バイオメカニズム・シンポジウム」  ソ) 日本実験力学学会から、「日本実験力学学会 2009 年度年次講演会」  ツ) ペイントショー2010 実行委員会から、「第 5 回ペイントショー2010」  ネ) CONSEC' 10 Organizing Committee から、「CONSEC' 10 Sixth International Conference on Concrete under Severe Conditions. Environment and Loading.」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>3. 表彰規程ならびに教育賞選考委員会運営規程の改正について原案を承認可決</li> <li>4. 経理規則の改正について原案を 2009 年 3 月総会に上程することを承認可決</li> <li>5. 2009 年度事業計画・収支予算編成上の基本方針案について原案を承認</li> <li>6. 建築会館災害対策本部設置要領について一部の修正を加え承認可決</li> <li>7. 建築経済委員会運営規程の改正について原案を承認可決</li> <li>8. 2009 年度日本建築学会大会（東北）の参加費について原案を承認可決</li> <li>9. 2010 年度大会開催担当支部について、北陸支部へ北陸支部地域で開催することの検討方を依頼することを承認</li> <li>10. 日本学士院会員の候補について内田祥哉君を推薦することを承認</li> <li>11. JABEE の一般社団法人設立と移行に関する協力要請について承認可決</li> <li>12. 斎藤会長が UIA2011 東京大会日本組織委員会副会長に就任することを承認可決</li> <li>13. 事務局職員 2 名の定年退職を承認</li> <li>14. 事務局職員 1 名の採用を承認</li> </ol> <p>[懇談事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 法人制度基本問題検討委員会中間報告について報告</li> <li>2. 改正建築士法をめぐる動向について報告</li> <li>3. 英文論文集 JAABE における投稿題数増加への対応について報告</li> <li>4. 日本工学会フェロー会員の推薦について承認</li> </ol> <p>[報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 通常総会の議事と役員分担について了承</li> <li>2. 第 20 期日本学術会議報告</li> <li>3. 建築系大学卒業生の進路に関する第三回調査報告</li> <li>4. 2008 年度日本建築学会大会（中国）決算報告</li> <li>5. アーキエアリング・デザイン展開報告</li> <li>6. 建築文化週間ならびに学会賞（作品）受賞者記念講演会開催報告</li> <li>7. 本会著作物の無断転載等に対する処理について報告</li> <li>8. 論文集における著作権侵害問題について報告</li> <li>9. 環境工学委員会・水環境運営委員会「建物とその周辺における健全な水環境の形成に関する考え方」報告</li> <li>10. 2007～2008 年度調査研究関係委員会活動報告会の開催について報告</li> <li>11. 2009 年度日本建築学会設計競技ならびに技術部門設計競技の課題決定報告</li> <li>12. 「伐採木材製品の取り扱いに関する円卓会議」の提言書について報告</li> <li>13. DOCOMOMO 議長からの書簡について報告</li> <li>14. 2008 年度鹿島学術振興財団研究助成候補について報告</li> <li>15. 新年交礼会について案内</li> <li>16. JABEE 大学院認定の審査終了について報告</li> </ol>
<p>1 月担当理事会  2009. 1. 26  本会会議室</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 共催・後援・協賛の名義使用を承認 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 共催 <ol style="list-style-type: none"> <li>イ) 日本地震工学会から、「第 13 回日本地震工学シンポジウム」</li> <li>ロ) 日本学術会議 材料工学委員会から、「第 53 回材料工学連合講演会」</li> </ol> </li> <li>(2) 後援 <ol style="list-style-type: none"> <li>イ) (財) 建築行政情報センターから、「建築士法講習会（業務報酬基準等）」（追認）</li> <li>ロ) (社) 日本コンクリート工学協会から、「高強度、高靱性コンクリートの利用に関する報告会」</li> <li>ハ) (社) 日本材料学会から、「第 9 回コンクリート構造物の補修、補強、アップグレード</li> </ol> </li> </ol> </li> </ol>

	<p>シンポジウム」</p> <p>ニ) こども環境学会から、「子どもの参画・共生環境シンポジウム：緑が学校をつくる」</p> <p>ホ) 特定非営利活動法人リアルタイム地震情報利用協議会から、「第 8 回国土セイフティネットシンポジウム：本格運用から一年たった緊急地震速報」</p> <p>へ) 国際ユニヴァーサルデザイン協議会から、「2009 年 IAUD ユニヴァーサルデザイン大会 in 東海」</p> <p>ト) 学校法人工学院大学から、「防災シンポジウム：いのち・つなぐ・ちから：大学発！過去の地震災害から学び、地域の防災力を高めよう」</p> <p>チ) 東京工芸大学グローバル COE プログラムから、「第 3 回自然換気に関する国際ワークショップ」</p> <p>リ) 木材活用推進協議会から、「シンポジウム：木と生きる」</p> <p>ヌ) 神奈川県立近代美術館、パナソニック電工汐留ミュージアムから、「建築家 坂倉準三展」</p> <p>(3) 協 賛</p> <p>イ) (社)日本材料学会 腐食防食部門委員会から、「腐食防食部門委員会第 267 回例会：最近のステンレス鋼の開発・適用状況」</p> <p>ロ) (社)日本非破壊検査協会から、「第 12 回表面探傷シンポジウム：表面探傷技術による健全性診断」</p> <p>ハ) (社)空気調和・衛生工学会から、「平成 21 年度 初級技術者のための研修会」</p> <p>ニ) 日本海洋工学会, (社)日本船舶海洋工学会から、「第 21 回海洋工学シンポジウム」</p> <p>ホ) (財)建築環境・省エネルギー機構から、「第 27 回建築環境・省エネルギーフォーラム」</p> <p>へ) (財)金属系材料研究開発センターから、「鉄鋼材料の革新的高強度・高機能化基盤研究開発第 1 回シンポジウム」</p> <p>ト) 建築・住宅国際機構から、「ISO/TC98 (構造物の設計の基本) 国際規格シンポジウム」</p> <p>チ) エコデザイン学会連合から、「エコデザイン 2009：環境調和型設計とインバース・マニュファクチャリングに関する国際シンポジウム」</p> <p>[報告事項]</p> <p>1. 会員数の動向について報告</p> <p>2. 建築ストック対策ネットワークの解散について報告</p>
<p>(通信)</p> <p>2009. 2. 14</p>	<p>2009 年日本建築学会「作品選奨」表彰業績候補 11 作品について承認可決</p>
<p>2 月担当理事会</p> <p>2009. 2. 17</p> <p>本会会議室</p>	<p>1. 共催・後援・協賛の名義使用を承認</p> <p>(1) 共 催</p> <p>イ) 日本学術会議 原子力総合シンポジウム 2009 運営委員会から、「原子力総合シンポジウム 2009」</p> <p>ロ) 大韓建築学会から、「2009 International Symposium on Construction Robots &amp; Automation」</p> <p>ハ) 日本知能情報ファジィ学会から、「第 33 回ファジィ・ワークショップ」</p> <p>(2) 後 援</p> <p>イ) (社)日本建築家協会から、「JIA 連続国際シンポジウム第 3 回：韓国建築基本法」</p> <p>ロ) (社)地盤工学会から、「開削工事における創意工夫技術に関する委員会報告会」</p> <p>ハ) (社)日本建築美術工芸協会から、「aaca20 周年記念シンポジウム：よみがえる三菱一号館」</p> <p>ニ) (社)プレストレスト・コンクリート技術協会, (社)プレストレスト・コンクリート建設業協会から、「第 17 回プレストレスト・コンクリート建築技術講習会」</p> <p>ホ) (社)日本建築家協会から、「建築家のあかりコンペ 2009：日本のあかり」</p> <p>へ) こども環境学会から、「2009 年大会 (千葉)：こどもの力」</p> <p>(3) 協 賛</p> <p>イ) (社)日本非破壊検査協会から、「第 7 回保守検査シンポジウム」</p> <p>ロ) (社)日本非破壊検査協会から、「安全・安心な社会を築く先進材料・非破壊計測技術シンポジウム：新素材及びその製品の非破壊評価技術」</p> <p>ハ) (社)空気調和・衛生工学会から、「平成 21 年度 中堅技術者のための研修会 (東京)」</p> <p>ニ) (社)可視化情報学会から、「可視化フロンティア：流体の画像計測 (PIV/LIF) の基</p>



	<p>礎と応用」</p> <p>ホ) (社) 日本機械学会から、「第 2 回若手技術者のための技術者倫理セミナー：技術系管理者におけるマネジメントとコミュニケーションを考える」</p> <p>へ) (社) 日本機械学会から、「省エネ・省資源で競争力を磨く：3R 設計の実践」</p> <p>ト) (社) 日本鉄鋼協会育成委員会から、「第 198・199 回西山記念技術講座：次世代につながる鉄鋼学の展望Ⅰ，Ⅱ」</p> <p>チ) (社) 日本鉄鋼協会育成委員会から、「第 61 回白石記念講座：ユビキタス時代に向けたチタンの元素戦略と新しい用途展開」</p> <p>リ) (社) 日本鉄鋼協会育成委員会から、「第 200 回西山記念技術講座：トップが語る鉄鋼技術の進歩と今後の展望」</p> <p>ヌ) 建築・住宅国際機構から、「建築環境の熱的性能とエネルギー使用 (ISO/TC163) 国際規格シンポジウム」</p> <p>ル) 日本複合材料学会から、「2009 年度研究発表講演会」</p> <p>ヲ) 日本太陽エネルギー学会から、「第 15 回研究講演会：パッシブソーラー適用型高機能材料」</p> <p>ワ) 日本知能情報ファジィ学会から、「第 25 回ファジィシステムシンポジウム」</p> <p>カ) バイオメカニズム学会から、「第 30 回バイオメカニズム学術講演会」</p> <p>[報告事項]</p> <p>1. 会員数の動向について報告</p> <p>2. 近畿支部から「旧神戸市立生糸検査所および旧国立神戸生糸検査所（現独立行政法人農林水産消費安全技術センター神戸センター）保存要望書」の提出について報告</p>
<p>3 月理事会 2009. 3. 11 本会会議室</p>	<p>1. 後援・協賛の名義使用を承認</p> <p>(1) 後 援</p> <p>イ) (社) 大阪国際見本市委員会から、「第 3 回地域防災防犯展 大阪」</p> <p>ロ) (社) 建築・設備維持保全推進協会から、「平成 21 年度建築設備診断技術者資格取得講習」</p> <p>ハ) (社) 建築・設備維持保全推進協会から、「平成 21 年度建築仕上診断技術者資格取得講習」</p> <p>ニ) (社) 建築・設備維持保全推進協会から、「平成 21 年度建築・設備総合管理技術者資格取得講習」</p> <p>ホ) 日本地震工学会から、「セミナー：構造物の地震リスクマネジメント」</p> <p>へ) 建築基本法制定準備会から、「建築基本法シンポジウム：建築関連法の簡略化」</p> <p>ト) 第 1 回「震災対策技術展／自然災害対策技術展」静岡実行委員会から、「第 1 回震災対策技術展／自然災害対策技術展 静岡」</p> <p>チ) 立命館大学歴史都市防災研究センターから、「第 1 回文化遺産防災アイデアコンペティション」</p> <p>リ) 学生設計優秀作品展組織委員会から、「第 32 回学生設計優秀作品展－建築・都市・環境」</p> <p>(2) 協 賛</p> <p>イ) (社) 第 43 回空気調和・冷凍連合講演会運営委員会から、「第 43 回空気調和・冷凍連合講習会」</p> <p>ロ) (社) 計測自動制御学会から、「SICE セミナー：実践的な制御理論－制御への確率論的アプローチ 基礎から応用まで」</p> <p>ハ) (社) 計測自動制御学会から、「SICE セミナー：制御のためのシステム同定」</p> <p>ニ) (社) 日本材料学会 腐食防食部門委員会から、「腐食防食部門委員会 第 268 回例会」</p> <p>ホ) (社) 日本材料学会から、「第 39 回初心者のための有限要素法講習会」</p> <p>へ) (社) 日本材料学会から、「第 9 回，第 10 回，第 11 回初心者のための疲労設計講習会」</p> <p>ト) (社) 日本材料学会から、「第 14 回破壊力学シンポジウム」</p> <p>チ) (社) 溶接学会から、「平成 21 年度溶接入門講座」</p> <p>リ) (社) におい・かおり環境協会から、「第 22 回におい・かおり環境学会」</p> <p>ヌ) 東京大学生産技術研究所から、「講演会：熱的快適性と適応」</p> <p>ル) 日本シュミレーション学会から、「第 28 回日本シュミレーション学会大会」</p> <p>ヲ) 日本シュミレーション学会から、「国際会議 Asia Simulation Conference 2009」</p>

- ワ) 有限責任中間法人 太陽光発電協会, (有)セミ・ジャパンから, 「PVJapan2009: 太陽光発電に関する総合イベント」
2. 3月通常総会議案 2009年度事業計画案, 2009年度収支予算案, 経理規則改正案および報告・懇談事項について承認可決
  3. 東京中央郵便局の保存に関する対応について「日本建築学会の東京中央郵便局庁舎, 大阪中央郵便局庁舎に対する歴史的価値に関する見解」を公表することを承認可決
  4. 「歌舞伎座の保存に関する要望書」に対する回答依頼の送付を承認可決
  5. 「アーキエアリング・デザイン展」巡回展に際する建築文化振興基金の取り崩しを承認可決
  6. 事務局職員の定年退職1名, 再雇用1名および新規採用2名について承認

[懇談事項]

1. 法人制度基本問題検討委員会報告
2. 国交省建築基準整備促進補助金事業「建築の質の向上に関する検討」への対応について説明
3. 学会直営出版物の在庫の取り扱いに関する刊行委員会の「直営出版物の絶版ならびに在庫処分の手続きに関する内規案」について報告懇談

[報告事項]

1. 2009年内部監査項目を「建築学と本会の発展のための中長期計画(2006年4月)の中間評価」とする旨の報告
2. JAABE Best Paper Award 2008表彰業績選考結果について報告
3. 一般社団法人新・建築士制度普及協会への参加について報告
4. 建築等を通じた良好な景観形成・まちづくり推進協議会への参加について報告
5. 日本工学会フェロー会員11名の推薦について報告

### 1.3 支部長会議

開催年月日 場 所	主 要 議 事 と そ の 処 理
2008. 7. 14 本会会議室	1. 2009 年度特色ある支部活動企画募集（案）検討 ・配分金額について ・審査・募集要項について 2. 新公益法人制度への対応について ・法人制度基本問題検討委員会について ・新公益法人制度について
2008. 10. 8 本会会議室	1. 新公益会計基準への移行に伴う支部事務局会議開催（10 月 24 日）について報告 2. 新公益法人制度への対応に関する意見交換 ・ガバナンスに関する検討課題について ・経理規則の改正について 3. 会員数の動向報告 4. 特色ある支部活動企画選考委員会開催報告 5. 各支部における支所活動の状況についての意見交換
2008. 10. 8 本会会議室	<特色ある支部活動企画選考委員会> 1. 特色ある支部活動企画案の審査
2009. 3. 11 本会会議室	1. 2009 年度特色ある支部活動審査報告 2. 5 月理事会提出予定「支部長会議（2007～2008）活動報告」（案）検討 ・活動報告（案）本文について ・別紙「申し送り事項」について 3. インターンシップ制度の実施に際する産学連携について ・産学連携建築教育連絡会議の設置について ・東海支部地域におけるインターンシップ制度実施への取り組み報告 ・各支部の状況報告 4. 支部事務局職員会議の開催報告（4 月 10 日）

### 1.4 協力委員会議

開催年月日 場 所	主 要 議 事 と そ の 処 理
	本年度は開催せず

### 1.5 7 学協会会長会議\*

開催年月日 場 所	主 要 議 事 と そ の 処 理
2008. 9. 24 本会会議室	(1) 各学協会の現況と重点課題等報告 (2) 新公益法人制度への取り組み

\*本会，空気調和・衛生工学会，地盤工学会，土木学会，日本コンクリート工学協会，日本造園学会，日本都市計画学会

## 1.6 建築学会・土木学会正副会長会議

開催年月日 場 所	主 要 議 事 と そ の 処 理
2008. 4. 23 本会会議室	(1) 2008 年度事業計画 (2) 会長特別報告 (3) 建築基準法・建築士法の改正による影響 (4) 国際化対応

## 1.7 5 会会長会議\*

開催年月日 場 所	主 要 議 事 と そ の 処 理
2008. 4. 16 士会連合会	産学連携によるインターンシップ体制確立，大学院に於けるインターンシッププログラムについて，重要事項説明内容検討会の設置，UIA トリノ大会への各会の対応，その他
2008. 6. 18 日本建築家協会	建築基準法改正後の建築士事務所業務環境の改善について，その他
2008. 9. 9 士事務所協会	構造・設備一級建築士制度の施行に伴い予測される状況と対応について，産学連携建築教育推進協議会について，その他
2008. 11. 26 建築業協会	改正建築士法の施行に向けての各団体の対応について，その他
2009. 2. 3 本会会議室	産学連携建築教育推進協議会の設立について，設備設計等一級建築士制度と地方サポートセンターの設立について，その他
2009. 3. 12 士会連合会	国の設計コンサルタント業務等懇談会への対応について，産学連携建築教育連絡会議の設置について，建築分野の地球温暖化対策ビジョン 2050 提言案について，その他

\*本会，建築業協会，日本建築家協会，日本建築士会連合会，日本建築士事務所協会連合会

## 1.8 日本技術者教育認定機構（JABEE）\*

開催年月日 場 所	主 要 議 事 と そ の 処 理
2008. 5. 8 経団連会館	<理事会> 平成 19 年度認定プログラム承認，平成 19 年度事業報告・決算報告，定款ならびに組織運営検討，平成 20 年度事業計画・収支予算，理事一部交代，通常総会議題について，その他
2008. 5. 12 建築会館ホール	<通常総会> 平成 19 年度事業報告・決算報告，平成 20 年度事業計画・収支予算，理事一部交代，一般社団法人設立，その他
2008. 9. 7 本会会議室	<総務委員会> 委員会等報告，審査講習会，同日審査の進め方，その他
2008. 9. 25 日本化学会	<事務局長会議> JABEE の現状と課題，認定基準の改定について，情報分野および建築分野の国際対応，その他
2008. 11. 10 経団連会館	<理事会> 新定款および設立時役員等，一般社団設立と移行方法，臨時総会の開催，その他
2009. 2. 12 建築会館ホール	<臨時総会> 一般社団法人の設立と移行について

\*工学系 91 学協会，本会は理事団体，経済産業省が支援

### 1.9 APEC アーキテクト・プロジェクト・モニタリング委員会\*

開催年月日 場 所	主 要 議 事 と そ の 処 理
2008. 9. 30 普及センター	第 4 回新規申請および第 2 回登録の更新の審査結果について、日豪相互認証協定の締結について、その他
2009. 3. 23 普及センター	<幹事会>ニュージーランドとの二国間相互認証協定について

\*学識経験者+5 団体+建築技術教育普及センター，事務局は建築技術教育普及センター

### 1.10 日本工学会 CPD 協議会\*

開催年月日 場 所	主 要 議 事 と そ の 処 理
2008. 6. 30 本会会議室	<総会>平成 19 年度 WG 活動報告，平成 20 年度活動方針
2008. 3. 27 東京機械	WG 活動報告，平成 21 年度活動方針

\*工学系 41 学協会が参加

### 1.11 建築 CPD 運営会議\*

開催年月日 場 所	主 要 議 事 と そ の 処 理
2008. 8. 21 普及センター	国土交通省・地方公共団体の取組状況，法定講習の取扱い，企業内研修，その他
2008. 12. 18 普及センター	建築 CPD 運営会議等の構成，制度の運営状況，法定講習の取扱い，建築 CPD 情報提供制度の見直し，その他
2008. 3. 27 普及センター	運営状況，法定講習の取扱いについて，制度見直しについて

\*建築 5 団体+建築技術教育普及センター，事務局は建築技術教育普及センター

### 1.12 建設系 CPD 協議会運営委員会\*

開催年月日 場 所	主 要 議 事 と そ の 処 理
2008. 6. 9 日本技術士会	運営委員会及びシステム部会の構成，シンポジウムの開催，協議会の今後の活動，日本建築士会連合会の新規加入
2008. 9. 8 日本技術士会	シンポジウムについて，CPD の運営に関する事項

\*建設系 14 学協会が参加，事務局は全国土木施工管理技士会連合会

### 1.13 UIA2011 東京大会組織委員会

開催年月日 場所	主要議事とその処理
2008. 4. 3 日本建築家協会	<実行委員会部会長幹事会>各部会進捗状況報告, オープンアーキテクチャー共催, 早期登録状況, UIA トリノ大会, ウェブサイト, その他
2008. 5. 10 日本建築家協会	<実行委員会 UIA トリノ大会企画調整会議>トリノ大会スケジュール, 東京大会展, 大会ツアー, その他
2008. 5. 21 日本建築家協会	<活動部会長打合わせ会>各部会報告, オープンアーキテクチャー報告, トリノ大会準備状況, 2007 年度決算見込み, その他
2008. 6. 17 東京国際フォーラム	<日本組織委員会> 2007 年度事業報告, 2008 年度事業計画, 新委員と規約改正, その他
2008. 7. 22 日本建築家協会	<日本組織委員会部会長会議>寄付金について, トリノ大会報告, その他
2008. 9. 30 日本建築家協会	<実行委員会部会長打ち合わせ>各部会報告, 大会日程, 大会名称について, その他
2009. 1. 28 日本建築家協会	<実行委員会>各部会報告, 第1回 UIA/JOB 合同調整会議について
2009. 2. 6 日本建築家協会	<UIA/JOB 合同調整会議>東京大会準備状況, その他

### 1.14 (仮称) 産学連携建築教育推進協議会 (準備会)

開催年月日 場所	主要議事とその処理
2008. 6. 13 本会会議室	(1) 大学院における実務経験要件に関する検討経緯について (2) 産学連携によるインターンシップ体制の確立について
2008. 7. 28 本会会議室	(1) インターンシップ体制の構築について (2) 産学連携建築教育推進協議会の正式発足について
2008. 10. 17 本会会議室	(1) 大学院実務経験確認審査委員会の進捗状況 (審査基準) について (2) インターンシップに関するアンケート調査について (3) インターンシップ体制の構築について (4) 産学連携建築教育推進協議会の正式発足と今後の進め方について

\*建築 5 団体 + 日本建築構造技術者協会, 建築設備技術者協会, 全国建築系大学教育連絡協議会  
オブザーバー: 国土交通省

## 2. 大 会

### 2.1 概 要

1. 期 間：2008年9月18日（木）～9月20日（土）
2. 会 場：広島大学 東広島キャンパス（所在地：東広島市鏡山 1-4-1）
3. 大会テーマ：地球＝大きな家
4. 内 容

- (1) 学術講演発表題数 6,376 題  
建築デザイン発表題数 175 題  
合計 6,551 題

- (2) 部門別学術講演発表・建築デザイン発表題数および参加者数（オーガナイズドセッション、ポスターセッションを含む）

部門	発表題数	参加者数
材料施工	617	1,203
構 造	2,189	5,121
防 火	157	350
環境工学	1,294	3,172
建築計画	749	1,175
農村計画	113	131
都市計画	531	690
建築経済・住宅問題	202	336
建築歴史・意匠	408	716
海洋建築	42	48
情報システム技術	51	90
教 育	23	43
建築デザイン	175	610
合 計	6,551	13,685

- ・ポスターセッション 構造61, 建築計画43, 農村計画5 計109題
- ・オーガナイズドセッション 構造33, 防火8, 環境工学39,  
建築計画13, 農村計画5, 都市計画30,  
建築経済21, 建築教育9 計158題

- (3) 部門別研究集会  
研究協議会 14主題 1,620名  
パネルディスカッション 21主題 2,237名  
研究懇談会 4主題 219名  
緊急報告会 1主題 120名  
計40主題 計4,196名（平均105名／1主題）

- (4) 2008年度日本建築学会支部共通事業  
設計競技「記憶の器」公開審査 138名

- (5) 2008年度日本建築学会技術部門設計競技  
「公共建築の再構成と更新のための計画技術」公開審査 90名

- (6) 建築作品展

(7) パネル展示

学生主体によるシャレットワークショップ「宇部のまちづくりデザインを考える」

(8) 記念行事

- 1) 記念講演会・シンポジウム「地球環境時代の建築」 (会場：広島県民文化センター)
  - 9/17 250名
- 2) 見学会バスツアー「広島市内の現代建築」
  - 9/18 35名
- 3) 学生主体によるシャレットワークショップ「宇部のまちづくりデザインを考える」
  - 9/10～9/14 100名

5. 大会参加者

			事前登録	当日登録	計
有料登録者	会員	一般	2,550名	3,073名	5,623名
		大学院生	1,347名	1,375名	2,722名
	会員外	一般	31名	320名	351名
		大学院生	13名	153名	166名
		登録メンバー	0名	9名	9名
小計		3,941名	4,930名	8,871名	
無料登録者	準会員・報道・学生・市民			370名	370名
合計参加者数			9,241名		

6. 開会式 9月18日(木) 広島大学サタケメモリアルホール

- 開会の辞 : 三浦 賢治 (大会実行委員長)
- 歓迎の挨拶 : 村川 三郎 (大会委員長)
- 挨拶 : 斎藤 公男 (会長)
- 司会 : 西名 大作
- 出席者 : 70名程度

7. 閉会式 9月20日(土) 広島大学サタケメモリアルホール

- 閉会の辞 : 三浦 賢治 (大会実行委員長)
- 閉会の挨拶 : 中川 武 (副会長)
- 学会旗引き継ぎ : 三浦 賢治 (中国支部長)
- : 井上 範夫 (東北支部長代理)
- 挨拶 : 井上 範夫 (東北支部長代理)
- 司会 : 西名 大作
- 出席者 : 40名程度

8. 懇親会 9月18日(木) リーガロイヤルホテル広島 4F ロイヤルホール 参加人数 : 308名

- 開会の辞 : 三浦 賢治 (大会実行委員長)
- 挨拶 : 斎藤 公男 (会長)
- 挨拶(歓迎の辞) : 浅原 利正 (広島大学長)
- 挨拶(歓迎の辞) : 秋葉 忠利 (広島市長)
- 挨拶(歓迎の辞) : 藏田 義雄 (東広島市長)
- 担ぎ込み～鏡開き (浅原学長, 斎藤会長, 秋葉市長, 藏田市長)
- 乾杯 : 中川 武 (副会長)
- 来賓紹介 (学長, 東広島市長, 元支部長を除く支部招待者)
- 歓談
- 閉会挨拶 : 村川 三郎 (大会委員長)
- 次期開催支部挨拶 : 吉野 博 (東北支部長)



閉会の辞 : 篠原 道正 (中国支部)  
 司 会 : 杉田 洋

9. 託児所 9月18日(木)～9月20日(土)

使用料: 半日 1,000円 0歳児から5歳児までの幼児11名の利用で半日単位の利用者合計38名。  
 (9/18: 午前4名, 午後4名, 9/19: 午前7名, 午後6名, 9/20: 午前11名, 午後6名)  
 託児所は広島大学ひまわり保育園を利用。

10. 聴覚障がい者の参加

聴覚障がいを持つ参加希望者3名に対しそれぞれ2名の手話通訳者を手配し, 本人の研究発表および希望する全てのセッションへの参加を支援。手話通訳時間合計は17時間, 通訳者延べ合計は10名。

2.2 学術講演会・建築デザイン発表会

数字は午前10時, 午後2時30分の在室者数

棟	室番号	部門	9月18日		9月19日		9月20日	
			午前	午後	午前	午後	午前	午後
サタケ メモリアル ホール		研究集会11	70 (開会式)	奨励賞・ 優秀論文 80	技術部門 設計競技 90	計画研協 160	災害報告 120	構造研協 210 40 (閉会式)
北体育館	1F	建築作品展	10	15	10	20	19	11
	1F	ポスターセ ッション	—	計画・農村76	—	基礎構造 200	—	—
	2F	建築デザイ ン発表会	—	—	260	140	140	70
総合科学部 東講義棟	K101	海洋建築	—	—	—	30	18	—
	K103	材料施工1	80	72	72	—	33	35
	K104	材料施工2	45	45	37	—	7	20
	K105	材料施工3	37	60	26	—	34	30
	K106	材料施工4	41	32	33	—	43	21
	K107	研究集会3	—	材料PD (1) 75	RC PD 270	材料研協 180	—	材料PD (2) 76
	K108	研究集会4	—	シェルPD 200	基礎PD 190	振動PD 260	鋼構造PD 160	海洋研協 45
	K109	材料施工5	39	42	46	—	47	29
	K110	材料施工6	35	54	43	—	36	29
	K203	構造1	45	90	—	—	50	40
	K204	構造2	38	30	—	37	24	—
	K205	構造3	67	—	45	91	81	76
	K206	構造4	26	—	46	47	51	50
	K207	構造5	36	28	40	53	—	—
	K208	構造6	52	42	38	—	55	34
	K209	構造7	33	55	47	—	51	50
	K210	構造8	45	78	41	—	38	25
	K211	研究集会5	—	SCCS PD132	荷重PD96	—	応用力学D70	—
	K302	構造9	40	58	35	—	32	—
	K303	構造10	48	78	58	—	—	—
K304	構造11	50	52	46	50	—	21	
K305	構造12	110	85	60	85	—	45	
K306	構造13	43	56	61	57	—	44	
K307	構造14	70	70	80	80	70	50	
K308	構造15	55	65	60	68	55	50	
K309	構造16	43	—	30	36	24	—	

	K310	構造17	60	70	30	57	63	—
	K311	構造18	60	65	—	35	50	30
	K312	構造19	30	41	—	52	41	29
	K313	構造20	90	42	—	40	33	40
	K314	構造21	90	45	—	70	40	23
総合科学部 南講義棟	L101	研究集会1	—	教育研懇40	農村PD70	農村研協60	—	都市PD (3) 40
	L102	研究集会2	—	—	都市PD (2) 55	都市研協135	—	住まい研懇 49
教育学研究 科K棟	K104	環境9	53	75	55	—	51	—
	K108	環境10	77	102	71	—	71	56
	K114	環境11	44	51	34	—	46	27
	K201	研究集会10	—	地球研協議 53	AND展PD116	環境研懇160	総合論文誌 +地球P43	地球PD (2) 32
	K203	環境12	48	55	50	—	36	45
	K215	環境13	37	45	60	—	57	70
教育学研究 科L棟	L102	環境1	45	69	72	—	39	—
	L104	環境2	60	69	45	—	40	38
	L107	環境3	55	55	16	—	40	—
	L109	環境4	50	61	65	—	58	53
	L204	環境5	41	59	42	—	44	—
	L205	環境6	45	73	69	—	65	60
	L206	環境7	53	64	—	—	51	30
	L207	環境8	60	35	44	—	54	37
工学研究科 講義棟	102	農村計画	36	25	20	—	25	20
	103	都市計画1	55	17	33	—	32	23
	104	都市計画2	—	18	29	—	18	38
	106	都市計画3	21	35	32	—	25	21
	107	都市計画4	29	41	27	—	45	37
	219	都市計画5	17	20	20	—	27	30
	108	防火1	40	50	50	—	30	—
	109	計画1	30	60	37	—	30	21
	110	計画2	40	50	40	—	35	—
	111	防火2	42	49	38	—	51	—
	220	研究集会6	—	都市PD (1) 80	—	防火研協140	都市+計画 研懇60	計画研懇70
	112	計画3	20	20	30	—	15	—
	114	計画4	46	32	26	—	45	33
	115	計画5	32	45	25	—	40	20
116	計画6	51	31	39	—	31	34	
117	計画7	41	53	43	—	50	30	
工学研究科 A-2棟	8F製図 室	全国大学高 専卒計展	—	—	—	—	—	—
社会科学 研究科棟	152	建築経済・住 宅2	39	35	35	—	42	49
	251	建築経済・住 宅1	20	31	32	—	34	19
	255	研究集会8	設計競技138	設計競技169	経済PD62	経済研協158	教育研協118	—
	257	研究集会9	—	教育賞23	地球PD (1) 50	法制研協81	—	—
理学研究科 棟	E002	歴史意匠1	40	45	40	—	38	26
	E102	研究集会7	—	情報研協40	情報PD75	歴史研協80	歴史PD85	—
	E104	歴史意匠2	35	60	38	—	25	23
	E208	情報システム 技術	40	—	—	35	15	—
	E209	教育	8	—	—	35	—	—

E210	歴史意匠3	20	25	35	—	23	41
E211	歴史意匠4	30	28	55	—	60	29

## 2.3 部門別研究集会（研究協議会・研究懇談会・パネルディスカッション・緊急集会ほか）

部門	区分	主題	日時	会場
材料施工	研協	地下工事とコンクリート躯体の防水工事を取り巻く現状と課題	9月19日（金） 13:45～17:00	総合科学部東 講義棟 K107
	PD1	環境に配慮した鉄筋コンクリート工事のあり方	9月18日（木） 13:30～16:30	総合科学部東 講義棟 K107
	PD2	無線情報技術は住宅・建築物の維持管理を高度化できるか!?	9月20日（土） 13:30～16:30	総合科学部東 講義棟 K107
構造	研協	建築の強用美を支える構造技術者－建築確認制度厳格化の中で－	9月20日（土） 13:30～17:00	サタケメモリアルホール
	PD	〔応用力学〕 建築構造設計における冗長性と頑強性の役割－リダンダンシーとロバスト性とは－	9月20日（土） 9:00～12:30	総合科学部東 講義棟 K211
	PD	〔荷重〕 今、なぜ構造設計にリスクコミュニケーションが必要か	9月19日（金） 9:15～12:30	総合科学部東 講義棟 K211
	PD	〔基礎構造〕 大地震時の杭基礎の耐震設計－2次設計を導入するのに何が必要か－	9月19日（金） 9:00～12:30	総合科学部東 講義棟 K108
	PD	〔鋼構造〕 高力ボルト接合における高強度化技術の最前線	9月20日（土） 9:00～12:30	総合科学部東 講義棟 K108
	PD	〔RC構造〕 鉄筋コンクリート構造計算規準の改定について	9月19日（金） 9:15～12:30	総合科学部東 講義棟 K107
	PD	〔SCCS〕 多様化する合成構造の設計規準の確立に向けて	9月18日（木） 13:30～17:00	総合科学部東 講義棟 K211
	PD	〔シェル・空間構造〕 コンピュータテクノロジーと建築デザイン	9月18日（木） 13:45～17:00	総合科学部東 講義棟 K108
	PD	〔振動〕 構造ヘルスマonitoringがつくる安全・安心な建築空間	9月19日（金） 13:30～17:00	総合科学部東 講義棟 K108
防火	研協	性能規定化の10年－残された課題・新たな課題	9月19日（金） 13:30～17:00	工学研究科 講義棟 220
環境工学	研協	建築・都市・地球環境－今、建築と都市に求められる環境性能－	9月19日（金） 14:15～17:00	教育学研究科 K棟 K201
建築計画	研協	公共建築の再構成と更新のための計画技術	9月19日（金） 13:45～17:00	サタケメモリアルホール
	研懇	建築計画学の新しい認識とその方法－建築デザインの変革の時代に－	9月20日（土） 13:30～17:00	工学研究科 講義棟 220
農村計画	研協	農村の新しいガバナンスが創る国土	9月19日（金） 13:30～17:00	総合科学部南 講義棟 L101
	PD	「ただならぬ普通」の再発見－農山漁村景観を文化的景観として継承する－	9月19日（金） 9:00～12:30	総合科学部南 講義棟 L101
都市計画	研協	人口減少時代における土地利用計画の運用と展望－アーバンフォームとマネジメントを中心として－	9月19日（金） 13:30～17:00	総合科学部南 講義棟 L102
	PD1	住環境ビジョンの再構築－これからの研究・実践課題－	9月18日（木） 13:30～17:00	工学研究科 講義棟 220
	PD2	実践に向けて－生活景を呼び覚ます－	9月19日（金） 9:00～12:30	総合科学部南 講義棟 L102
	PD3	「よい復興」とは？	9月20日（土） 13:30～16:40	総合科学部南 講義棟 L101

建築経済	研協	夢をカタチにするカー建築企画の可能性と展望ー	9月19日(金) 13:45~17:00	社会科学研究 科講義棟 255
	PD	施設マネジメントの体系化の実際と今後のあり方	9月19日(金) 9:00~12:30	社会科学研究 科講義棟 255
建築歴史・意匠	研協	グローバルな視点からの16~17世紀日欧都市比較研究の可能性	9月19日(金) 13:45~17:00	理学研究科講 義棟 E棟 E102
	PD	建築論の諸相	9月20日(土) 9:00~12:00	理学研究科講 義棟 E棟 E102
海洋建築	研協	厳島神社にみる海洋建築の技と匠	9月20日(土) 13:30~17:00	総合科学部東 講義棟 K108
情報システム 技術	研協	地域情報化ー社会的課題の解決手段としての意義と展望ー	9月18日(木) 13:30~17:00	理学研究科講 義棟 E棟 E102
	PD	都市・建築と感性工学	9月19日(金) 9:00~12:30	理学研究科講 義棟 E棟 E102
建築教育	研協	建築士制度と今後の学校教育ーいま建築教育にもとめられるものー	9月20日(土) 9:00~12:30	社会科学研究 科講義棟 255
	研懇	「建築」の社会貢献ーアウトリーチプログラムの可能性ー	9月18日(木) 13:30~17:00	総合科学部南 講義棟 L101
建築法制	研協	建築ストック社会における建築法制度を考えるー既存不適格建築物に対する法制度と水準向上規準のあり方ー	9月19日(金) 13:30~17:00	社会科学研究 科講義棟 257
地球環境	研協	アジア地域における建築環境と Sustainable Development	9月18日(木) 13:30~17:00	教育学研究科 K棟 K201
地球環境	PD1	地球環境から見たストック性能評価ーBCPは構造設計を革新するかー	9月19日(金) 9:00~12:30	社会科学研究 科講義棟 257
	PD2	サステイナブル建築モデルとデザイン手法のあり方	9月20日(土) 13:30~17:00	教育学研究科 K棟 K201
都市計画・建築計画	研懇	新たな担い手との連携による地域の再生	9月20日(土) 9:00~11:30	工学研究科 講義棟 220
総合論文誌・地球環境	PD	地球環境と防災のフロンティア	9月20日(土) 9:00~12:30	教育学研究科 K棟 K201
住まいづくり 支援建築会議	研懇	住まいづくりの夢の実現にどう関わるかー学会の果たすべき「市民を支援する」社会的役割とはー	9月20日(土) 13:30~16:30	総合科学部南 講義棟 L102
AND展実行委員会	PD	アーキニエリング・デザインとはー“技術の質”と“空間の質”と“環境の質”ー	9月19日(金) 9:00~12:30	教育学研究科 K棟 K201
教育賞選考委員会	講演会	2008年日本建築学会教育賞受賞者記念講演会	9月18日(木) 13:30~16:00	社会科学研究 科講義棟 255
災害	緊急集会	2008年中国四川省地震, 2008年岩手・宮城内陸地震被害調査報告会	9月20日(土) 9:00~12:30	サタケメモリアルホール

## 2.4 2008年日本建築学会賞（論文）受賞者記念講演

期 日	時 間	講演題目	講演者	会 場
9月18日(木)	13:30～13:45	空間構造物の最適設計に関する一連の研究	大崎 純	総合科学部 東講義棟K108
9月19日(金)	9:00～9:15	高次モーメントによる構造信頼性評価法に関する研究	趙 衍剛	総合科学部 東講義棟K211
	9:00～9:15	柱の崩壊挙動を考慮した鉄筋コンクリート建物の耐震性評価に関する研究	芳村 学	総合科学部 東講義棟K107
	13:30～13:45	鉄筋コンクリート構造物のひび割れ制御を目的とした解析技術とその応用に関する研究	閑田 徹志	総合科学部 東講義棟K107
	13:30～13:45	建築空調システムの性能評価と省エネルギーに関する研究	赤司 泰義	教育学研究科 K棟K201
	13:30～13:45	地域コミュニティを活用した持続的住環境管理システムに関する研究－建築協定地区を中心として－	鈴木 克彦	サタケメモリアルホール
	13:30～13:45	建物の寿命推計に関する研究	小松 幸夫	社会科学部 講義棟255
	13:30～13:45	平安時代貴族住宅の研究	飯淵 康一	理学研究科講義棟E棟E102
	13:45～14:00	マイクロ解析による建物の換気・通風性能に関する一連の研究	赤林 伸一	教育学研究科 K棟K201
	14:00～14:15	拡散度法による床衝撃音遮断性能の予測に関する研究	橋本 典久	教育学研究科 K棟K201

### 3. 表 彰

#### 3.1 2008 年日本建築学会大賞

表 彰 業 績	受 賞 者
建築構造物の設計用荷重ならびに構造安全性の研究と耐震技術の国内外における教育・普及に対する貢献	終身正会員 和泉 正哲 君 (東北大学名誉教授・東北芸術工科大学名誉教授)
都市環境工学の発展に対する貢献	名 誉 会 員 尾島 俊雄 君 (早稲田大学名誉教授・(社)都市環境エネルギー協会理事長・職藝学院学院長)

※推薦件数13件

#### 3.2 2008年日本建築学会賞

	表 彰 業 績	受 賞 者
論 文	建築空調システムの性能評価と省エネルギーに関する研究	正会員 赤司 泰義 君 (九州大学准教授)
	マイクロ解析による建物の換気・通風性能に関する一連の研究	正会員 赤林 伸一 君 (新潟大学教授)
	平安時代貴族住宅の研究	正会員 飯淵 康一 君 (東北大学教授)
	空間構造物の最適設計に関する一連の研究	正会員 大崎 純 君 (京都大学准教授)
	鉄筋コンクリート構造物のひび割れ制御を目的とした解析技術とその応用に関する研究	正会員 閑田 徹志 君 (鹿島建設(株)技術研究所上席研究員)
	建物の寿命推計に関する研究	正会員 小松 幸夫 君 (早稲田大学教授)
	地域コミュニティを活用した持続的住環境管理システムに関する研究 ー建築協定地区を中心としてー	正会員 鈴木 克彦 君 (京都工芸繊維大学准教授)
	高次モーメントによる構造信頼性評価法に関する研究	正会員 趙 衍剛 君 (名古屋工業大学准教授)
	拡散度法による床衝撃音遮断性能の予測に関する研究	正会員 橋本 典久 君 (八戸工業大学教授)
	柱の崩壊挙動を考慮した鉄筋コンクリート建物の耐震性評価に関する研究	正会員 芳村 学 君 (首都大学東京教授)
作 品	武蔵工業大学新建築学科棟#4	正会員 岩崎 堅一 君 (武蔵工業大学教授)
	ふじようちえん	正会員 手塚 貴晴 君 (武蔵工業大学准教授・手塚貴晴＋手塚由比／手塚建築研究所代表取締役) 正会員 手塚 由比 君 (手塚貴晴＋手塚由比／手塚建築研究所代表取締役)

	表彰業績	受賞者
技 術	構造用合板を用いてフレキシブルに空間を創出する木造新構法の技術開発	正会員 陶器 浩一 君 (滋賀県立大学教授) 正会員 岡田 哲史 君 (千葉大学准教授)
	集合住宅工事における建設資材の物流合理化手法の開発	正会員 土橋 稔美 君 (鹿島建設(株)技術研究所上席研究員) 正会員 荻原 行正 君 (鹿島建設(株)建築管理本部次長) 正会員 坂野 弘一 君 (鹿島建設(株)建築工務部担当部長)
	自動油圧開閉機構を搭載した高性能制震オイルダンパの開発	正会員 山田 俊一 君 (鹿島建設(株)小堀研究室長) 正会員 田上 淳 君 (鹿島建設(株)技術研究所上席研究員) 正会員 栗野 治彦 君 (鹿島建設(株)小堀研究室制震構造研究グループ長) 松永 義憲 殿 (鹿島建設(株)技術研究所上席研究員)
業 績	職能としての劇場コンサルタントの確立と一連の業績	正会員 伊東 正示 君 (株)シアターワークショップ代表取締役)
	札幌モエレ沼公園の実現に関わる17年間の活動	正会員 川村 純一 君 (株)アーキテクトファイブ代表取締役) 正会員 堀越 英嗣 君 (芝浦工業大学教授・ 堀越英嗣ARCHITECT5 代表) 正会員 松岡拓公雄 君 (滋賀県立大学教授・ アーキテクトシップLLC代表) 札幌 市 殿 イサム・ノグチ財団 殿
	大阪市立住まいのミュージアムの企画と活動	正会員 谷 直樹 君 (大阪市立大学教授・ 大阪市立住まいのミュージアム館長) 正会員 北山 啓三 君 (大阪市住まい公社理事長)
	求道会館・求道学舎の保存と再生事業	正会員 近角 真一 君 (株)集工舎建築都市デザイン研究所 代表取締役) 正会員 近角よう子 君 (近角建築設計事務所代表) 正会員 田村 誠邦 君 (株)アークブレイン代表取締役) 正会員 渡邊 保弘 君 (株)文化財工学研究所代表取締役)

※応募推薦件数 論文 26 件, 作品 20 件, 技術 7 件, 業績 17 件

### 3.3 2008 年日本建築学会教育賞

(教育業績)

該当業績なし

(教育貢献)

表彰業績	受賞者
キャンパス・エコビレッジの創造のための農・環境・建築創造教育	正会員 糸長 浩司 君 (日本大学教授)
	正会員 栗原 伸治 君 (日本大学准教授)
	正会員 藤沢 直樹 君 (日本大学助手)
ロールプレーイングによる建築プロジェクトマネジメント実習	正会員 浦江 真人 君 (東洋大学准教授)
「Dラーニング」による建築の企画力・計画力養成の実践	正会員 笠嶋 泰 君 (大同工業大学教授)
耐震化推進と耐震教育改善のための教材開発と啓発・教育活動の実践	正会員 福和 伸夫 君 (名古屋大学教授)

※応募件数：教育業績2件, 教育貢献13件

### 3.4 2008 年日本建築学会奨励賞

表彰業績	受賞者
訪問介護・看護拠点のサービス提供圏とサービス内容の考察 -デンマーク, コペンハーゲンとの比較を通して-	正会員 生田 京子 君 (名古屋大学助教)
各種骨材を用いたコンクリートの乾燥収縮特性と骨材比表面積の影響	正会員 今本 啓一 君 (東京理科大学准教授)
部分スパン数値流体解析結果を利用した柱状物体からの空力音推定法 -推定手法の構築および実証実験-	正会員 大嶋 拓也 君 (新潟大学助教)
高齢者居住施設における個室・ユニット化の意義および問題点 -個室・ユニット型養護老人ホームへの建替え事例を通して-	正会員 神吉 優美 君 (東洋大学准教授)
連層耐震壁構面を有する6階建RC建物の地震時挙動に関する実験的研究 -1層の柱と耐震壁の負担する水平力の分担率について-	正会員 楠 浩一 君 (横浜国立大学准教授)
PREDICTION OF INFLOW DIRECTION AT LARGE OPENING OF CROSS VENTILATED APARTMENT BUILDING	正会員 甲谷 寿史 君 (大阪大学講師)
明治初期における官舎制度の形成過程について -近代日本の官舎建築に関する歴史的研究-	正会員 崎山 俊雄 君 (秋田県立大学助教)
「ポートルイト (pourtraict)」から「プラン (plan)」へールネサンスのパリに於ける都市設計の概念的萌芽とそのための技術的転換に関する研究 その2 (完) -	正会員 鳥海 基樹 君 (首都大学東京准教授)



表彰業績	受賞者
自閉症者グループホームにおける生活行動と支援に関する研究 - ノースカロライナ州のTEACCHプログラム・グループホームを事例として -	正会員 中島美登子 君 (有明工業高等専門学校講師)
RC部材のスリップ型多軸復元力特性の定式化に関する研究	正会員 西村康志郎 君 (東京工業大学助教)
瑞泉寺徧界一覽亭をめぐる社友形成と詩板制作	正会員 野村 俊一 君 (東京藝術大学助手)
都市火災の物理的延焼性状予測モデルの開発	正会員 樋本 圭佑 君 (京都大学助教)
設立経緯及び建築類型に見る薩摩藩宮鹿児島紡績所イギリス資本から見た集成館事業の研究 (2)	正会員 水田 丞 君 (京都工芸繊維大学日本学術振興会特別研究員)
剛性行列のブロック対角化を利用した線形座屈荷重を目的関数とする単層トラスドームの形状最適化	正会員 山本 憲司 君 (鹿児島大学助教)
分散型MTMDによる大スパン建築構造の振動制御に関する研究 - 複数モード制御のためのMTMDバンド幅設定法 -	正会員 吉中 進 君 (大阪市立大学講師)

※応募件数59件 (構造18件, 環境9件, 計画32件)

### 3.5 2008年日本建築学会作品選奨

表彰業績	受賞者
龍谷大学大宮図書館	正会員 赤木 隆 君 ( (株) 日建設計設計部門設計長)
武蔵工業大学新建築学科棟#4	正会員 岩崎 堅一 君 (武蔵工業大学教授)
Gravitecture 大阪城	正会員 遠藤 秀平 君 (神戸大学教授)
総合地球環境学研究所	正会員 岡本 隆 君 ( (株) 日建設計設計部門設計室室長)
	正会員 寺岡 俊彦 君 ( (株) 日建設計設計部門設計室主管)
	正会員 久下 武彦 君 ( (株) 日建設計設計部門設計室)
Egota house A	正会員 坂本 一成 君 (東京工業大学教授)
	正会員 遠藤 康一 君 (東京工業大学助教)
	正会員 岡村 航太 君 (ハッチョウボリ・デザイン・オフィス)
	正会員 中井 邦夫 君 (神奈川大学准教授)

表彰業績	受賞者
北海道薬科大学臨床講義棟C	正会員 佐藤 孝 君 (北海道工業大学教授) 正会員 芳川 朝彦 君 (a-plus芳川朝彦建築設計室代表) 正会員 東宮 英明 君 (大成建設(株)一級建築士事務所) 正会員 芹澤 智 君 (大成建設(株)一級建築士事務所)
京都市本能特別養護老人ホーム・ 京都市立堀川高等学校本能学舎	正会員 設楽 貞樹 君 ((株)安井建築設計事務所常務取締役) 正会員 寺岡 宏治 君 ((株)安井建築設計事務所設計部部長) 正会員 森 雅章 君 ((株)安井建築設計事務所設計部設計主事) 正会員 奥 貴人 君 ((株)安井建築設計事務所設計部設計主任)
成増高等看護学校	正会員 富永 讓 君 (富永讓+フォルムシステム設計研究所代表・法政大学教授)
東洋ロキグローバル本社ビル	正会員 平倉 章二 君 ((株)久米設計取締役副社長) 正会員 山本 茂義 君 ((株)久米設計設計本部建築設計部設計部長) 正会員 小堀 哲夫 君 ((株)久米設計設計本部建築設計部上席主査) 正会員 三谷 徹 君 (千葉大学准教授) 正会員 戸田 知佐 君 (オンサイト計画設計事務所取締役パートナー)

表彰業績	受賞者
坂井市立丸岡南中学校	正会員 堀場 弘 君 (シーラカンスK&H(株)代表取締役) 正会員 工藤 和美 君 (シーラカンスK&H(株)代表取締役・東洋大学教授) 正会員 新谷 真人 君 (早稲田大学特任教授・オーク構造設計取締役) 正会員 長澤 悟 君 (東洋大学教授)
ハーモニー団地	正会員 松永 安光 君 (近代建築研究所代表取締役所長)
AGCモノづくり研修センター	正会員 山口 広嗣 君 (株)竹中工務店設計部設計担当マネージャー副部長) 正会員 宮下 信顕 君 (株)竹中工務店設計部課長代理) 正会員 田中 誓子 君 (株)竹中工務店設計部設計担当)

※作品選集掲載件数99件

### 3.6 2008年日本建築学会文化賞

表彰業績	受賞者
石工として多くの建築家と協働し自然石を用いた日本ならではの力強い空間を実現した業績	和泉 正敏 殿 (石のアトリエ主宰・ (財)イサム・ノグチ日本財団理事長)
小樽運河と石造倉庫群の保存に関わる市民運動を通して小樽都心部の復興・再生に貢献した業績	峯山 富美 殿 (小樽再生フォーラム顧問・ 元 小樽運河を守る会会長)
カメラマン(建築写真家)そしてカワラマン(瓦職人)としての建築界への貢献	山田 脩二 殿 (株)山田脩二・淡路かわら房主宰)

※推薦件数12件

### 3.7 2008年日本建築学会優秀卒業論文賞・優秀修士論文賞

(タジマ建築教育振興基金対象事業)

部	部門	論文名	受賞者
学部	構造	地域性を考慮したコンクリートのライフサイクルにおける環境負荷評価に関する研究	正会員 岩田 彩子 君 (東京理科大学)
		コンクリート充填円形鋼管柱に取り付くH形鋼梁ウェブ接合部の曲げ耐力に関する研究	正会員 鮫島 由佳 君 (北九州市立大学)
		自由曲面シェル構造の形態創生とその力学的性状－剛性と座屈不安定性に関する考察－	正会員 藤田慎之輔 君 (名古屋大学)
	計画	開拓使の米国式家畜房に関する研究 －札幌官園牛舎(明治8年)と七重勸業試験場第二家畜房(明治14年)の比較を通じて－	正会員 伊藤 桜 君 (北海道大学)
		都市における街路空間の魅力と歩行速度の関係	正会員 伊藤 美穂 君 (名古屋工業大学)
		茶室の自然光に対する空間構成の研究	正会員 小倉 亮 君 (芝浦工業大学)
		ウィリアム・メレル・ヴォーリズ(一柳米来留)の建築様式についての考察 －アメリカ合衆国の様式群との比較を通じて－	正会員 神谷 悠実 君 (三重大学)
		真駒内小学校の使われ方の変遷と計画コンセプトとの関係	正会員 小林 暁子 君 (北海道大学)
		震災復興まちづくり模擬訓練プログラムに関する研究 －東京都復興市民組織育成事業の事例分析－	正会員 藤賀 雅人 君 (明治大学)
		述懐される「家」についての研究	正会員 真鍋 怜子 君 (早稲田大学)
		徳島県旧東祖谷山村の民家における空間構成とイロリの文化	正会員 水重 佳子 君 (京都女子大学)
		伝統的な産業の持続と文化的景観の形成・創造に関する研究 －小鹿田焼の里(日田市大字小野源栄町皿山)を事例として－	正会員 山口 知恵 君 (九州大学)
	環境	複雑都市形状におけるバルクスカラ輸送係数の風洞模型実験	正会員 池谷 直樹 君 (九州大学)
		戸建住宅10件における居住環境とアレルギー性疾患等との関連性に関する長期実測	正会員 高松 真理 君 (秋田県立大学)
		光透過型壁体の室内印象評価とそれに基づく省エネ・快適性シミュレーション	正会員 長吉 謙輔 君 (東海大学)
修士	構造	震動破壊実験を活用した建築物の構造ヘルスマonitoringに関する実証的研究	正会員 桐田 史生 君 (東京理科大学)
		静的および動的繰返し軸応力を受ける鋼材の曲線履歴型モデル	正会員 小澤 秀允 君 (東京工業大学)
		MRダンパーを用いた免震建物の応答制御手法の比較検討及び提案	正会員 佐上 瑤子 君 (東北大学)

	部門	論文名	受賞者
修士	計画	特別養護老人ホームにおけるユニット調理の効果と課題 －行動観察調査とアンケート調査による食提供の実態把握を通して－	正会員 赤澤 芳子 君 (大阪市立大学)
		精神障害者の社会復帰環境に関する研究 －「浦河べてるの家」の事例を通して－	正会員 安達 紫野 君 (東京大学)
		都市景観における3次元的可視特性の分析 －京都の歴史的都心地区を対象として－	正会員 太田 匠哉 君 (京都大学)
		工務店が用いる木造軸組構法の変遷に関する研究	正会員 権藤 智之 君 (東京大学)
		GHQ 占領期東京における都市・建築を巡る状況に関する研究	正会員 徳田 哲司 君 (東京大学)
		日本近代における都市開発手法と建築設計計画の近代化に関する研究 －三菱財閥の経営合理化と丸ノ内ビジネス街開発を事例として－	正会員 野村 正晴 君 (東京芸術大学)
		フランス農村集落の景観制度とその実態 －アルザス地方ゲベルシュウィル集落を対象として－	正会員 福原 信一 君 (九州大学)
		首都圏におけるシェア型賃貸住居に関する研究	正会員 見立竜之輔 君 (東京大学)
		異世代シェア居住の可能性 －アメリカにおける“高齢者－若者シェア”の体験を通して－	正会員 宮原真美子 君 (東京大学)
	環境	建物外皮の日射反射特性評価 －良好な放射環境形成をめざして－	正会員 小林 春奈 君 (大阪市立大学)
		公立小学校の冷房化に関するエネルギー予測と環境対策シナリオ	正会員 鈴木 宏昌 君 (早稲田大学)
		CIP法による時間領域音場解析に関する研究	正会員 太刀岡勇気 君 (東京大学)

分野別受賞論文数 (総応募数 224 編/56 大学)

	構造系	計画系	環境系	合計
卒業論文	3編 (18)	9編 (79)	3編 (10)	15編 (107)
修士論文	3編 (19)	9編 (82)	3編 (16)	15編 (117)
合計	6編 (37)	18編 (161)	6編 (26)	30編 (224)

※ ( ) 内の数字は応募論文数

## 4. 支部共通事業

### 4.1 講習会

「JASS 5 鉄筋コンクリート工事」改定講習会

<主催> 日本建築学会

<後援> 国土交通省，開催地都道府県，建築業協会，全国建設業協会，日本建築家協会，日本建築構造技術者協会，日本建築士会連合会，開催地建築士会，日本建築士事務所協会連合会，開催地建築士事務所協会，建築・設備維持保全推進協会，日本コンクリート工学協会，土木学会セメント協会，全国生コンクリート工業組合連合会，日本鉄鋼連盟，全国鉄筋工事業協会，鐵鋼スラグ協会，日本フライアッシュ協会，日本鉄筋継手協会，コンクリート用化学混和剤協会，人工軽量骨材協会，仮設工業会，全国コンクリート圧送事業団体連合会，日本建築仕上材工業会，プレハブ建築協会，日本建築仕上学会，日本建築センター，公共建築協会，日本材料学会，日本建築防災協会，都市再生機構

<主旨>

建築工事標準仕様書JASS 5 鉄筋コンクリート工事は，前回の1997年の大改定の後，2003年に部分改定されましたが，前回の改定から12年が経過し，全面的な見直しをすることといたしました。この間の建築工事に対する社会情勢の変化として，地球環境問題への配慮，建築物の長寿命化，品質保証体系の充実などの要請があり，技術の進歩として高強度コンクリートの普及とさらなる高強度化技術の開発などがあげられます。

このような背景のもとに，今回の改定では，耐久性向上のための諸規定の整備，コンクリートの品質管理・検査規定の充実，調合強度式におけるT値からS値への変更，特殊仕様コンクリートの内容の充実などを検討してきました。JASS は，標準仕様書という形をとっていますが，社会的には法令を補完するものとして扱われ，建築施工基準という性格も持っています。

この度JASS 5 の成案がまとまりましたので，本会では，会員ならびに鉄筋コンクリート造建築物の設計・施工に携わるすべての技術者各位に広くその趣旨および内容をご理解いただき，それぞれの専門領域において役立てていただくために，本講習会を開催することといたしました。本会会員ならびに鉄筋コンクリート造建築物に関連する技術者各位におかれましては，奮ってご参加下さいますようご案内申し上げます。

<講師> 阿部 道彦，一瀬 賢一，大久保孝昭，太田 達見，鹿毛 忠継，嵩 英雄，小山 智幸  
桜本 文敏，清水 昭之，陣内 浩，千歩 修，棚野 博之，名和 豊春，野口 貴文  
畑中 重光，浜 幸雄，早川 光敬，梶田 佳寛，三井 健郎，山崎 庸行，山田 義智

<テキスト> 建築工事標準仕様書・同解説 JASS 5 鉄筋コンクリート工事（改定版）

<開催地等>

支部	開催地	期 日	会 場	参加者
関東	東京	2月19日(木)	砂防会館本館	626名
四国	高知	2月24日(火)	高知共済会館	45名
九州	福岡	2月24日(火)	福岡建設会館7階会議室	188名
中国	広島	2月26日(木)	広島県情報プラザ地下多目的ホール	154名
東海	名古屋	3月2日(月)	明治安田生命名古屋ビル16F	270名
北陸	金沢	3月3日(火)	ITビジネスプラザ武蔵	52名
近畿	大阪	3月4日(水)	大阪商工会議所国際会議ホール7階	387名
東北	仙台	3月5日(木)	ハーネル仙台	149名
北海道	札幌	3月6日(金)	ホテルノースシティ	111名
合 計				1,982名

## 4.2 設計競技

<課題> 「記憶の器」

<主催> 日本建築学会

<後援> 日本建築家協会, 日本建築士会連合会, 日本建築士事務所協会連合会, 建築業協会

<主旨>

人が何かを思い出すとき、そこには必ずその背景となる建物がある。また逆に、具体的な建物が人の心の中に過去の記憶を生起させることもある。建物が直接的に扱うのは外観の印象や内包される空間だが、結果としてそれらは人の心の中で時間の媒介物となるのだ。この時間の媒介物として見た建物を「記憶の器」と呼びたい。

これまで、建物が本来的に内包しているはずの「記憶の器」としての機能と役割については、あまり語られなかった。これには理由がある。明治以降我が国では、欧米に追いつくために性急に建物を作っていくことが国是だったし、戦後においては経済復興に邁進せざるを得なかった。大勢において、連綿と時間の流れを紡いでゆく、その器としての建物の機能と役割に着目するゆとりなどなかった。しかし一方で、昭和30年代の記憶を追体験しようという動きが、様々なメディアを通してなされ始めている。小説として、映像として、言論として、商業空間として、町おこしとして。こうした動きのほとんどは、「記憶の器」としての建物に手がかりを求めている。成熟期を迎えた我が国の文化形成の一翼を、「記憶の器」としての建物が担い始めている、と言っても過言ではない。

さて、ある特定の地域を設定するとして、皆さんが提案する建物は、未来に対してどのような「記憶の器」としての機能を果たしうるだろうか。「記憶の器」としてとらえた時、建物はどのような空間や形態を持ち得るだろうか。この観点から「記憶の器」としての建物または建物群を提案してほしい。

審査委員長 内藤 廣

<全国審査員> 内藤 廣, 五十嵐太郎, 大谷 英人, 大月 敏雄, 小篠 隆生, 小泉 雅生  
柴原 利紀, 鈴木 賢一, 藤本 壮介, 宮田多津夫

<全国入選者>

応募資格……個人会員

賞	会員	氏名 (○:代表者)	所属	支部
最優秀賞	正会員	○矢野 佑一	大分大学大学院	九州
	正会員	山下 博廉	〃	
	正会員	河津 恭平	〃	
	正会員	志水 昭太	〃	
	正会員	山本 展久	〃	
最優秀賞	正会員	○赤木 建一	九州大学大学院	九州
	正会員	山崎 貴幸	〃	
	正会員	中村 翔悟	〃	
	正会員	井上 裕子	〃	
優秀賞	準会員	○板谷 慎	日本大学	関東
	準会員	永田 貴祐	〃	
優秀賞	正会員	○黒木 悠真	大阪市立大学大学院	近畿
優秀賞	正会員	○坪井 祐太	山口大学大学院	中国
	正会員	松本 誉	〃	
優秀賞	正会員	○花岡 芳徳	広島工業大学大学院	中国
	正会員	児玉 亮太	〃	
優秀賞	準会員	○中川聡一郎	九州大学	九州
	準会員	樋口 翔	〃	
	準会員	森田 翔	〃	
	準会員	森脇亜津子	〃	
佳作	正会員	○小栗 真実	北海道大学大学院	北海道
	正会員	青木 潤	(株)日本設計 建築設計群	
佳作	正会員	○西口雄一郎	東京理科大学大学院	関東
佳作	正会員	佐々山 浩	〃	関東

賞	会員	氏名(○:代表者)	所属	支部
佳作	正会員	○藤井 健史	立命館大学大学院	近畿
	正会員	小嶋 竜	〃	
	正会員	吉田 悠佑	〃	
	正会員	井上 僚平	〃	
	正会員	小嶋 咲紀	〃	
	正会員	圓城寺俊介	〃	
佳作	準会員	○山口 和紀	近畿大学	中国
	準会員	岡本 麻希	〃	
	準会員	高橋磨有美	〃	
佳作	正会員	○永野 敦士	熊本大学大学院	九州
タジマ奨励賞	準会員	○河野 恵	広島大学	関東
	準会員	百武 恭司	〃	
	準会員	大高美乃里	〃	
タジマ奨励賞	準会員	○板谷 慎	日本大学	関東
	準会員	永田 貴祐	〃	
タジマ奨励賞	準会員	○千葉 美幸	京都大学	近畿
タジマ奨励賞	準会員	○國居 郁子	明石工業高等専門学校	近畿
	準会員	福本 遼	〃	
	準会員	水谷 昌稔	〃	
タジマ奨励賞	準会員	○成松 仁志	近畿大学	中国
	準会員	松田 尚子	〃	
	準会員	安田 浩子	〃	
タジマ奨励賞	準会員	○平町 好江	近畿大学	中国
	準会員	安藤美有紀	〃	
	準会員	中田 庸介	〃	
タジマ奨励賞	準会員	○山口 和紀	近畿大学	中国
	準会員	岡本 麻希	〃	
	準会員	高橋磨有美	〃	
タジマ奨励賞	準会員	○上村 浩貴	高知工科大学	四国
タジマ奨励賞	準会員	○中川聡一郎	九州大学	九州
	準会員	樋口 翔	〃	
	準会員	森田 翔	〃	
	準会員	森脇亜津子	〃	
タジマ奨励賞	準会員	○富田 海友	東海大学	九州

(タジマ奨励賞は、学部学生(それに準ずる)個人またはグループを対象とする)

支部	北海道	東北	関東	東海	北陸	近畿	中国	四国	九州	合計
応募数	13	7	68	11	10	57	49	21	107	343
支部入選数	4	3	15	4	3	12	11	6	19	77

応募数：343 作品，支部入選数：77 作品  
 全国入選数：12 作品，タジマ奨励賞：10 作品

<備考>

全国入選作品および審査講評は「建築雑誌 2008 年 11 月号」に掲載の他、「優秀作品集」を 2009 年 3 月に刊行。



### 4.3 全国大学・高専卒業設計展示会（第49回）

出展校 大学：160校（学科）／短大：7校／高専：12校／能開大：2校 計181校

開催支部	開催地	開催会場	開催期日	参観者数
北海道	室蘭	室蘭工業大学・大学会館多目的ホール	5月14日（水）～5月16日（金）	167名
	旭川	東海大学芸術工学部1号館1階ホール・2階第1製図室	5月23日（金）～5月26日（月）	374名
	札幌	北海道大学遠友学舎	6月7日（土）～6月8日（日）	100名
	釧路	釧路工業高等専門学校・建築製図室	11月12日（水）～11月14日（金）	100名
東北	山形	東北芸術工科大学 デザイン工学実習棟A2階ギャラリー	6月23日（月）～6月28日（土）	300名
	由利本荘	秋田県立大学本荘キャンパス	7月19日（土）～7月22日（火）	202名
	仙台	東北大学工学部社会基盤工学科人間環境系建物・2階製図室	7月29日（火）～8月1日（金）	280名
	郡山	日本大学工学部62号館大講堂	9月25日（木）～9月26日（金）	190名
	八戸	八戸工業大学建築工学科建築設計室A209	10月18日（土）～10月19日（日）	289名
関東	宇都宮	宇都宮大学工学研究科建設棟4年製図室	7月16日（水）～7月18日（金）	200名
	東京	東京電機大学未来科学部お茶の水アネックス5階建築学科製図室	9月3日（水）～9月5日（金）	218名
	足利	足利工業大学8号館第2製図室	10月11日（土）～10月13日（月）	320名
	前橋	前橋工科大学工学部4号館411, 412製図室	10月30日（木）～11月1日（土）	470名
	東京	建築会館・建築博物館ギャラリー	3月3日（火）～3月9日（月）	110名
東海	津	三重大学講堂（山翠ホール）小ホール・ホワイエ	4月25日（金）～4月29日（火）	193名
	名古屋	名古屋都市センター11階企画展示スペース	1月6日（火）～1月11日（日）	346名
北陸	石川	金沢工業大学ライブラリーセンター（LC）・1階展示室	5月20日（火）～5月24日（土）	911名
	新潟	新潟大学工学部E棟5階製図室	9月30日（火）～10月3日（金）	200名
	長野	信州大学工学部社会開発工学科西棟3階製図室	11月17日（月）～11月19日（水）	146名
	福井	福井県立美術館・第三展示室	12月11日（木）～12月14日（日）	681名
近畿	大阪	大阪市立住まいのミュージアム（大阪暮らしの今昔館）企画展示室	7月2日（水）～7月6日（日）	830名
	神戸	神戸芸術工科大学本館1階KDUギャラリーセレンディップ	12月13日（土）～12月18日（木）	100名
中国	宇部	山口大学工学部感性デザイン工学科本館2階製図室	8月5日（火）～8月7日（木）	200名
	米子	米子工業高等専門学校建築学科製図室	9月4日（木）～9月8日（月）	243名
	東広島	広島大学大学院工学研究科A-2棟8階製図室	9月18日（木）～9月20日（土）	599名
	広島	広島工業大学三号館3階製図室	9月24日（水）～9月27日（土）	202名
四国	松山	愛媛県立美術館	2月10日（火）～2月15日（日）	100名

	徳島	専門学校穴吹カレッジ 11 階ビューホール	8 月 19 日 (火) ～8 月 21 日 (木)	30 名
	高知	高知工科大学教育研究棟 B 棟 5 階 B501	10 月 15 日 (水) ～10 月 17 日 (金)	62 名
九州	熊本	熊本大学工学部百周年記念館	6 月 4 日 (水) ～6 月 6 日 (金)	424 名
	沖縄	琉球大学工学部環境建設工学科製図室	6 月 11 日 (水) ～6 月 13 日 (金)	348 名
	長崎	石丸文行堂イベントホール (6 階)	6 月 26 日 (木) ～6 月 29 日 (日)	185 名
	大分	日本文理大学 3 号館 331 製図室	7 月 25 日 (金) ～7 月 27 日 (日)	150 名
	福岡	九州産業大学工学部 8 号館 7 階製図室 I / II	9 月 9 日 (火) ～9 月 12 日 (金)	164 名
	鹿児島	鹿児島県歴史資料センター黎明館	10 月 2 日 (木) ～10 月 4 日 (土)	343 名
		35 会場	延べ参観者数	9,777 名

## 5. 会 誌

### 5.1 建築雑誌

建築雑誌 12 冊, 作品選集 1 冊, 総合論文誌 1 冊  
総ページ数 1,984ページ (建築雑誌1,594, 作品選集262, 総合論文誌128)  
総発行部数 462,100部 (建築雑誌407,100, 作品選集21,200, 総合論文誌33,800)

- 2008年 4月号 (第1575号) 拡張する「私んち」?  
建築の展覧会を考える  
5月号 (第1576号) 建築資料をのこすということ  
博士号の意義——建築ポストクの行方  
6月号 (第1577号) 建築の社会的責任——学会は頼りにされているか  
批判的工学主義に向けて  
7月号 (第1578号) OLYMPIC・CITY  
8月号 (第1579号) 建築ガールズパワー  
9月号 (第1580号) 建築年報2008  
10月号 (第1581号) 木造建築の到達点  
アーキニアリング・デザイン展を10倍楽しむ方法  
11月号 (第1582号) 学びの場を問う——閉じるか開くか  
小さなまちの建築的実験  
12月号 (第1583号) 環境共生を巡る7つの論点——立ち止まって常識を再考すると  
投稿論文「グローバリズム」
- 2009年 1月号 (第1584号) 新景観  
モノづくりの視点——技術者の育て方と育ち方  
増刊 (第1585号) 総合論文誌 第7号「都市・建築に関わる安全・安心のフロンティア」  
2月号 (第1586号) 宗教建築は終わったのか  
増刊 (第1587号) 作品選集2009  
3月号 (第1588号) 国際化時代の建築教育システムへ——大学院JABEEは何を目指すのか  
大学院における建築設計教育

### 5.2 作品選集

希望配布 20,100名 (個人:18,860名 法人:1,240名)  
・総頁数 262頁  
・印刷部数 21,200部

応募数・掲載数

支部別	応募数	掲載数
北海道	12	4
東北	9	3
関東	131	46
東海	24	7
北陸	18	7
近畿	52	18
中国	11	3
四国	9	3
九州	23	8
海外	1	1
合計	290	100

### 5.3 総合論文誌

学術論文の他にテーマに即した論説，実例，レビュー等を掲載。

- ・第7号 都市・建築に関わる安全・安心のフロンティア
- ・総頁数 128頁
- ・印刷部数 33,800部

学術論文の応募数・掲載数

セッション	応募数	掲載数
社会環境上の安全・安心	6	4
都市環境上の安全・安心	2	0
生活環境上の安全・安心	1	0
子供・高齢者等弱者にとっての安全・安心	0	0
その他	3	2
合計	12	6

## 6. 学 術 振 興

### 6.1 論 文 集

日本建築学会構造系論文集12冊，日本建築学会計画系論文集12冊，日本建築学会環境系論文集12冊。1題当たり5～8頁として下記各号に掲載発行。

(1) 発行回数および号数	12回 No. 626～637		
(2) 応募掲載数	構造系論文集	応募数 294題*1	掲載数 295題*2
	計画系論文集	〃 446題*1	〃 366題*2
	環境系論文集	〃 214題*1	〃 186題*2
(3) 総 頁 数	構造系論文集		2,374頁
	計画系論文集		2,812頁
	環境系論文集		1,344頁
(4) 総発行部数	構造系論文集		45,000部
	計画系論文集		47,450部
	環境系論文集		28,400部
(5) 論文予約購読者（個人）	構造系論文集		2,454名
	計画系論文集		2,314名
	環境系論文集		712名
	2系列（構造+計画）		63名
	2系列（計画+環境）		459名
	2系列（環境+構造）		139名
	3系列（構造+計画+環境）		455名
(6) 年決め予約購読者（法人）			379口

\*1 2008年4月～2009年3月の期間に応募された題数

\*2 2008年4月 第626号～2009年3月 第637号に掲載した題数

### 6.2 大会学術講演梗概集，大会建築デザイン発表梗概集

#### (1) 冊子版

大会学術講演梗概集は1題当たり2頁（オーガナイズドセッションは1題当たり4頁）として，A-1～F-2の12分冊に大別，論文予約購読者，年決め予約購読者，発表登録者に希望配布。

大会建築デザイン発表梗概集は1題当たり2頁として発表登録者に希望配布。

	掲載題数	ページ数	発行部数
A-1（材料施工）	617題	1,234頁	1,650部
A-2（防火，海洋，情報システム技術）	250題	516頁	1,030部
B-1（構造Ⅰ）	510題	1,020頁	1,530部
B-2（構造Ⅱ）	536題	1,072頁	1,500部
C-1（構造Ⅲ）	641題	1,282頁	1,640部
C-2（構造Ⅳ）	502題	1,070頁	1,440部
D-1（環境工学Ⅰ）	610題	1,262頁	1,570部
D-2（環境工学Ⅱ）	684題	1,404頁	1,810部
E-1（建築計画Ⅰ）	554題	1,134頁	1,600部
E-2（建築計画Ⅱ，農村計画，教育）	331題	690頁	1,200部
F-1（都市計画，建築経済・住宅問題）	733題	1,568頁	1,830部
F-2（建築歴史・意匠）	408題	816頁	1,530部
建築デザイン	175題	350頁	700部
計	6,551題	13,418頁	19,030部

(2) DVD-ROM版

大会学術講演梗概集A-1～F-2の12分冊，大会建築デザイン発表梗概集を収録。論文予約購読者，年決め予約購読者，発表登録者に配布。

	掲載題数	発行枚数
大会学術講演梗概集	6,376題	
大会建築デザイン発表梗概集	175題	
計	6,551題	13,700枚

6.3 技術報告集

技術報告集3冊，1題当たり4～6頁として下記各号に掲載発行。

(1) 発行回数および巻号数	3回	(14巻27号	14巻28号	15巻29号)
(2) 応募数	266題	( 100題	76題	90題)
(3) 掲載数	201題	( 69題	64題	68題)
(4) 総頁数	1,068頁	( 376頁	334頁	358頁)
(5) 総発行部数	8,400部	(2,800部	2,800部	2,800部)
(6) 技術報告集予約購読者 (個人)	2,430名			
(7) 技術報告集予約購読者 (法人)	155口			

応募数・掲載数

部門名	応募数	14巻27号	応募数	14巻28号	応募数	15巻29号
		掲載数		掲載数		掲載数
材 料 施 工	10	9	7	8	11	10
構 造	27	21	13	12	22	19
防 火	2	2	2	2	0	7
環 境 工 学	11	8	9	8	9	9
建 築 計 画	14	10	15	6	14	1
農 村 計 画	1	1	0	0	1	0
都 市 計 画	16	6	7	7	17	11
建築経済・住宅問題	5	3	4	3	4	3
建 築 歴 史・意 匠	6	4	7	8	4	3
海 洋	0	0	0	0	0	0
情報システム技術	0	0	3	2	1	0
教 育	3	1	1	0	3	1
災 害	5	4	7	7	2	2
文 教 施 設	0	0	1	1	1	1
地 球 環 境	0	0	0	0	1	1
計	100	69	76	64	90	68

## 6.4 英文論文集

Journal of Asian Architecture and Building Engineering 2冊

1題当たり8頁として下記各号に掲載発行。

Science Citation Index Expandedに採録。

(1) 発行回数および号数	2回	13号 (Vol. 7, No. 1)	14号 (Vol. 7, No. 2)
(2) 応募数	128題	( 45題	83題)
(3) 掲載数	59題	( 19題	40題)
(4) 総頁数	452頁	( 146頁	306頁)
(5) 総発行部数	3,700部	( 1,850部	1,850部)
(6) 英文論文集予約購読者 (個人)	1,129名		
(7) 英文論文集予約購読者 (法人)	56口		

応募数・掲載数

分野	学会名	応募数	13号	応募数	14号
			掲載数		掲載数
材料・構造	日本建築学会	1	0	4	3
	大韓建築学会	1	0	1	1
	中国建築学会	0	0	0	0
	その他	1	0	9	0
環境工学	日本建築学会	7	5	12	7
	大韓建築学会	0	0	3	1
	中国建築学会	0	0	3	0
	その他	1	0	2	2
計 画	日本建築学会	10	5	19	5
	大韓建築学会	4	3	2	2
	中国建築学会	0	0	0	0
	その他	2	0	3	3
建築歴史・意匠	日本建築学会	6	2	11	7
	大韓建築学会	3	1	2	1
	中国建築学会	1	0	3	2
	その他	8	3	9	6
小 計		45	19	83	40

## 6.5 研究補助・研究助成

(1) 本会が受けた研究補助・研究助成等

1. 平成20年度文部科学省科学研究費補助金「研究成果公開促進費」

本年度なし

2. 平成20年度 (独) 日本学術振興会科学研究費補助金「研究成果公開促進費」

1) 学術定期刊行物 (欧文誌)

・ 英文論文誌 (JAABE) の刊行

3,000,000円

2) 研究成果データベース

・ 図書館 目録・書誌・画像データベースの構築

1,500,000円

・ 建築博物館蒐集資料目録・画像データベースの作成

2,700,000円

3. 平成20年度国土交通省建築基準整備促進補助金事業「建築の質の向上に関する検討」

事業主体：建築にかかわる社会規範・法規範特別調査委員会

1,497,333円

(2) 2008年度支部研究補助

この研究補助は支部の研究補助をはかるもので、次の研究に総額180万円の研究費を補助した。

支 部	研 究 題 目	研 究 責 任 者	補 助 額
北海道	寒冷地工事仕様調査研究	長谷川拓哉 (北海道大学准教授)	20万円
東 北	東北におけるデザイン教育の実践と社会還元についてー大学デザイン教育の公開講評会を通してー	相羽 康郎 (東北芸術工科大学教授)	20万円
東 海	内・外装材の取付け安全性に関する研究	丸山 一平 (名古屋大学准教授)	20万円
北 陸	ヒート&クールチューブ住宅の地熱利用効果に関する実測調査研究	簗原 由紀 (金沢工業大学大学院生)	20万円
	新潟県柏崎市・中心市街地の町並みの研究	山田 洋	
	日本における雁木通りの残存状態について	菅原 邦生 (上越職業訓練協会技師)	
近 畿	長周期建物の地震時挙動の解明	林 康裕 (京都大学教授)	20万円
	関西戦後建築総覧 暫定リストの作成	橋寺 知子 (関西大学准教授)	20万円
中 国	限界集落といわれている集落を学生と訪ねその実態を多くの学生・都市居住者に知らせるプロジェクト	石丸 紀興 (広島国際大学教授)	20万円
四 国	四国住教育研究会	宇野 浩三 (高知女子大学教授)	20万円
九 州	九州における建築デザインの地域性に関する研究	志賀 勉 (九州大学講師)	20万円
8支部	11件	総合計	180万円

(3) 2008年度特色ある支部活動企画

特色ある支部活動企画に対して、2支部に100万円を補助した。

支 部	企 画 名	助 成 額
北陸支部	北信越地域における特色ある土壁構法の研究	50万円
中国支部	中国地域における二地域居住の実態と今後の方向性に関する研究	50万円

(4) 災害軽減対策のための連続市民講座企画助成

支部における市民に対する地震防災対策の啓発・普及を促進する企画に対して、3支部3企画に50万円の開催費用を補助した。

支 部	企 画 名	助 成 額
北海道支部	地震防災体験学習inなかしべつ～みんなで始める地震防災対策	16万円
東北支部	防災セミナー&ワークショップ「地域特性を考慮した防災対策～秋田・能代に必要なもの」	16万円
九州支部	災害フォーラム「地震と台風・竜巻、どっちが怖いーどこが違う、建物の備え」	18万円



## (5) 竹中育英会建築研究助成

この研究助成は、若手研究者の今後に期待できる研究を助成するもので、今年度は下記 10 件の研究に対して助成された。

(応募件数 70 件)

No.	部 門	研 究 課 題	研 究 者	助成額
1	構 造	鋼構造建物に対する最悪多成分入力地震動の解明	藤田 皓平 (京都大学大学院)	50 万円
2		免震構造用ダンパー接合部の耐震性能に関する研究	浅田 勇人 (東京工業大学大学院)	50 万円
3	環境工学	ウェアラブル空気清浄機による呼吸空気質改善効果の検討	永野 秀明 (東京大学大学院)	50 万円
4		貸しオフィスにおける視覚要因と聴覚要因が知的生産性に与える影響	上猶 優美 (東京大学大学院)	50 万円
5		ハイブリッド換気を有する大空間における換気計画に関する研究	LIM EUNSU (大阪大学大学院)	50 万円
6	建築計画	滞留デザインを可能にする遮蔽空間の自動生成システム	平居 直 (早稲田大学大学院)	50 万円
7		生態学的視覚論に基づく都市空間の認知とデザインに関する基礎研究	王 羽 (大阪大学)	50 万円
8	都市計画	地域分散型エネルギー資源技術推進のための設計運営支援システムの開発研究	楊 涌文 (北九州市立大学)	50 万円
9	建築歴史・意匠	地方建設業の発生と公共工事の近代化について—明治期長野県の県道整備事業と学校建設を出発点に	江下以知子 (東京大学大学院)	50 万円
10		京都市街地の大規模集合住宅に見られる景観に「配慮」した造形手法に関する研究	松下 迪生 (京都工芸繊維大学大学院)	50 万円

(2008 年 7 月 11 日竹中育英会より通知)

## (6) その他の研究助成

2008 年度 鹿島学術振興財団研究助成

(新規採択 7 件, 継続採択 4 件)

No.	研 究 課 題	研究代表者	助成金額	採 択
1	上屋・基礎系の統合的鉄骨構造物の倒壊時性能に及ぼす冗長システムの抑制効果	木村 祥裕 (長崎大学准教授)	120 万円	継続採択
2	重要文化財五重塔の動的挙動の調査研究—地震・台風および常時微動の観測—	花里 利一 (三重大学教授)	95 万円	継続採択
3	低緯度帯の全天日射量及び分光日射カーブ推定手法の研究	田中 昭雄 (熊本大学特任教授)	60 万円	継続採択
4	日英のマージナルエリアにおけるブラウンフィールド再生策とそれに関するステークホルダーの役割に関する比較研究	阿部 浩和 (大阪大学教授)	125 万円	継続採択
5	直下地震に対する超高層免震建物の倒壊防止機構の開発	林 康裕 (京都大学教授)	260 万円	新規採用
6	円形鋼管柱を用いた外ダイアフラム形式柱梁接合部の実用的設計法の構築	吹田啓一郎 (京都大学准教授)	120 万円	新規採用
7	フランスにおける都市空間のデザイン・マネジメント	赤堀 忍 (芝浦工業大学教授)	180 万円	新規採用
8	成熟した地域コミュニティを担う住民主体の運営による新しい施設・活動に関する日米調査研究	鈴木 毅 (大阪大学准教授)	115 万円	新規採用

9	近代寺院建築を対象とした維持保全，文化継承，ならびに木材資源の有効利用に関する研究	勝又 英明 (武蔵工業大学教授)	100万円	新規採用
10	東アジアにおける高層集合住宅の劣化現象とその蘇生技術に関する研究	松村 秀一 (東京大学教授)	260万円	新規採用
11	日本ハリストス正教会の聖堂建築の研究	泉田 英雄 (豊橋技術科学大学准教授)	130万円	新規採用

(2009年4月1日付鹿島財団通知)

## 7. 委員会活動

### 7.1 支援建築会議

会長・委員長名 委員数 (運営委員会・部会数)	会 合 数	事 業 概 要
	運営委員会 部 会	
司法支援建築会議 会 長 齋藤 公男君 運営委員長 小野 徹郎君 49名 (5)	28	(1) 最高裁判所の要請に基づき鑑定人候補者1名推薦 (2) 東京地方裁判所他の要請に基づき調停委員候補者29名(再任含む)を推薦 (3) 東京地方裁判所建築関係事件研究会講師推薦 (4) 建築紛争事例の調査分析,「よりよい建築のための失敗の博物館」充実 (5) 瑕疵に伴う修補工事費の見積り方法の検討 (6) 東京地方裁判所,日本弁護士連合会消費者問題対策委員会等との意見交換会を開催
まちづくり支援建築会議 会 長 齋藤 公男君 運営委員長 佐藤 滋君 西村 幸夫君 55名 (4)	4	(1) まちづくり教科書企画・刊行 ・新たなまちづくり教材の企画(勉強会開催) (2) 地方でのまちづくりセミナー企画・開催【8.1(2)参照】 (3) セミナー・シンポジウム等企画 (4) 全体会議開催 (5) まちづくり支援活動 ・まちづくり津島への登録会員推薦(講師) (6) 建築等を通じた良好な景観形成・まちづくり推進協議会への参画
住まいづくり支援建築会議 会 長 齋藤 公男君 運営委員長 服部 岑生君 61名 (4)	32	(1) 大会研究懇談会「住まいづくりの夢の実現にどう関わるか」開催 (2) 市民向けセミナーの開催(東京) (3) 「長く暮らすためのマンションの選び方・育て方」の出版 (4) 住宅グリーンフィング検討 (5) ブレーメン型地域社会づくりモデル事業(住まいづくり支援市民講座)の実施

### 7.2 全国建築系大学教育連絡協議会

会長・委員長名 委員数 (運営委員会・部会数)	会 合 数	事 業 概 要
	運営委員会 部 会	
全国建築系大学教育連絡協議会 会 長 齋藤 公男君 運営委員長 小野 徹郎君 20名 (1)	5	・インターンシップに関するアンケートの実施(2回実施) ・インターンシップ等教育支援に関する協議の場の創設について検討 ・全国建築系大学教育連絡協議会のあり方について検討 ・134学科・コース加盟

## 7.3 会務関係

### (1) 会 務

委 員 会 名 委 員 長 名 委員数 (運営委員会・小委員会数)	会合数	事 業 概 要
	本委員会・運営委員会・小委員会	
正副会長会議 斎藤 公男君 6名	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会長の活動方針について</li> <li>・会長・副会長の職務分掌について</li> <li>・新理事の選考</li> </ul>
企画運営委員会 斎藤 公男君 11名	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学会賞等表彰式の簡素化・ビジュアル化について</li> <li>・外部資金への対応について</li> <li>・中国四川省の地震への対応について</li> </ul> ほか、本会運営にかかわる重要事項について検討
法人制度基本問題検討委員会 神田 順君 15名	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新公益法人制度への対応について</li> <li>・学会の理念と定款（目的・事業）について</li> <li>・建築学会の社会貢献，社会との関わりのあるあり方について</li> <li>・会務運営の推移と本会の性格について</li> <li>・本部・支部のガバナンスについて</li> <li>・会員制度，選挙制度について，検討</li> </ul>
総務・財務運営合同委員会 平倉 章二君 最上 公彦君 18名	4	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 2007年度事業報告案</li> <li>(2) 2007年度収支決算・財産目録および未処分金処分案</li> <li>(3) 事業計画・収支予算ならびに今後の主要財政予測</li> <li>(4) 事業計画・収支予算編成上の基本方針案（2009年）</li> <li>(5) 新公益会計基準への移行について</li> <li>(6) 経理規則改正案について</li> <li>(7) 公益法人制度改革における移行法人形態について －移行法人形態選択の留意点について</li> <li>(8) 収支相償原則に係る諸問題について</li> <li>(9) 2009年度事業計画・収支予算案について</li> <li>(10) 公益法人制度改革への今後の対応について</li> </ol>
選挙管理委員会 相良 和伸君 定行まり子君 7名	4	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 代議員半数（60名）改選に伴う選挙執行</li> <li>(2) 役員（副会長，監事）選挙の執行管理</li> </ol>
会員委員会 中島 明子君 相良 和伸君 14名	3	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 会員数減少への対応検討</li> <li>(2) 会員制度の検討課題について</li> <li>(3) 入会勧誘パンフレットによるPR</li> <li>(4) 会員数の動向調査</li> </ol>
倫理委員会 高橋 信之君 21名 (2)	3 (10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『建築学会の技術者倫理教材』の編集と講習会の企画</li> <li>・倫理綱領・行動規範の英訳版の策定</li> <li>・技術者協議会への委員派遣</li> </ul>
CIB委員会 古瀬 敏君 8名	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノンエンジニアド部会の新設</li> <li>・CIBに対するTG75「Engineering study on traditional constructions」の設置申請（承認）</li> </ul>
国際交流委員会 平倉 章二君 最上 公彦君 8名	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流振興基金の配分</li> </ul>
アジア建築交流委員会 国広ジョージ君 19名	3	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) アジアにおける建築交流のあり方検討</li> <li>(2) 第8回アジアの建築交流国際シンポジウム企画検討 (2010年10月頃，日本開催)</li> </ol>

男女共同参画推進委員会 中島 明子君 相良 和伸君 19名	委員会 3 幹事会 3	(1)「男女共同参画推進行動計画」原案策定 (2)「男女共同参画推進行動計画」の活動方針に基づく活動計画の実施 ・本会における女性会員拡充と参画機会拡大の方策検討 ・男女共同参画実態調査の企画 ・男女共同参画に関する懇談会開催 ・ホームページ開設準備 (3) 男女共同参画学協会連絡会を通じた他学会との連携・情報交換の推進
会館委員会 稲田 達夫君 北澤 章君 12名	2	(1) 2008年度整備工事・2009年度実施予定整備工事について (2) 中長期修繕計画および会館修繕積立金・会館運営積立金について (3) 2008年度会館部門収支決算ならびに2009年度収支予算について (4) 契約賃料、公募条件等の検討およびテナント契約解除に伴う新規契約テナントについて (5) 建築会館耐震安全対策の検討・実施について (6) 建築会館災害対策本部設置要領の策定 (7) 災害備蓄品の整備 (8) 三宅島研修所の運営について

(2) 表彰関係

委員会名 委員長名 委員数 (運営委員会・小委員会数)	会合数	事業概要
	本委員会・運営委員会・小委員会	
表彰委員会 斎藤 公男君 12名	2	(1) 2009年各賞表彰業績候補の選考結果を承認し理事会へ上程 ・大賞2件、学会賞15件(論文9, 作品3, 技術2, 業績1), 教育賞5件(業績2, 貢献3), 奨励賞14件, 文化賞3件, 作品選奨11件 (2) 2009年各賞選考委員(役職以外)を選出し理事会へ上程 ・学会賞21名, 教育賞5名, 奨励賞12名, 作品選奨6名 (3) 表彰規程, 学会賞選考委員会運営規程, 教育賞選考委員会運営規程の改正
日本建築学会大賞選考委員会 斎藤 公男君 10名	1	2009年日本建築学会大賞2件の選考
日本建築学会賞選考委員会 中川 武君 44名	3	2009年日本建築学会賞15件(論文9, 作品3, 技術2, 業績1)の選考

日本建築学会教育賞選考委員会 市之瀬敏勝君 10名	5	2009年日本建築学会教育賞5件(教育業績2,教育貢献3)の選考
日本建築学会奨励賞選考委員会 川口 健一君 林 康裕君 24名	4	2009年日本建築学会奨励賞15件の選考
日本建築学会作品選奨選考委員会 北山 恒君 10名	2	2009年日本建築学会作品選奨11件の選考
日本建築学会文化賞選考委員会 斎藤 公男君 10名	1	2009年日本建築学会文化賞3件の選考

## 7.4 研究関係

### (1) 学術関係

委員会名 委員長名 委員数 (運営委員会・小委員会数)	会合数	事業概要
	本委員会・運営委員会・小委員会	
学術推進委員会 神田 順君 中川 武君 33名 (3)	8	(1) 学術推進委員会・調査研究委員会の運営 ・調査研究委員会および特別研究委員会の予算配分 ・委員会改組, 小委員会の廃止・設置承認 ・公募委員の承認 ・委員会活動評価の実施 ・小委員会活動成果の公表 (2) 特別研究課題・若手奨励特別研究課題の公募 (3) 大会学術関係行事の企画・運営 ・学術講演会・建築デザイン発表会の運営 ・学術講演会・建築デザイン発表会のプログラム編成 ・オーガナイズドセッション・ポスターセッションの実施 ・研究集会等の企画・運営 ・電子投稿の実施 ・PCプロジェクターの導入 ・梗概集(冊子版・DVD版)の発行 (4) 学術基盤の整備等の検討

### (2) 調査研究関係

委員会名 委員長名 委員数 (運営委員会・小委員会数)	会合数	事業概要
	本委員会・運営委員会・小委員会	
材料施工委員会 梶田 佳寛君 804名 (52/WG含む)	214 (WG含む)	(1) 成案 1) 仕様書 ・建築工事標準仕様書・同解説 JASS 5 鉄筋コンクリート工事 ・建築工事標準仕様書・同解説 JASS 9 張り石工事 (2) 建築雑誌への掲載 ・RILEM 概要紹介 (3) 大会研究協議会・パネルディスカッション 研究協議会 ・地下工事とコンクリート躯体の防水工事を取り巻く現状と課題 パネルディスカッション ・環境に配慮した鉄筋コンクリート工事のあり方 ・無線情報技術は建築物・部材の維持管理を高度化できるか?! (4) 講習会・シンポジウム等の開催 【8.4 (1) 参照】 (5) 原案作成中 ・JASS 7 メーソンリー工事(改) ・寒中コンクリート施工指針・同解説(改) ・JASS 3 土工事および山留め工事 JASS 4 杭および基礎

		<p>工事（改）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリートポンプ工法施工指針・同解説（改）</li> <li>・型枠の設計・施工指針（改）</li> <li>・JASS 14 カーテンウォール工事（改）</li> <li>・JASS 19 陶磁器質タイル張り工事（改）</li> <li>・電気炉酸化スラグを用いたコンクリートの設計施工指針（新）</li> <li>・鉄筋コンクリート造配筋指針（改）</li> <li>・建築施工用教材（新）</li> <li>・構造シーラント接着系ガラス支持構法の設計・施工・保全技術指針（新）</li> </ul> <p>(6) 調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・RILEM 研究</li> <li>・杭・基礎工事</li> <li>・仮設工事</li> <li>・学会発行仕様書のあり方</li> <li>・鉄筋コンクリート</li> <li>・コンクリート試験法</li> <li>・コンクリートポリマー複合体試験法</li> <li>・再生骨材品質調査</li> <li>・セメント混和材料</li> <li>・環境配慮型鉄筋コンクリートガイドライン</li> <li>・構造体コンクリート強度</li> <li>・マスコンクリート</li> <li>・鉄骨工事</li> <li>・鉄骨製作鉄骨精度</li> <li>・鉄骨超音探傷</li> <li>・溶接施工</li> <li>・鉄筋コンクリート造</li> <li>・ブロック塀新構工法開発</li> <li>・防水施工・材料に関する研究</li> <li>・接合部における防水</li> <li>・鉄骨造防水</li> <li>・防水材料の対候性について</li> <li>・張り石工事</li> <li>・建築生産における工程計画・生産性・施工自動化に関する研究</li> <li>・内外装工事における工法・材料に関する研究</li> <li>・左官工事</li> <li>・塗装工事</li> <li>・吹付け工事</li> <li>・建築物の耐久性・維持保全に関する研究</li> <li>・リファレンス・サービスライフに関する調査および研究</li> </ul>
<p>構造委員会 和田 章君 1,850名 (136/WG含む)</p>	<p>655 (WG含む)</p>	<p>(1) 成案</p> <p>1) 刊行物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原子力施設における建築物の維持管理指針・同解説（新）</li> <li>・コンクリート充填鋼管構造設計施工指針（改）</li> <li>・溶接接合設計施工ガイドブック（新）</li> <li>・仮設構造物計画の手引き（新）</li> <li>・建築物の耐震性能評価手法の現状と課題 ―限界耐力計算・エネルギー法・時刻歴解析法の比較―（新）</li> <li>・最新の地盤震動研究を活かした強震波形の作成法</li> </ul>



		<p>(新)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補強組積造建築物の構造性能評価指針 (案)・同解説 [HP版] (新)</li> </ul> <p>2) 資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構造工学論文集 Vol. 55B</li> <li>・第54回構造工学シンポジウム</li> <li>・鉄筋コンクリート構造シンポジウム「RC造構造設計の未来を探る」</li> <li>・第7回新「シェル・空間構造」セミナー－応答制御技術が開く空間構造デザインの可能性 2008－</li> <li>・シンポジウム「杭の鉛直支持力を考える」</li> <li>・ワークショップ「非線形相互作用と耐震設計－最近観測される強震記録と建物被害の関係を考える－」</li> <li>・パネルディスカッション「近接山留め工事の現状と課題」</li> <li>・建築物外装材の耐風設計と耐風性能評価に関するシンポジウム</li> <li>・コロキウム「構造形態の解析と創生2008」(情報システム技術委員会と共催)</li> <li>・第36回地盤震動シンポジウム「度重なる被害地震から設計用入力地震動を考える－新・入力地震動作成手法の使い方と検証(その2)－」</li> <li>・シンポジウム「建築構造力学の最近の発展と展望」</li> <li>・シンポジウム「増大する地震動レベルと建物の終局耐震性の課題と展望－地震動と建築物の耐震性との関係を横断的に評価する指標の確立に向けて－」</li> <li>・第5回強震データの活用に関するシンポジウム「社会に役立つ強震観測」</li> <li>・構造最適化セミナー「構造最適化は役に立つのか」</li> </ul> <p>(2) 大会関係</p> <p>1) 研究集会等開催と資料作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究協議会：建築の強用美を支える構造技術者－建築確認制度厳格化の中で－</li> <li>・PD：建築構造設計における冗長性と頑強性の役割－リダンダンシーとロバスト性とは－</li> <li>・PD：今、なぜ構造設計にリスクコミュニケーションが必要か</li> <li>・PD：大地震時の杭基礎の耐震設計－2次設計を導入するのに何が必要か－</li> <li>・PD：高力ボルト接合における高強度化技術の最前線</li> <li>・PD：鉄筋コンクリート構造計算規準の改定について</li> <li>・PD：多様化する合成構造の設計規準の確立に向けて</li> <li>・PD：コンピュータテクノロジーと建築デザイン</li> <li>・PD：構造ヘルスマonitoringがつくる安全・安心な建築空間</li> <li>・研究資料：建築部材のリユースに関するガイドライン(案)</li> </ul> <p>2) オーガナイズドセッションの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低強度コンクリートの補強，外付け補強，繊維補強</li> <li>・シングル配筋部材の強度・変形状</li> </ul> <p>(3) 講習会・シンポジウム等開催【8.4(2)参照】</p> <p>(4) 原案作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・容器構造設計指針・同解説(改)</li> <li>・Design Recommendation for Storage Tanks and Their</li> </ul>
--	--	---

		<ul style="list-style-type: none"> <li>Supports (2010 Edition) [HP 版] (改)</li> <li>・ 温度荷重設計資料集 (新)</li> <li>・ 建築基礎設計のための地盤調査計画指針 (改)</li> <li>・ 伝統的木造建築物の設計の手引き (新)</li> <li>・ 木質構造接合部設計マニュアル (新)</li> <li>・ 木質耐力壁形式構造設計ノート (新)</li> <li>・ 鋼構造座屈設計指針 (改)</li> <li>・ 鋼構造接合部設計指針 (改)</li> <li>・ 鋼構造塑性設計指針 (改)</li> <li>・ 各種合成構造設計指針・同解説 (改)</li> <li>・ 鋼構造限界状態設計指針・同解説 (改)</li> <li>・ 鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説 (改)</li> <li>・ 高強度コンクリートの技術の現状 (2009) (改)</li> <li>・ 鉄筋コンクリート造建物の耐震性能評価指針・同解説 [英文版] (新)</li> <li>・ X 形配筋部材設計施工指針・同解説 (新)</li> <li>・ プレストレストコンクリート造建物の耐震設計および耐震性能評価指針 (案)・同解説 (新)</li> <li>・ 鋼-コンクリート構造部材接合部設計指針 (新)</li> <li>・ ラチスシェルの座屈と耐力 (新)</li> <li>・ 建築構造物の振動制御入門 (新)</li> <li>・ 地盤アンカーの設計・施工に関する Q&amp;A (新)</li> <li>・ 建築部材リユースの手引き (新)</li> </ul> <p>(5) 調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子力建築</li> <li>・ リスク管理応用理論, 不均質・混合体の理論と解析, 形態創生と構造最適化, 力学的感性和教育, 構造物の性能最適化とロバスト性, 耐衝撃性能評価, 建築構造の強非線形問題</li> <li>・ 確率・統計手法の工学利用, 地震荷重・構造性能, 風荷重, 雪荷重, 温度荷重, 積載荷重</li> <li>・ 小規模建築物基礎設計, 地盤調査計画, 地盤と基礎構造物の相互作用, 地盤定数</li> <li>・ 木質構造性能評価, 動的耐震設計法, 伝統的設計法, 教育プログラム, 接合部設計法, 耐力壁・壁架構の性能把握と設計法, 住宅の振動障害</li> <li>・ 鋼構造の座屈, 接合, 限界状態設計, 制振, 塑性設計, 各種合成構造設計, 塔状設計</li> <li>・ 鉄筋コンクリート構造計算規準, X 形配筋部材設計施工, パイルキャップ構造設計法, 長期性能, 応答スペクトルによる耐震設計</li> <li>・ プレストレストコンクリート構造の耐震設計, 新 PC 規準, 部材性能設計法, 常時荷重設計法</li> <li>・ 合成構造耐震性能評価, 鋼コンクリート接合部設計法, CES 構造性能評価, 合成構造規準</li> <li>・ シェル・空間構造の設計規準調査, 空間骨組構造, 耐震性能評価・改修, 連続体構造, 構造設計, 流体と構造物の連成問題, 計算機応用, テンション構造, 応答制御と減衰, 形態創生</li> <li>・ 地震荷重, 地盤震動, 基礎構造系振動, 耐震設計, 構造物振動制御, 強震観測, 構造ヘルスマonitoring</li> <li>・ 地盤アンカー, 仮設構造, 山留めの計画と設計, 期限付き建築物リユース</li> <li>・ 各種補強組積造設計法, 壁式鉄筋コンクリート構造の</li> </ul>
--	--	---

		性能規定化，壁式構造配筋指針
建築歴史・意匠委員会 初田 亨君 250名 (17/WG含む)	34 (WG含む)	(1) 成案 ・建築論辞典 (2) 大会関係 ・大会研究協議会：グローバルな視点からの近世都市比較研究の可能性 ・パネルディスカッション：建築論の諸相 (3) 見学会・シンポジウム等の開催【8.4(3)参照】 (4) 作成中 ・全国民家関係公開施設解説書 ・文化財建造物総目録 ・データベース「海外建築遺産調査研究活動記録」 (5) 改訂中 ・日本近代建築総覧 (6) 調査研究 ・歴史的建造物保存 ・DOCOMOMO対応 ・日本建築史 ・西洋建築史 ・東洋建築史 ・民家 ・近代建築史 ・建築論 ・建築意匠 ・都市史 ・文化遺産災害対策 ・データベース・アーカイブズ
防火委員会 田中 喙義君 249名 (21/WG含む)	110 (WG含む)	(1) 成果 1) 刊行物 ・「構造材料の耐火性ガイドブック」(改) ・「火災時のエレベータを利用した避難計画指針(案)」(新) 2) 資料・報告書 ・墨田区委託研究報告書「(仮称)耐火性能の確保にむけた設計・工事管理チェックシート等の作成」委託業務報告書 3) 大会関係 ・研究協議会「性能規定化の10年—残された課題・新たな課題」の開催と資料作成 ・オーガナイズドセッションの開催 (2) シンポジウム・セミナー・発表会【8.4(4)参照】 (3) 作成中 ・「建物の火災診断及び補修・補強方法指針(案)・同解説」(新) ・「コンクリート系建造物の火災耐力設計指針(案)」(新) (4) 調査研究 ・火災安全設計 ・火災安全工学に必要なデータ ・建物火災被害低減のための防排煙技術検討 ・地震火災総合対策 ・耐火被覆 ・火災診断補修 ・火災耐力設計 ・材料・構造耐火性

<p>建築経済委員会 古阪 秀三君 278名 (22/WGを含む)</p>	<p>111 (WG含む)</p>	<p>(1) 成果 1) 資料・報告書 ・第24回建築生産シンポジウム論文集 ・資産評価システム研究センター委託研究報告「建築設備の総合評価に関する調査研究」 2) 大会関係 ・研究協議会「企画の現場と夢づくり」開催と資料作成 ・パネルディスカッション「施設マネジメントの体系化の実際と今後のあり方」開催と資料作成 (2) シンポジウム・研究会の開催【8.4 (5) 参照】 (3) 調査研究 ・住宅需要構造 ・住宅の地方性 ・住宅ストック ・建築生産 ・建設産業 ・建築コスト ・建築企画 ・建築プログラミング ・固定資産評価 ・プロジェクトマネジメント ・施設マネジメント ・工事監理の社会的役割 ・プロパティマネジメント</p>
<p>環境工学委員会 井上 勝夫君 1,397名 (122/WG含む)</p>	<p>449 (WG含む)</p>	<p>(1) 成案 ・日本建築学会環境基準 AIJES-B001-2008 建築設備管理ガイドライン ・水辺のまちづくり ～ 住民参加の親水デザイン ～ ・日本建築学会環境基準 AIJES-W001-2009 建築運用時に発生するごみのリサイクル推進に寄与する建築計画とごみ処理システムに関するガイドライン—大規模事務所・商業施設および集合住宅の設計・運用管理—室内温熱環境測定規準・同解説 ・建物とその周辺における健全な水環境の形成に関する考え方 (2) 大会 ・研究協議会「建築・都市・地球環境—今、建築と都市に求められる環境性能」 ・オーガナイズドセッションの開催 (3) シンポジウム・研究会の開催【8.4 (6) 参照】 (4) 作成中 ・AIJ 環境基準総則に則った、各分野のアカデミックスタンダード ・「目で見る都市環境学」(CD-ROM版) ・「環境心理尺度実例ハンドブック」 ・「水と緑の建築環境計画—循環型システムにおける水と緑—」 ・「(建築) 環境心理生理用語集」(英和・和英) ・「建物の遮音設計—床衝撃音—」 ・「日本建築学会環境基準 AIJES アセトアルデヒドによる室内空気汚染に関する濃度等規準・同解説」 ・「日本建築学会環境基準 AIJES トルエンによる室内空気汚染に関する設計・施工等規準・同解説」 ・「日本建築学会環境基準 AIJES TVOC による室内空気</p>

		<p>汚染に関する設計・施工等規準・同解説」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「室内微生物制御マニュアル」</li> <li>・「設備設計図書に関する学会規準・同解説」</li> <li>・「ガラス建築 意匠と機能と知識」</li> <li>・「日本建築学会環境基準 AIJES 室内臭気測定法マニュアル」</li> <li>・「日本建築学会環境基準 AIJES 室内光・視環境に関する窓・開口部の設計・維持管理規準・同解説」</li> <li>・「室内化学物質汚染対策マニュアル」</li> </ul> <p>(5) 調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音環境（固体音・集合住宅の遮音性能評価水準検討・建築音響測定法・室内音響・音響数値解析・アカデミックスタンダード）</li> <li>・環境振動（環境振動測定手法・環境振動性能評価・環境振動制御情報・環境振動性能設計法）</li> <li>・光環境（建築空間の質感・色彩設計法・光環境デザイン・昼光シミュレーション・明視環境設計・昼光に関する基準）</li> <li>・熱環境（伝熱・湿気・温熱感・バイオクライマティックデザイン・熱環境シミュレーション）</li> <li>・空気環境（室内空気質・室内気流・換気・通風・屋外空気環境の予測・評価）</li> <li>・水環境（水と都市・雨水利用システム規格・健全な水環境の形成検討）</li> <li>・建築設備（設備管理指針・環境選択型空調・設計気象データ・設備設計図書標準化・建築一体化空調）</li> <li>・都市環境・都市設備（都市環境気候図・空間データ利用・クールルーフ評価・サステイナブルシティ）</li> <li>・環境心理生理（ヒューマナイジング・感覚・知覚心理・環境心理）</li> <li>・環境設計（バリアフリーデザイン・教育施設・集合住宅）</li> <li>・電磁環境（電磁環境・磁気環境・電磁環境基準）</li> </ul>
<p>建築法制委員会 松本 光平君 58名 (3)</p>	24	<p>(1) 成案</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 刊行物 <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築法規用教材 2009（改）</li> </ul> </li> <li>(2) 大会関係（研究協議会の開催と資料作成） <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築ストック社会における建築法制度を考えるー既存不適格建築物に対する法制度と水準向上基準のあり方ー</li> </ul> </li> <li>(3) 原案作成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築ストック社会と建築法制度（新）</li> </ul> </li> <li>(4) 調査研究 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ストック時代における建築規制のあり方に関する調査研究</li> <li>・集団規定における各種規制（仕様規定）による市街地環境等の水準に関する調査研究</li> <li>・各種規制（仕様規定）による市街地実態把握に関する調査研究</li> </ul> </li> </ol>
<p>建築教育委員会 稲葉 武司君 63名 (20/WG含む)</p>	30 (WG含む)	<p>(1) 大会関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究協議会</li> <li>「建築士制度と今後の学校教育-いま建築教育に求められるもの-」</li> <li>・研究懇談会</li> </ul>

		<p>「建築の社会貢献-アウトリーチプログラムの可能性」</p> <p>(2) シンポジウム・研修会の開催 【8.4 (8) 参照】</p> <p>(3) 調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育カリキュラム, 教育技術, 教育制度の研究</li> <li>・建築教育のあるべき将来像の検討</li> <li>・建築教育共同研究</li> <li>・建築系大学卒業生の進路調査</li> </ul>
<p>都市計画委員会 小林 英嗣君 263 名 (24/WG 含む)</p>	<p>37 (WG 含む)</p>	<p>(1) 大会関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究協議会 人口減少時代における土地利用計画の運用と展望ー アーバンフォームとマネジメントを中心としてー</li> <li>・パネルディスカッション 住環境ビジョンの再構築ーこれからの研究・実践課題</li> <li>・パネルディスカッション 実践に向けてー生活景を呼び覚ますー</li> <li>・パネルディスカッション よい復興とは?</li> </ul> <p>(2) シンポジウム・研究会・展示会・見学会等の開催 【8.4 (9) 参照】</p> <p>(3) 原案作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観法活用ガイドー市民と自治体による実践的景観づくりのためにー</li> <li>・まちづくりのインフラの事例と基礎知識ーサステナブル社会のインフラストラクチャーのあり方ー</li> <li>・生活景ー身近な景観価値の発見とまちづくりー (作成中)</li> </ul> <p>(4) 調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画教育のあり方に関する調査研究</li> <li>・都市設計・計画教育プログラム・教材・新たな教育方法の開発に関する調査研究</li> <li>・住環境整備に関する調査研究</li> <li>・都市景観の計画・実践事例の収集・分析調査</li> <li>・景観法適用上の法的・技術的課題</li> <li>・風水害や大規模地震災害に対して解決すべき都市計画的課題に関する調査研究</li> <li>・地方都市問題に関する調査研究</li> <li>・土地利用関連制度の体系化および各種マスタープランに関する調査研究</li> <li>・都市形成・計画史に関する調査研究</li> <li>・キャンパスの計画とマネジメントに関する調査研究</li> <li>・自然環境の保全・改善にかかわる都市計画手法・制度に関する調査研究</li> </ul>
<p>建築計画委員会 布野 修司君 576 名 (56/WG 含む)</p>	<p>221 (WG 含む)</p>	<p>(1) 成果</p> <p>1) 刊行物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「吊う建築ー終の空間としての火葬場」</li> <li>・「図解 火災安全と建築設計」</li> <li>・「認知症ケア環境事典」</li> </ul> <p>2) 資料・報告書</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域施設計画研究 26</li> <li>・第 66 回空間研究会「生理計測による空間評価研究の可能性」資料</li> <li>・「少子高齢社会における家族と住まいーNEXT21 における新たな試み」資料</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「名作といわれたオープンプラン小学校の現在 (いま) — 学びの場を開くことの意味 —」 資料</li> <li>・「自治体による公共施設マネジメントに関する先進的取り組み」資料</li> <li>・第 51 回建築人間工学小委員会研究会「やりにくさ」の人間工学 —住宅の防犯設計への応用— 資料</li> <li>・「公共施設マネジメントのための統合ソフトの開発と活用現状について」資料</li> <li>・「東京・大阪中央郵便局の文化財的価値」資料</li> <li>3) 大会関係 <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究協議会「公共建築の再構成と更新のための計画技術」開催と資料作成</li> <li>・研究懇談会「建築計画学の新しい認識とその方法—建築デザインの変革の時代に—」開催と資料作成</li> </ul> </li> <li>(2) シンポジウム・研究会・見学会【8.4 (10) 参照】</li> <li>(3) 作成中 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「(仮) ワークプレイス読本」</li> <li>・「空間・体験 (改訂版)」</li> <li>・「体験される場所の質とデザイン」</li> <li>・「建築・都市計画のための調査分析・方法 (改訂版)」</li> <li>・「事例で読む現代集合住宅のデザイン」PART 2</li> <li>・「劇場空間への誘い」</li> <li>・「多目的ホール舞台設計資料 (改訂版)」</li> <li>・「障害をもつ学生等の大学生生活環境の計画」</li> <li>・「からだで建築を再発見する—建築人間工学のすすめ—」</li> <li>・「(仮) 計画学史」</li> </ul> </li> <li>(4) 調査研究 <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅計画</li> <li>・住宅地計画</li> <li>・高齢者・障害者等居住</li> <li>・比較居住文化</li> <li>・居住地再生</li> <li>・ライフスタイル</li> <li>・医療施設</li> <li>・教育施設</li> <li>・地域施設</li> <li>・ワークプレイス</li> <li>・福祉施設</li> <li>・文化施設</li> <li>・安全計画</li> <li>・建築人間工学</li> <li>・空間研究</li> <li>・環境行動研究</li> <li>・設計方法</li> <li>・情報設計</li> <li>・ノーマライゼーション環境</li> <li>・各部構法設計</li> <li>・木造建築構法</li> <li>・オープンビルディング</li> <li>・公共施設マネジメント</li> <li>・建築計画技術</li> <li>・建築設計計画評価</li> <li>・火葬場施設</li> </ul> </li> </ul>
--	--	--

<p>農村計画委員会 三橋 伸夫君 127名 (9/WG含む)</p>	<p>22 (WG含む)</p>	<p>(1) 大会関係 1) 研究集会開催と資料作成 ・研究協議会：農村の新しいガバナンスが創る国土 ・PD：「ただならぬ普通」の再発見－農山漁村景観を文化的景観として継承する－ 2) オーガナイズドセッション実施 ・農山漁村の景観を守り活かす新たな展開 (2) 講習会・シンポジウム等開催【8.4(11)参照】 (3) 原案作成 ・「ただならぬ普通」の再発見－農山漁村景観を文化的景観として継承する－ (4) 調査研究 ・被災集落復興計画，中山間地域組織，農山漁村景観保存，農村居住，集落共生デザイン，田園空間計画，農村環境教育</p>
<p>海洋建築委員会 横内 憲久君 60名 (5/WG含む)</p>	<p>25 (WG含む)</p>	<p>(1) 大会関係 ・研究協議会「巖島神社にみる海洋建築の技と匠」 (2) シンポジウム・研究会の開催【8.4(12)参照】 (3) 調査研究 ・海洋建築構造 ・海洋建築デザイン ・海洋建築計画 ・海洋建築建設工法</p>
<p>文教施設委員会 安岡 正人君 10名 (1)</p>	<p>1</p>	<p>(1) 調査研究 ・学校施設に関する調査研究</p>
<p>情報システム技術委員会 新宮 清志君 298名 (25/WG含む)</p>	<p>94 (WG含む)</p>	<p>(1) 成案 1) 刊行物 ・都市・建築の感性デザイン工学（新） ・グローバル時代における建築情報連携技術：建築生産情報統合ガイドブック・4（新） ・実践 やさしくわかる建築・都市・環境のためのソフトウェア（新） ・アルゴリズムミック・デザイン－建築・都市の新しい設計手法－（新） 2) 資料 ・「建築のデザイン科学」研究会 ・第31回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集 ・第12回ファシリティマネジメント・シンポジウム「知的創造活動のためのワークスタイルとワークプレイスの試み-2」 ・空間生命化デザインワークショップ (2) 大会関係 1) 研究集会 ・研究協議会「地域情報化－社会的課題の解決手段としての意義と展望－」開催および資料作成 ・PD「都市・建築と感性工学」開催 (3) 講習会・シンポジウム等開催【8.4(14)参照】 (4) 調査研究 ・情報社会とデザインの関係に関する調査研究 ・先端的教育事例・実務事例の調査 ・オブジェクト指向型3D-CADによる設計・生産のプロセス</p>



		<p>ス変化に関する調査研究, 先端利用技術・動向の調査, 利用への可能性・問題点に関する検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築物の性能をモニタリング・管理する情報システムの調査研究</li> <li>・建築生産実務への適用性向上, 分類体系および用語定義・コード利用等の標準化, 建築データモデル, 図面を中心とした図書情報の活用技術に関する調査研究</li> <li>・ソフトコンピューティング(人工知能, ファジィ理論, ニューラルネットワーク, 遺伝的アルゴリズム, 人工生命等)に関する調査研究</li> <li>・複雑系科学の建築・都市・社会分野への応用的調査研究</li> <li>・感性工学システムの理論と応用に関する調査研究</li> <li>・デザイン科学に関する調査研究</li> </ul>
<p>災害委員会 林 静雄君 70名 (5/WGを含む)</p>	<p>6 (WG含む)</p>	<p>(1) 大会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2008年中国四川大地震・2008年岩手・宮城内陸地震の被害調査報告会</li> </ul> <p>(2) シンポジウム・研究会の開催【8.4(15)参照】</p> <p>(3) 作成中</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2007年能登半島地震災害調査報告</li> <li>・2007年新潟県中越沖地震災害調査報告</li> </ul> <p>(4) 調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットを活用した災害情報の交換システムの構築に関する調査・研究</li> <li>・災害被害情報等のHP掲載(能登半島地震, 新潟県中越沖地震)</li> <li>・災害(地震・風水害・復興)調査マニュアルの作成</li> <li>・台風被害調査</li> <li>・各種災害への対応</li> <li>・他の災害関連委員会との連携強化</li> <li>・市民講座開催の検討</li> </ul>
<p>地球環境委員会 吉野 博君 233名 (18/WG含む)</p>	<p>85 (WG含む)</p>	<p>(1) 成果</p> <p>1) 刊行物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「シリーズ地球環境建築入門編：地球環境建築のすすめ」改訂版</li> </ul> <p>2) 資料・報告書</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「都市キャノピー層の科学－ヒートアイランドを抑制すサステナブル都市を目指して－」資料</li> <li>・「地球温暖化対策会議－低炭素社会における建築の姿」資料</li> </ul> <p>3) 大会関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究協議会「アジア地域における建築環境とSustainable Development」開催と資料作成</li> <li>・パネルディスカッション「地球環境から見たストック性能－BCPは構造設計を革新するか－」開催と資料作成</li> <li>・パネルディスカッション「サステイナブル建築モデルとデザイン手法のあり方」開催と資料作成</li> </ul> <p>(2) 講習会・シンポジウム等開催【8.4(16)参照】</p> <p>(3) 原案作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サステナブル建築事例集(新)</li> </ul> <p>(4) 調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地球環境温暖化対策推進</li> <li>・資源利用戦略</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球環境・構造</li> <li>・ヒートアイランド</li> <li>・地球環境と防災</li> <li>・サステナブルビルディング普及検証</li> <li>・LCA 統合評価手法検討</li> <li>・地球環境・構造</li> <li>・エコロジカルリージョン対策</li> <li>・サステナブル建築モデル検討デザイン</li> <li>・地球環境時代における教育</li> </ul>
--	--	--

(3) 特別研究関係

委員会名 委員長名 委員数 (運営委員会・小委員会数)	会合数	事業概要
	本委員会・運営委員会・小委員会	
発注者の役割特別研究委員会 古坂 秀三君 18名	12	(1) 成果 ・発注者の役割特別研究委員会報告書 (2) 調査研究 ・建築プロジェクトにおける発注者の役割と法制度上の位置づけに関する研究
都市・建築空間における雪氷災害対策に関する特別研究委員会 持田 灯君 42名 (2/WGを含む)	6 (WG含む)	(1) 成果 ・都市・建築空間における雪氷災害対策に関する特別研究委員会報告 (2) 調査研究 ・都市空間における降積雪及びこれによって形成される外部環境を数値シミュレーションにより総合的・定量的に予測・評価するための気象・物理モデル ・降積雪の建築構造への影響や除雪に係わる人的行動を多角的かつ定量的に把握するための手法 ・都市・建築空間における雪氷災害のリスクを最小化するためのハード（都市・建築）、ソフト（人間活動）の両面での対応策
建築教育の需給構造と建築職能の将来像に関する特別研究委員会 秋山 恒夫君 39名 (4/WG含む)	20 (WG含む)	(1) 成果 ・「建築界の大転換期における人材育成と建築教育のあり方―建築教育の需給構造と建築職能の将来像特別研究委員会（第二次）報告」 (2) 講習会・シンポジウム報告【8.5（2）参照】 (3) 調査研究 ・教育界（サプライ側）と産業界（デマンド側）の人材需給ミスマッチ現象の解明（現状の総体を視野） ・産業・社会の変化に対応した新たな職能や能力開発ニーズの方向性の探求 ・上記にもとにした、建築界の人材育成と教育の改革方向に関する学会や各界への提案

木質バイオマス資源の有効利 活用特別研究委員会 浅野 良晴君 33名 (3/WG含む)	8 (WG含む)	(1) 調査研究 本特別研究委員会は森林の伐採、植栽、保育のサイクルを円滑化させるための木材の利活用方法や未利用材のバイオマス利用に関する具体的方策の提案及びCO2削減 効果の定量化を踏まえて、木質バイオマス資源に関する利活用マニュアルを作成することを目指している。 ・未使用調達部材、使用調達部材の総量に関する検討 ・未使用・使用後調達部材の利用・再利用、構工法に関する検討 ・利活用に向けた社会システムに関する検討
建築・都市分野における情報 インフラ構築特別研究委員会 坂村 健君 48名 (4)	18	(1) 調査研究 ・情報通信技術による管理システム事例集の作成 ・情報インフラ共有化のガイドラインの提案 ・情報インフラ連携利用を可能とする社会システムのビジョン構築
長寿命建築構造特別研究委員 会 田村 和夫君 19名	9	(1) 調査研究 ・長寿命建築構造の評価と提案の研究
高支持力杭の耐震安全性〔若 手奨励〕特別研究委員会 三辻 和弥君 13名	6	(1) 調査研究 ・高支持力杭工法の現状調査 ・高軸力下における既製コンクリート杭の地震時挙動に関する動的相互作用解析 ・実用的な静的設計法（応答変位法）による評価 ・軟弱地盤や液状化地盤における高支持力杭の適用範囲に関する知見の取りまとめ
建築分野への中性子利用技術 の応用に関する〔若手奨励〕特 別研究委員会 兼松 学君 32名 (3/WGを含む)	15	(1) 調査研究 ・中性子利用技術（中性子回折残留応力測定装置、中性子ラジオグラフィなど）を用いて、原子炉を利用した試験体の測定試験の実施。
ダンプビルディングの室内環 境と健康リスク評価〔若手奨 励〕特別研究委員会 長谷川兼一君 6名	5	(1) 調査研究 ・ダンプビルディングにおける健康障害に関する既往研究調査 ・健康リスク評価手法ならびに健康影響評価手法の開発状況の把握 ・ダンプビルディングの室内環境の実態解明 ・メタ・アナリシスによるダンプビルディングの健康リスク評価 ・ダンプネスに起因する室内環境要因の影響による健康損失の定量的指標の算出
都市建築史的観点からみた中 央と地方〔若手奨励〕特別研究 委員会 岩本 馨君 14名	8	(1) 調査研究 ・「都市ガバナンス」や「都市型住宅における流行と伝統」などの共通する論点を取り上げ、複数の国や地域、時代に固有の「中央と地方」のあり方を調査 ・地域間交流と都市建築についての地域、国家相互のネットワークについての事例調査

(4) 受託研究関係【17.7 参照】

委員会名 委員長名 委員数 (運営委員会・小委員会数)	会合数	事業概要
	本委員会・運営委員会・小委員会	
〔材料施工委員会〕 原子力発電所鉄筋コンクリート工事研究小委員会 嵩 英雄君 15名	5	原子力発電所鉄筋コンクリート工事の品質管理の高度化に関する研究
〔構造委員会〕 シェル・空間構造運営委員会 大森 博司君 30名	4	(1) 韓国国内での空間構造物に対する設計指針資料作成に関する研究(その2) ・大スパン構造設計指針の内容,構成,設計指針開発の経緯の調査 (2) 成果 ・「韓国国内での空間構造物に対する設計指針資料作成」報告書
〔構造委員会〕 高機能社会耐震工学 WG 中島 正愛君 15名	7	(1) 長周期地震動対策に関する調査 ・震源モデルに起因するばらつきを考慮した予測長周期地震動の高精度化 ・長周期地震動に対し建物が保有すべき各種性能項目の明確化及びその基準策定に向けた調査 ・長周期地震動の被災に伴い起こりうる事態の明確化 ・既存構造物の長周期地震動による損傷把握手法についての検討 ・今後の課題 (2) 成果 ・「長周期地震動対策に関する調査業務」報告書
〔防火委員会〕 準耐火構造住宅設計施工指針小委員会 長谷見雄二君 8名	3	(1) (仮称)耐火性能の確保に向けた設計・工事管理チェックシート等の作成業務 (2) 成果 ・「(仮称)耐火性能の確保に向けた設計・工事管理チェックシート等の作成業務」報告書
〔建築経済委員会〕 固定資産評価小委員会 小松 幸夫君 21名	6	(1) 建築設備の総合評価に関する調査研究 (2) 成果 ・「建築設備の総合評価に関する調査研究」報告書
〔建築歴史・意匠委員会〕 国立西洋美術館本館の保存活用計画策定に関する調査 WG 鈴木 博之君 9名	4	(1) 国立西洋美術館本館のル・コルビュジエ作品としての建築的特色の保存と復旧ならびに美術館としての機能の維持・向上,都市公園内に位置する文化財建造物として,建物及び敷地の保存,管理,活用を図るための保存活用計画策定。 (2) 成果 ・「国立西洋美術館本館の保存活用計画策定に関する調査」報告書
京都の都市景観の創生特別調査委員会 門内 輝行君 15名	3	(1) 歴史的都市・京都の現代都市景観のあり方検討 (2) 景観評価システムのあり方検討 (3) 京都の都市景観の創生シンポジウム開催

## 7.5 社会ニーズ対応推進関係

### (1) 社会ニーズ対応

委員会名 委員長名 委員数 (運営委員会・小委員会数)	会合数	事業概要
	本委員会・運営委員会・小委員会	
社会ニーズ対応推進委員会 深尾 精一君 15名	1	(1) 特別調査委員会の進捗状況について (2) 通信審議：①建築基本法制定準備会が各政党に対し「建築基本法制定のマニフェスト掲載」を要請するに際し、建築にかかわる社会規範・法規範特別調査委員会が連名することについて(否決), ②国交省「建築基準整備促進補助金事業」に建築にかかわる社会規範・法規範特別調査委員会が応募することについて(可決)

### (2) 特別調査

委員会名 委員長名 委員数 (運営委員会・小委員会数)	会合数	事業概要
	本委員会・運営委員会・小委員会	
建築学からみたあるべき構造設計特別調査 和田 章君 20名 (1/WG含む)	12	(1) 「目指すべき建築とあるべき構造設計の姿」の提言 (2) 建築の構造設計や安全性に関する市民アンケート実施 (3) 構造設計者の技量評価と資格制度の提言 (4) 中間報告会開催
既存建築を活かす対震改修デザイン特別調査 松村 秀一君 36名 (2/WG含む)	0	(1) 耐震性能を確保しつつ既存建築の経済価値・利用価値を効果的に高める総合的方法検討 (2) 技術関連情報の収集・横断的な整理・提供 (3) 既存建築再生に関する教育に関するガイドライン検討 (4) 学会の対社会活動へ技術支援検討
環境技術と建築・街並み・地域のあり方特別調査委員会 藤盛 紀明君 56名 (5)	3 (26)	(1) 地球環境時代における建築・街並み・地域のあり方に関する理念と活動指針の作成, および, 地域と建築のあり方について地域住民らが考え, 行動を起こすための指針の提供 (2) 報告書原案検討 ・都市・地域において利用すべき環境・エネルギー技術の整理および適用のための指標検討 ・都市・地域における環境評価指針の検討 ・環境エネルギー技術を適用したまちづくり事例に対する環境エネルギーの側面からの評価, 地球環境時代のまちづくりのあり方, 今後の課題について検討 ・わが国の伝統的住環境技術と文化形成に関する考察を通じた地球環境共生型の都市居住のあり方の検討
建築にかかわる社会規範・法規範特別調査委員会 神田 順君 56名 (5/WG含む)	3 (32)	(1) 建築・都市の理念, 社会的意味を明らかにし, 良好な質を実現するための法規範を含む社会制度の提案 (2) 通信審議：(①建築基本法制定準備会が各政党に対し「建築基本法制定のマニフェスト掲載」を要請するに際し, 建築にかかわる社会規範・法規範特別調査委員会が連名することについて(可決), ②国交省「建

		<p>築基準整備促進補助金事業」に建築にかかわる社会規範・法規範特別調査委員会が応募することについて（可決）</p> <p>(3) 国交省「建築基準整備促進補助金事業」の実施・報告書の作成</p> <p>(4) 報告書原案作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会資産としての建築生産・維持保全に寄与する社会システムを構築するための法体系、信任される専門家の仕組みに関する基本からの見直し</li> <li>・建築規制における不服審査制度等のあり方に関する検討、建築審査会全国アンケートの実施・集計</li> <li>・良質な建築確保のため、見えにくい安全性に関して専門家と市民が共有できる評価尺度（評価ガイドライン）の提供</li> </ul>
<p>災害予防・復興支援のための活動基盤整備と行動計画策定特別調査委員会</p> <p>内田 雄造君 22名 (4/WG含む)</p>	<p>5 (2)</p>	<p>(1) 関連学会の体制・災害実態調査を踏まえた防災および災害復興支援のための一般市民のための活動基盤整備、災害発生時・復興時の活動計画の立案検討。</p> <p>(2) 報告書一次案検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存災害事例（プロセス）に即したスタディによる学会に対するニーズ確認</li> <li>・復興マニュアルに即したスタディによる学会に対する社会ニーズ確認</li> <li>・都市計画行政、建築行政、住宅計画分野における震災特例の事例調査、および、学会の提言・提案と効用の検証を通じた学会を中心とする社会貢献活動スタディ</li> <li>・学生・院生の復旧・復興活動への参加推進に向け、災害現場へ参加する学生のためのテキストブックの検討</li> </ul>
<p>低炭素社会特別調査委員会</p> <p>中村 勉君 27名 (2/WG含む)</p>	<p>28</p>	<p>(1) 低炭素社会における各手法の効果シミュレーションによる理想都市像の提案</p> <p>(2) 低炭素社会における建築・環境工学手法に関する研究</p>

## 7.6 学術レビュー関係

委員会名 委員長名 委員数 (運営委員会・小委員会数)	会合数	事業概要
	本委員会・運営委員会・小委員会	
学術レビュー委員会 中島 正愛君 8名	3	(1) 発表体系のあり方についての検討・策定 1) JAABE ベストペーパー賞の選考結果を理事会へ報告 (2) ピアレビューのあり方の検討・策定 1) 論文・作品のピアレビューに関する倫理規程の普及 2) ピアレビュー倫理規程違反への対応について検討 (3) 学術論文・技術報告・建築作品の評価・発信・流通の基本的問題に関すること 1) 電子投稿・査読・公開システムの実施 2) 学術評価機能の強化について検討
論文集委員会 北沢 猛君 63名 (1)  笠井 和彦君 63名 (5)	17	(1) 論文集（構造系，計画系，環境系の3分冊）36冊の刊行 (2) 論文集の編集・企画 1) 電子投稿・査読・公開システムの運用開始 2) 登載料・超過頁料，最大頁数の改正 (3) 論文集掲載論文の募集・審査 1) 異議申し立てについて 2) 論文集委員会への意見に対する対応 3) ピアレビュー倫理規程違反への対応について検討 (4) 論文集委員会査読委員の選定
技術報告集委員会 西谷 章君 51名 藤井 晴行君 51名	3	(1) 技術報告集（第27号，28号，29号）3冊の刊行 (2) 技術報告集の編集・企画 1) 刊行回数，予約購読費の改正 (3) 技術報告集の募集・審査 1) 電子投稿・査読・公開システムの運用開始 (4) 技術報告集委員会査読委員の選定
JAABE (AIJ) 編集委員会 安藤 正雄君 19名 長澤 泰君 20名	2	(1) Journal of Asian Architecture and Building Engineering (JAABE) 第13号，14号の刊行 (2) JAABE Editorial Committee の運営 1) ベストペーパー賞の選考・発表 2) Open Access 化，掲載費の検討・準備 (3) JAABE の編集・企画 (4) JAABE 掲載論文の募集・審査 1) 電子投稿・査読・公開システムの実施 2) 英文論文集の Science Citation Index Expanded 採録による投稿題数増加への対応として，オンラインフリーアクセスジャーナル化への移行と，掲載の有料化を検討
総合論文誌委員会 安達 洋君 19名 (2) 竹脇 出君 20名 (2)	7	(1) 総合論文誌第7号の刊行 (2) 総合論文誌の企画・編集 1) 第7号目次案の検討 2) 第8号テーマならびにチーフエディターの選任 (3) 総合論文誌掲載論文の募集・審査 (4) 総合論文誌フォローアップ講演会の開催 (日本建築学会大会（中国）パネルディスカッション)
作品選集委員会 北山 恒君 92名	3	(1) 「作品選集 2009」掲載作品の募集と選考 応募 290点，掲載 100点

## 7.7 教育関係

委員会名 委員長名 委員数 (運営委員会・小委員会数)	会合数	事業概要
	本委員会・運営委員会・小委員会	
教育普及事業委員会 最上 公彦君 櫻井 潔君 9名	1	(1) 教育・文化事業の推進で、関連委員会（建築教育認定事業委員会、刊行委員会、教材委員会、能力開発支援事業委員会、設計競技事業委員会、卒業論文等顕彰事業委員会、建築文化事業委員会、子ども教育事業委員会および建築教育委員会）との総合的な企画・調整 (2) JABEEの実施 (3) 「能力開発支援制度」の検討 (4) eラーニングの企画実施 (5) 「建築教育振興基金（タジマ基金）」による学生向けの「設計競技事業」「論文顕彰事業」の実施 (6) 建築文化事業の実施
建築教育認定事業委員会 芳村 学君 24名 (2)	13	・建築教育認定事業の統括 ・建築分野基準の検討 ・UNESCO/UIA 建築教育認定対応 ・大学院教育認定システムの検討
建築分野審査委員会 清水 裕之君 29名	3	・2008年度認定審査の実施 ・審査員養成講習会の実施
刊行委員会 円満 隆平君 14名	7	(1) 2008年度刊行物刊行実施の検討・承認 (2) 2009年度刊行物執筆着手の検討・承認 (3) 2010年度以降刊行物企画の検討・承認 (4) 本会出版事業の見直し ・刊行手続きの明確化 ・直営刊行物在庫の取扱いと絶版手続き
建築設計資料集成委員会 高橋 鷹志君 130名 (12)	3	(1) 拡張編「建築設計資料集成シリーズ」普及についての検討 (2) 「コンパクト建築設計資料集成」新企画の検討
建築ガイド編集委員会 前野まさる君 23名 (3)	1	「総覧日本の建築」 (1) 第7巻大阪・兵庫編の編集作業 (2) 第4巻甲信越・北陸編の編集作業 (3) 第10巻失われた建築遺産の編集作業
学術用語標準化委員会 156名 (24)	0	(1) 「建築学用語辞典 第2版」の見直し
教材委員会 石川 孝重君 95名 (14/WG含む)	10	(1) 新たな専門教育用教材の検討 (2) 学会編教材使用実態アンケートの実施 (3) 「教材・教育システムの事例公開プラットフォーム」の保守 (4) 「近代建築史図集」改訂版執筆 (5) 「環境ワークブック」執筆 (6) 「絵でみるちからとかたち」執筆 (7) 子ども・市民向け建築書の企画
能力開発支援事業委員会 岩村 和夫君 市之瀬敏勝君	6	(1) 能力開発支援制度事業の検討 ・能力開発プログラムの検討 ・eラーニングの実施



13名		<p>(2) 2008年度講習会事業報告</p> <p>1) 支部共通事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JASS 5 鉄筋コンクリート工事改定講習会 (材料施工委員会)</li> </ul> <p>2) 委員会主催等講習会</p> <p>材料施工委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JASS 9 張り石工事改定講習会</li> <li>・ JASS 7 メーソソリー工事改定講習会</li> <li>・ JASS 5 鉄筋コンクリート工事改定講習会 (追加)</li> <li>・ 鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規準・同解説改定講習会</li> </ul> <p>構造委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築物の耐震性能評価手法講習会</li> <li>・ コンクリート充填鋼管構造設計施工指針講習会</li> <li>・ 最新の地盤震動研究を活用した強震波形の作成法講習会</li> <li>・ 溶接接合設計施工ガイドブック講習会</li> <li>・ 小規模建築物基礎設計指針講習会</li> </ul> <p>環境工学委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リサイクルを目的とした建築計画とごみ処理システムガイドライン講習会</li> </ul> <p>防火委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「材料構造の耐火性ガイドブック」改定講習会</li> </ul> <p>能力開発プログラム (eラーニング)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建物の振動に関する居住性能評価指針</li> <li>・ 建築技術者のための JASS 3 山留め工事・ JASS 4 杭工事 Q&amp;A</li> <li>・ 鋼構造設計規準</li> <li>・ シックハウスを防ぐ最新知識</li> </ul> <p>(3) 2008年度シンポジウム等報告【8.8 (2) 参照】</p>
<p>設計競技事業委員会 北山 恒君 12名</p> <p>全国審査部会 (2008年度) 内藤 廣君 10名</p> <p>全国審査部会 (2009年度) 大野 秀敏君 10名</p> <p>審査部会 (技術部門・2008) 南 一誠君 18名</p> <p>審査部会 (技術部門・2009) 鈴木 信宏君 13名</p>	<p>6</p> <p>2</p> <p>3</p> <p>3</p>	<p>(1) 2008年度支部共通事業設計競技の実施 課題「記憶の器」 応募数 343 支部入選 77 全国入選 12 タジマ奨励賞 10</p> <p>(2) 2008年度支部共通事業設計競技 「記憶の器」優秀作品集刊行</p> <p>(3) 2009年度支部共通事業設計競技の企画 課題「アーバン・フィジックスの構想」</p> <p>(4) 2008年度 (第10回) 技術部門設計競技の実施 課題「公共建築の再構成と更新のための計画技術」 応募数 50 最優秀賞 1 優秀賞 2 佳作 5 【9.3 (1) 参照】</p> <p>(5) 2009年度 (第11回) 技術部門設計競技の企画 課題「雨を楽しみ都市の水を制御する建築」</p>
<p>卒業論文等顕彰事業委員会 岩村 和夫君 27名 (3)</p>	<p>12</p>	<p>(1) 2008年 (第19回) 「優秀卒業論文賞」「優秀修士論文賞」表彰者決定【3.7参照】</p> <p>(2) 2009年 (第20回) 「優秀卒業論文賞」「優秀修士論文賞」応募論文募集要項作成ならびに応募論文募集</p>

市之瀬敏勝君 28名 (3)		
建築文化事業委員会 工藤 和美君 12名	5	(1) 建築文化週間2008開催【9.1参照】 ・建築文化週間2009企画の検討 (2) 講演会 ・2008年日本建築学会賞（作品）受賞者記念講演会【9.2（1）参照】 (3) 展覧会 ・全国大学・高専卒業設計展示会【4.3参照】 ・「現代日本建築展1985-1996」【10.4参照】 ・「アーキニアリング・デザイン展 2008」【9.2（4）参照】
アーキニアリング・デザイン展実行委員会 竹内 徹君 16名	6	(1) 「アーキニアリング・デザイン展 2008」の企画実施
「アーキニアリング・デザイン展」巡回展実行委員会 斎藤 公男君 10名	4	(1) 「アーキニアリング・デザイン展」巡回展の企画
子ども教育事業委員会 村上美奈子君 小松 尚君 18名 (3)	7	(1) 親と子の都市と建築講座【9.2（2）参照】の企画・実施 (2) 子ども教育事業研究会の企画・実施 (3) 「荻窪小学校エコスクール化推進についての実践」
杉並区エコスクール推進に伴う、環境学習パイロットプログラム開発特別調査委員会 村上美奈子君 12名	5	(1) 「荻窪小学校エコスクール化推進についての実践」の企画実施 (2) 2009年度杉並区エコスクール推進のためのプログラムの企画検討

## 7.8 情報関係

委員会名 委員長名 委員数 (運営委員会・小委員会数)	会合数	事業概要
	本委員会・運営委員会・小委員会	
情報委員会 中川 武君 深尾 精一君 9名	1	(1) 図書委員会, 建築博物館委員会, 編集委員会, 情報ネットワーク委員会の活動状況について (2) データベース構築・公開状況について
図書委員会 藤岡 洋保君 124名 (8)	26	(1) 図書館の運営 ・新しい図書館構想に沿った運営についての検討 ・文献資料の収集・整理・閲覧 ・5館図書館蔵書目録横断検索 OPAC の運営 ・CTBUH 谷文庫の運営 ・土木学会附属土木図書館との会員相互利用の実施 (2) 会誌の寄贈・交換 ・会誌の内外機関との寄贈・交換 (3) 情報サービス ・「建築雑誌」掲載による文献情報サービス “図書館受入図書”“文献抄録”(毎月)の掲載。 ・データの電子化とホームページ公開 文献抄録(構造/材料施工/環境工学/建築計画/都市計画/火災/建築歴史・意匠/建築経済・住宅問題), 建築歴史・意匠・建築論関係文献目録(2004年, 2005年), 蔵書目録(和・洋図書, 和・洋雑誌, 記事索引)等 ・文献複写サービス(館内1,990件・郵送148件) ・図書館デジタルアーカイブスのWeb公開 (戦前の一部, 戦後(1963年まで) 本会刊行物:108文献) ・明治大正建築写真聚覧の公開 ・図書館ホームページのリニューアル (4) 文献研究と文献抄録作成(雑誌掲載68件) (5) 視聴覚ライブラリーの運営・整備 (6) 国立情報学研究所 CiNii への学会発表コンテンツの提供 (7) 韓国 CRIC への学会発表コンテンツ及び書誌データの提供
建築博物館委員会 林 昌二君 39名 (5)	本委員会 1 作業WG 63	(1) 建築博物館の運営 ・仮受け入れ資料の資料整備作業(曾禰中條建築事務所資料, 宮脇檀資料) ・正式受け入れ(後藤慶二資料, 清家清資料)
編集委員会 五十嵐太郎君 26名	12	・建築雑誌12冊の企画・刊行 ・作品選集2009の刊行 ・総合論文誌第7号の刊行
情報ネットワーク委員会 三宅 理一君 藤岡 洋保君 10名	4	(1) 本会ホームページの改良, 整備 (2) アーカイブ・ネットワークについて

## 7.9 委員会数・開催数・委員数

部 門		委員会数	運営委員会・小委員会・WG 数	会合開催数*	委員・専門委員数
支援会議		3	13	64	165 名
全国建築系大学教育連絡協議会		1	1	5	20 名
会務関係	会 務	12	2	57	158 名
	表 彰	7	0	18	120 名
研究関係	学 術	1	3	8	33 名
	調査研究	16	536	2,118	6,586 名
	特別研究	10	16	107	264 名
	受託研究	7	0	32	113 名
社会ニーズ 関係	社会ニーズ対応	1	0	1	15 名
	特別調査	6	19	111	217 名
学術レビュー関係		6	10	35	406 名
教育関係		16	64	97	679 名
情報関係		5	13	107	208 名
計		91	677	2,760	8,984 名
前 年 度		79	670	2,854	9,277 名
前 年 比		12	7	-94	-293 名

\*電子会議による会合（31回）を含む

## 8. 講習会・講演会・シンポジウム・展示会・見学会等（支部共通事業以外）

### 8.1 支援建築会議主催

(1) 司法支援建築会議（0回）

(2) まちづくり支援建築会議（2回）

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
まちづくりセミナー「歴史的風格と交流の中ににぎわい生まれるまちづくり」	2008. 11. 21	山形・ホテルメトロポリタン山形	西村 幸夫君 他 1 名	65 名
まちづくり景観セミナー	12. 17	山形・山形市市民活動支援センター	中井 検裕君 他 1 名	36 名
合 計				101 名

(3) 住まいづくり支援建築会議（4回）

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
セミナー「長く暮らすためのマンションの選び方・育て方」	2008. 11. 22	東京・リビングデザインセンターOZONE セミナールーム	吉川 徹君 他 2 名	14 名
住まいづくり支援市民講座「失敗しない住まいづくり」	2009. 1. 24	千葉・習志野市東習志野コミュニティセンター	服部 岑生君	23 名
住まいづくり支援市民講座「トラブル事例からみた住宅リフォーム」	2. 21	同上	穴倉 義昭君	15 名
住まいづくり支援市民講座「習志野の災害とまちづくり」	3. 14	同上	広田 直行君	19 名
合 計				71 名

### 8.2 全国建築系大学連絡協議会主催（1回）

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
全国建築系大学教育連絡協議会総会	2008. 7. 7	東京・建築会館ホール	小野 徹郎君 他 2 名	120 学科・コース

### 8.3 会務関係委員会主催

(1) 倫理委員会（0回）

## 8.4 調査研究委員会主催

### (1) 材料施工委員会 (6回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規 準・同解説」改定講習会	2008. 4. 11	東京・建築会館ホール	田中 剛君 他 3名	130名
床の性能評価方法の概要と性能の推奨値 (案) シンポジウム	6. 4	東京・建築会館ホール	横山 裕君 他 5名	114名
シンポジウム「陶磁器質タイル張り工事の 現状と今後の動向」	11. 28	東京・建築会館ホール	河辺 伸二君 他 5名	190名
建築工事標準仕様書・同解説 「JASS 9 張り石工事」改定講習会	2009. 1. 23	東京・建築会館会議室	中山 實君 他 7名	113名
第6回「最近の計測技術の動向と建築生産 の自動化」ワークショップ	2. 5	東京・建築会館会議室	谷川 民生君 他 7名	49名
建築工事標準仕様書・同解説 「JASS 5 鉄筋コンクリート工事」改定講 習会	3. 12	東京・建築会館ホール	野口 貴文君 他 3名	221名
合 計				817名

### (2) 構造委員会 (29回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
「小規模建築物基礎設計指針」講習会	2008. 4. 16	東京・建築会館ホール	安達 俊夫君 他 6名	209名
第54回構造工学シンポジウム(8.10参照)	4. 25	大阪・大阪大学コンベンシ ョンセンター		420名
・建築部門発表講演			発表者 92名	
・特別講演会「建築と橋梁における素材と 構造デザイン」	4. 25		斎藤 公男君	(185名)
・建築・土木合同パネルディスカッション 「新素材による建設構造の新たな発展の 可能性」	4. 25		最上 公彦君 他 3名	(185名)
鉄筋コンクリート構造シンポジウム「RC造 構造設計の未来を探る」	6. 17	東京・建築会館ホール	平石 久廣君 他 7名	230名
第7回新「シェル・空間構造」セミナー ー応答制御技術が開く空間構造デザインの 可能性 2008ー	6. 27	東京・発明会館ホール	新宮 清志君 他 12名	106名
シンポジウム「杭の鉛直支持力を考えるー 杭基礎の設計・施工の現状と課題」	8. 21	東京・建築会館ホール	桑原 文夫君 他 15名	185名
	8. 28	大阪・大阪府建築健保会館	桑原 文夫君 他 13名	70名
第28回地盤震動地域交流会(2008)	9. 19	広島・広島大学理学研究科 講義棟 B1階 E002室	上林 宏敏君 他 2名	40名
「コンクリート充填鋼管構造設計施工指 針」改定講習会	10. 1	東京・建築会館ホール	河野 昭彦君 他 3名	150名
	10. 3	大阪・大阪科学技術センタ ー	河野 昭彦君 他 3名	67名
	10. 7	福岡・福岡建設会館	河野 昭彦君 他 3名	67名
ワークショップ「非線形相互作用と耐震設 計ー最近観測される強震記録と建物被害の 関係を考える」	10. 30	東京・建築会館会議室	宮本 裕司君 他 11名	59名
パネルディスカッション「近接山留め工事	10. 31	東京・建築会館ホール	桂 豊君	141名

の現状と課題」			他 6 名	
「小規模建築物基礎設計指針」講習会	11. 4	栃木・とちぎ福祉プラザ	安達 俊夫君 他 2 名	55 名
	11. 5	埼玉・ときわ会館	安達 俊夫君 他 2 名	61 名
	2009. 2. 24	神奈川・横浜市開港記念会館	安達 俊夫君 他 2 名	28 名
	3. 4	群馬・ウェルサンピア高崎	安達 俊夫君 他 2 名	63 名
建築物外装材の耐風設計と耐風性能評価に関するシンポジウム	2008. 11. 6	東京・建築会館ホール	河井 宏允君 他 7 名	155 名
コロキウム構造形態の解析と創生 2008※1	11. 20 ～21	東京・建築会館ホール	発表者 中村 直義君 他 26 名	115 名
講習会「溶接接合設計施工ガイドブック」	11. 25	東京・建築会館ホール	吹田啓一郎君 他 3 名	175 名
	11. 28	大阪・大阪科学技術センター4階 401 号室	吹田啓一郎君 他 3 名	153 名
	12. 2	広島・広島工業大学広島校舎 201 室	吹田啓一郎君 他 3 名	80 名
第 36 回地盤震動シンポジウム「度重なる被害地震から設計用入力地震動を考えるー新・入力地震動作成手法の使い方と検証(その 2)ー」	12. 9	東京・建築会館ホール	加藤 研一君 他 12 名	167 名
シンポジウム「建築構造力学の最近の発展と展望」	12. 9	東京・建築会館会議室	西谷 章君 他 6 名	29 名
シンポジウム「増大する地震動レベルと建物の終局耐震性の課題と展望ー地震動と建築物の耐震性との関係を横断的に評価する指標の確立に向けてー」	12. 11	東京・建築会館ホール	北村 春幸君 他 10 名	287 名
第 5 回強震データの活用に関するシンポジウム「社会に役立つ強震観測」	12. 15	東京・建築会館ホール	鹿嶋 俊英君 他 6 名	59 名
構造最適化セミナー「構造最適化は役に立つのか」	2009. 1. 30	東京・建築会館会議室	竹脇 出君 他 7 名	51 名
講習会「建築物の耐震性能評価手法」	2. 26	東京・建築会館ホール	北村 春幸君 他 4 名	281 名
	3. 3	大阪・大阪科学技術センター4階 401 号室	北村 春幸君 他 3 名	127 名
講習会「最新の地盤震動研究を活かした強震波形の作成法」	3. 9	東京・建築会館ホール	川瀬 博君 他 4 名	185 名

※1 情報システム技術委員会と共同開催

※2 ほかに、e ラーニング講習会「鋼構造設計規準ー許容応力度設計法」を配信【8. 8(2) 参照】

合 計 3,815 名

(3) 建築歴史・意匠委員会 (4 回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
連続セミナー「建築論の現在：(第 9 回)「環境・時間・建築」をめぐる」	2008. 5. 31	東京・東京大学工学部 11 号館講堂	岸田 省吾君 他 4 名	76 名
シンポジウム都市と建築シリーズ「水平と垂直」	12. 17	東京・建築会館会議室	大田 省一君 他 5 名	49 名
シンポジウム「東アジアの宮殿と宮殿儀式」	2009. 2. 28	京都・京都女子大学	福田 美穂君 他 3 名	28 名

シンポジウム「近代建築史の最先端(第5回)」:近代(日本)×近代(西洋)－「機能主義」再読の可能性	3.13	東京・建築会館会議室	藤谷 陽悦君 他4名	43名
合 計				196名

(4) 防火委員会 (2回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
「構造材料の耐火性ガイドブック」改訂講習会	2009. 3. 11	東京・建築会館ホール	西田 浩和君 他9名	125名
シンポジウム「防火技術者の職能について提言する！」	3.12	東京・建築会館会議室	笠原 勲君 他4名	42名
合 計				167名

(5) 建築経済委員会 (2回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
第24回「建築生産」シンポジウム	2008. 7. 24 ～25	京都・京都市国際交流会館	古阪 秀三君 他53名	111名
2008年度建築生産セミナー「施工技術の蓄積・展開・進化」	11.25	東京・建築会館会議室	小林 実君 他6名	70名
合 計				181名

(6) 環境工学委員会 (30回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
ソーラーアーキテクチュア シンポジウム	2008. 5. 23	東京・建築会館ホール	石川 幸雄君 他9名	95名
建築空間における感覚・知覚心理シンポジウム(第5回)「物理量と感覚・知覚」	5.24	大阪・大阪市立大学文化交流センター・ホール	山中 俊夫君 他4名	65名
光環境シンポジウム「空間を魅せる光と色－視覚のマジック」	6. 9	東京・建築会館ホール	岩田 利枝君 他6名	170名
第38回熱シンポジウム「暑熱環境と人間・社会－温熱感研究の社会的貢献」	7. 4 ～5	東京・建築会館ホール	松原 斎樹君 他28名	201名
都市環境・都市設備公開研究会「都市環境クリアアトラスの標準化に向けてI」	7.24	東京・建築会館会議室	渡辺 浩文君 他5名	47名
第31回水環境シンポジウム「水辺のまちづくり～住民参加の親水デザイン」	9. 4	東京・建築会館ホール	村川 三郎君 他7名	90名
第17回空気シンポジウム「小学校における空気環境の現状, これからの学校環境」	9.17	広島・安芸グランドホテル	吉野 博君 他8名	109名
公開研究会「CG シミュレーションを用いた空間デザイン」	9.17	大阪・大阪市立大学文化交流センター	鈴木 広隆君 他4名	46名
第7回環境心理生理チュートリアルー環境心理生理研究における「実験」の方法	9.21	広島・広島市青少年センター	小島 隆矢君 他1名	27名
シンポジウム「建物運用時に発生するごみのリサイクル推進に寄与する建築計画とごみ処理システムに関してー大規模事務所・商業施設および集合住宅の設計・運用管理」	9.25	東京・建築会館会議室	関 五郎君 他6名	43名
シンポジウム「室内微生物汚染とその対策」	10.10	東京・建築会館会議室	菅原 文子君 他9名	41名



光環境シンポジウム「建築・都市の色彩に求められるアカデミックスタンダードとは？」	11. 15	京都・みやこメッセ	佐藤 仁人君 他 7 名	57 名
電磁環境シンポジウム第 6 回～現場における評価方法	11. 26	東京・建築会館ホール	堀之内 淳君 他 3 名	51 名
「建築と設備一体化シンポジウム」 ー私たちは今、何を考えるべきかー建築と設備一体化を目指した仕事ー	11. 29	東京・工学院大学	地主 道夫君 他 6 名	48 名
公開勉強会「活用事例を通して空間データシステム利用の可能性を考える」	12. 1	東京・建築会館会議室	須藤 諭君 他 4 名	30 名
第 7 回光環境デザインシンポジウム「藤森照信×乾久美子が語る光と建築ー光／色と肌理ー」	12. 10	東京・東京大学本郷キャンパス福武ホール	中村 芳樹君 他 2 名	106 名
第 4 回建築設備シンポジウム「低炭素社会へむけた建築設備の技術とシナリオ」	12. 12	東京・建築会館ホール	松村 亘君 他 12 名	239 名
クールルーフの適正な普及に向けたシンポジウム	12. 12	東京・建築会館会議室	森山 正和君 他 11 名	65 名
シンポジウム「光・視環境に関する窓・開口部のアカデミックスタンダード」	12. 13	東京・建築会館会議室	平手小太郎君 他 6 名	28 名
第 27 回環境振動シンポジウム「設計フローと性能ランクの構築にむけて」	2009. 1. 19	東京・建築会館ホール	濱本 卓司君 他 8 名	78 名
「建物運用時に発生するごみのリサイクル推進に寄与する建築計画とごみ処理システムに関するガイドライン」講習会	2. 18	東京・建築会館会議室	関 五郎君 他 7 名	27 名
国際シンポジウム「雨水利用建築の規格化とその効果」	2. 21	東京・建築会館ホール	神谷 博君 他 10 名	90 名
シンポジウム「温熱環境のユニバーサルデザイン」	2. 23	東京・建築会館会議室	松原 斎樹君 他 5 名	42 名
第 63 回音シンポジウム「建築部位音響性能の数値シミュレーション」	2. 27	東京・建築会館会議室	佐久間哲哉君 他 9 名	68 名
シンポジウム「環境デザインにおける明視環境設計の現状と課題」	3. 7	京都・キャンパスプラザ京都	原 直也君 他 6 名	24 名
サステイナブルシティ研究 公開勉強会 第 3 回「グッドプラクティスから見るこれからの省 CO <sub>2</sub> 地域づくりの展望と課題」	3. 11	東京・建築会館会議室	佐土原 聡君 他 6 名	31 名
シンポジウム「シックハウス対策に関する最新情報」	3. 13	東京・建築会館会議室	野崎 淳夫君 他 10 名	46 名
建築空間における感覚・知覚心理シンポジウム（第 6 回）「屋外・半屋外空間の心理生理評価を考える」	3. 14	大阪・大阪市立大学文化交流センターホール	西名 大作君 他 10 名	45 名
第 64 回音シンポジウム「床衝撃音の測定・評価法」	3. 19	東京・建築会館会議室	平松 友孝君 他 6 名	75 名
第 65 回音シンポジウム「室内音響における“拡散”研究の最近の動向と今後の展開」	3. 27	東京・建築会館ホール	森本 政之君 他 8 名	80 名

合 計 2,164 名

(7) 建築法制委員会 (0 回)

(8) 建築教育委員会 (6 回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
第 1 回見学会「明治学院大学に残る明治・大正期の文化財建築物の見学」	2008. 6. 21	東京・明治学院大学正門	堀内 仁之君	45 名

第1回建築教育共同研究会	7. 8	東京・建築会館会議室	服部 岑生君 他2名	15名
第39回工業高校建築教育研修会	7.28 ～29	東京・建築会館ホール 見学会：大成建設の設計施 工の高層住宅（東京都千代 田区）	斎藤 公男君 他3名	35名
第2回見学会「西宮市に残る旧甲子園ホテルや西宮郷の酒蔵等の近代化産業遺産の見学」	11.29	兵庫・西宮市	堀内 仁之君	38名
第9回建築教育シンポジウム	2009. 1.24	東京・建築会館会議室	Georgia Butina Watson 君 他16名	36名
第2回建築教育共同研究会	1.26	東京・建築会館会議室	斎藤 公男君 他2名	21名
合 計				190名

(9) 都市計画委員会 (6回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
キャンパス計画情報交流シンポジウム (第11回)「まちづくり支援と大学・地域連携」	2008. 7.5	千葉・柏市	小篠 隆生君 他4名	40名
第18回景観ルックイン山口県柳井市駅北周辺地区のまちなみ	9.17	山口・柳井市	河内山哲朗君 他3名	24名
キャンパス計画情報交流シンポジウム (第12回)「大学との連携によるまちづくり支援」	9.17	広島・広島市	倉田 直道君 他3名	42名
夕張都市マネジメント研究会	10.10	北海道・夕張市役所	瀬戸口 剛君 他4名	42名
シンポジウム「第3回住宅系研究報告会」 ※	12. 5 ～ 6	東京・建築会館会議室	高見沢 実君 他6名	67名
特別研究シンポジウム共催 近代の空間システム特別研究都市と建築の21世紀：省察と展望	2009. 1.20	東京・建築会館会議室	小林 英嗣君 他3名	36名
※農村計画委員会・建築計画委員会・建築経済委員会と共同開催				合 計 251名

(10) 建築計画委員会 (15回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
2008年度建築計画春季学術研究会「社区総体营造 Community Based Development (台湾まちづくり)の課題」	2008. 6. 6 ～ 7	台湾・台湾大学	小林 郁雄君 他4名	49名
第66回空間研究小委員会研究会「生理計測による空間評価研究の可能性」	6. 9	東京・建築会館会議室	岩永 光一君 他6名	62名
第3回ノーマライゼーション研究会「障害をもつ学生等の大学生活環境」	6.28	東京・日本大学理工学部駿河台校舎	小幡 敏信君 他4名	24名
シンポジウム「日本における近代建築の原点ー吉田鉄郎の作品を通して」	6.30	東京・建築会館ホール	東 亜希子君 他5名	146名
第26回地域施設計画研究シンポジウム	7.17 ～18	東京・建築会館会議室	無漏田芳信君 他34名	55名

情報設計シンポジウム4 日本芸術文化資料 庫 (DB) 『芸術と情報』	7. 26	東京・建築会館会議室	湯本 長伯君 他 9 名	17 名
少子高齢社会における家族と住まいー NEXT21 における新たな試み	8. 29	大阪・大阪ガス NEXT21 ホー ル	高田 光雄君 他 5 名	67 名
設計方法拡大研究会・第 67 回空間研究小 委員会研究会ー愛知淑徳中学校・高等学 校の「関係性のデザイン」をめぐって	10. 24	愛知・愛知淑徳中学校・高 等学校	日色 真帆君 他 3 名	44 名
公開研究会「まちなかの居場所」をみんな で語る	12. 6	東京・建築会館会議室	大野 隆造君 他 6 名	26 名
シンポジウム「自治体による公共施設マネ ジメントに関する先進的取組み」	12. 20	東京・建築会館ホール	駒井 裕民君 他 2 名	96 名
名作といわれたオープンプラン小学校の 現在 (いま) ー学びの場を開くことの意味 ー	12. 20	東京・建築会館会議室	寺島 修康君 他 4 名	52 名
第 51 回建築人間工学小委員会研究会	2009. 1. 29	東京・建築会館会議室	島田 貴仁君 他 4 名	21 名
シンポジウム「公共施設マネジメントのた めの統合ソフトの開発と活用現状につい て」	2. 27	東京・建築会館会議室	板谷 敏正君 他 2 名	36 名
研究会「防火対策強化で揺らぐ高齢者・障 害者の地域生活確保の安定性」	3. 14	東京・日本大学理工学部駿 河台校舎	菅野 正広君 他 4 名	32 名
緊急シンポジウム「東京・大阪中央郵便局 の文化財的価値」	3. 22	東京・建築会館ホール	南 一誠君 他 8 名	127 名
合 計				854 名

(11) 農村計画委員会 (1 回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
日韓研究会「日韓の農村における地域おこ し事業の課題と展望」	2008. 7. 7	北海道・北海道大学工学部 A101 会議室	韓 圭榮君 他 8 名	7 名
合 計				7 名

(12) 海洋建築委員会 (2 回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
海洋建築ミニシンポジウム「海洋建築物の 構造設計と施工技術」	2008. 11. 12	東京・建築会館会議室	濱本 卓司君 他 4 名	33 名
「ドバイにおける海洋建築の現状」報告会	2009. 1. 29	東京・建築会館会議室	小林 昭男君 他 2 名	38 名
合 計				71 名

(13) 文教施設委員会 (0 回)

(14) 情報システム技術委員会 (5 回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
「建築のデザイン科学」研究会	2008. 9. 12	東京・建築会館会議室	位寄 和久君 他 5 名	30 名
第 31 回情報・システム・利用・技術シン ポジウム	12. 4 ～5	東京・建築会館ホール＋会 議室		155 名

1) 論文/報告発表講演			発表者 46 名 村上 周三君	(52 名)
2) 基調講演「低炭素社会の建築像－2050 年 CO <sub>2</sub> 60～80%削減に向けた建築分野の責任－」	12. 4			
3) 特別講演「エリート教育のすすめ－脳情報工学から建築学への提案－」	12. 5		山川 烈君	(28 名)
4) 小委員会企画研究集会				
①BIM と図面情報の連携は可能か	12. 4		岡 正樹君 他 7 名	(68 名)
②構造・計画・環境領域横断での建築性能モニタリングの展望	12. 5		谷 明勲君 他 5 名	(36 名)
③建築・都市・環境におけるソフトコンピューティングの利用	12. 5		丸山 能生君 他 6 名	(15 名)
第 12 回ファシリティマネジメント・シンポジウム「知的創造活動のためのワークスタイルとワークプレイスの試み-2」	2009. 2. 25	東京・建築会館ホール	小鷹 義和君 他 5 名	94 名
建築情報教育研究会「CAD から BIM, ものづくりへー建築設計教育の新しいかたちー」	2. 28	東京・建築会館会議室	下川 雄一君 他 5 名	44 名
空間生命化デザインワークショップ	3. 4	東京・建築会館会議室	アニリール・セルカン君 他 6 名	33 名
合 計				356 名

(15) 災害委員会 (4 回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
防災セミナー&ワークショップ「地域特性を考慮した防災対策～秋田・能代に必要なもの」	2008. 9. 26 ～27	秋田・能代山本広域交流センター／能代ふれあいプラザ・サンピノ	渡辺 千明君 他 7 名	130 名
地震防災体験学習 in なかしべつ～みんなで始める地震防災対策	10. 4	北海道・中標津町文化会館	星野 政幸君 他 4 名	39 名
災害フォーラム「地震と台風・竜巻、どっちが怖いーどこが違う、建物の備え」	10. 14	佐賀・佐賀市民会館大会議室	前田 潤滋君 他 8 名	120 名
第 13 回「震災対策技術展」関連シンポジウム「未来につながる子どもの環境と防災」	2009. 2. 5	神奈川・パシフィコ横浜・アネックスホール	林 静雄君 他 6 名	35 名
合 計				324 名

(16) 地球環境委員会 (4 回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
シンポジウム「北米における建築物の環境性能とカーボンニュートラル」	2008. 4. 15	東京・建築会館会議室	レイモンド・コール君	41 名
都市キャノピー層の科学ーヒートアイランドを抑制するサステナブル都市を目指してー	7. 5	東京・建築会館会議室	神田 学君 他 5 名	55 名
「建築のカーボンニュートラルを目指して」	10. 2	東京・東京ビッグサイト	中村 勉君 他 4 名	32 名
シンポジウム「地球温暖化対策会議ー低炭素社会における建築の姿」	11. 5	東京・建築会館ホール	吉野 博君 他 5 名	85 名
合 計				213 名

## 8.5 特別研究委員会主催

### (1) 近代の空間システム・日本の空間システム特別研究委員会 (1回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
シンポジウム「近代の空間システム・日本の空間システム研究都市と建築の 21 世紀：省察と展望」	2009. 1. 20	東京・建築会館会議室	小林 英嗣君 他 3 名	36 名
合 計				36 名

### (2) 建築教育の需給構造と建築職能の将来像特別研究 (1回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
ものづくり教育シンポジウム「ものづくり大学実習見学とものづくり教育をめぐる共同討議」	2008. 10. 23	埼玉・ものづくり大学	大湾 朝康君 他 6 名	56 名
合 計				56 名

## 8.6 受託研究委員会主催 (1回)

### (1) 京都の都市景観の創生特別調査委員会

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
第 2 回京都の都市景観の創生シンポジウム歴史都市・京都における景観資源の発見と創造－景観評価システムの構築をめざして－	2009. 3. 8	ハートピア京都	門内 輝行君 他 9 名	120 名
合 計				120 名

## 8.7 社会ニーズ関係主催

### (1) 建築生産における品質確保のための仕組みと業務の現状と課題特別調査委員会 (1回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
「建築生産における品質確保のための仕組みと業務の現状と課題」報告会	2008. 7. 7	東京・建築会館会議室	嘉納 成男君 他 4 名	74 名
合 計				74 名

### (2) 低炭素社会特別調査委員会 (1回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
2050 年の低炭素社会をさぐるシンポジウム	2009. 3. 16	東京・政策研究大学院大学	中村 勉君 他 4 名	137 名
合 計				137 名

## (3) 建築学からみたあるべき構造設計特別調査委員会 (1回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
建築学からみたあるべき構造設計特別調査委員会中間報告会	2009. 3. 30	東京・建築会館会議室	和田 章君 他 5 名	87 名
合 計				87 名

## 8.8 建築普及事業関係委員会主催

## (1) 建築教育認定事業委員会 (1回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
JABEE 建築学および建築学関連分野審査員講習会	2008. 7. 31	東京・建築会館ホール	芳村 学君 他 5 名	49 名
合 計				49 名

## (2) 能力開発支援事業委員会 (7回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
セミナー「縮退・成熟する都市の建築を考える」シリーズ第 5 回 第 3 部 縮退・成熟時代の先進動向 3-1 『EUにおける地域・環境再生政策』	2008. 4. 10	東京・建築会館会議室	岡部 明子君 他 1 名	58 名
セミナー「縮退・成熟する都市の建築を考える」シリーズ第 6 回 第 3 部 縮退・成熟時代の先進動向 3-2 『都市的住環境再生の現状』	4. 24	東京・建築会館会議室	澤田 誠二君 他 1 名	34 名
セミナー「縮退・成熟する都市の建築を考える」シリーズ第 7 回 総括	5. 7	東京・建築会館会議室	大野 秀敏君 他 3 名	29 名
e ラーニング講習会「鋼構造設計規準—許容応力度設計法—」	2008. 4. 1 ～ 2009. 3. 31		小野 徹郎君 他 8 名	71 名
e ラーニング講習会「建築物の振動に関する居住性能評価指針」	2008. 7. 22 ～ 2009. 3. 31		石川 孝重君 他 5 名	7 名
e ラーニング講習会「建築技術者のための JASS3 山留め工事 Q&A/JASS4 杭工事 Q&A」	2008. 7. 22 ～ 2009. 3. 31		青木 功君 他 4 名	7 名
e ラーニング講習会「シックハウスを防ぐ最新情報」	2008. 11. 17 ～ 2009. 3. 31		村上 周三君 他 8 名	3 名
合 計				209 名

## (3) 子ども教育事業委員会 (1回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
第 4 回子ども教育事業研究会「『子どものまち・いえワークショップ』の展望」	2008. 5. 31	東京・建築会館会議室	鈴木 明君 他 5 名	18 名
合 計				18 名

## 8.9 情報関係委員会主催

(1) 建築博物館委員会 (0回)

## 8.10 本会・他学協会共催 (4回)

名 称	共催学協会	期 日	会 場
第54回構造工学シンポジウム 【8.4(2)参照】	日本学術会議土木工学・建築学委員会, 日本建築学会, 土木学会	2008. 4. 25 ～26	大阪・大阪大学コンベンションセンター
建設技術者の継続教育を考えるシンポジウムー建設技術者は継続教育(CPD)をどう活用すべきか?ー	建設系 CPD 協議会, 日本建築学会, 土木学会, 地盤工学会他	11. 17	東京・建築会館ホール
第20回風工学シンポジウム	電気学会, 日本建築学会他	12. 3 ～5	東京・東京大学山王会館
第55回風に関するシンポジウム	日本風工学会, 日本建築学会他	2009. 3. 19	東京・日本大学理工学部駿河台校舎

## 8.11 開催数・参加者数

部 門	委員会数	開催数	参加者数
支援会議	3	6	172名
全国建築系大学教育連絡協議会	1	1	—
会務関係	1	0	0名
研究関係	調査研究	16	9,606名
	特別研究	2	92名
	受託研究	1	120名
社会ニーズ関係	3	3	298名
教育関係	3	9	276名
情報関係	1	0	0名
本会・他学協会共催	—	4	—
計	31	142	10,564名

## 9. 教育・文化事業

### 9.1 建築文化週間

期 日	催 し 物 名 称	会 場	参加者
	<b>&lt;建築文化週間 2008&gt;</b> (主催) 日本建築学会 (後援) 日本建築家協会・日本建築士会連合会・ 日本建築士事務所協会連合会・建築業協会 (協賛) 大林組・鹿島建設・清水建設・大成建設・ 竹中工務店・東京ガス・戸田建設・日建設計・ 日新工業・日本設計・西松建設・前田建設工業・ 三菱地所設計 (13社)		
	<b>建築夜楽校 2008</b> テーマ：グローバル社会における「建築的思考」の可能性		
10. 2	<b>第1夜：「タワーマンション」とグローバル・シティ</b> パネリスト： 迫 慶一郎 (建築家・SAKO 建築設計工社主宰) 大山 顕 (サイト『住宅都市整理公団』主宰) 山梨 知彦 (建築家・日建設計設計室長) 北 典夫 (建築家・KAJIMA DESIGN プリンシパル・アーキテクト) モデレーター： 南後 由和 (社会学者・東京大学大学院情報学環助教) 藤村 龍至 (建築家・藤村龍至建築設計事務所代表・ 建築文化事業委員) コメンテーター： 東 浩紀 (哲学者、批評家・東京工業大学世界文明 センター特任教授)	建築会館ホール	270名
10. 9	<b>第2夜：「ショッピングモール」とローカル・シティ</b> パネリスト： 中村 竜治 (建築家・中村竜治建築設計事務所主宰) 岩佐 明彦 (建築計画学者・新潟大学准教授) 芝田 義治 (建築家・久米設計設計本部建築設計部主 査) 関谷 和則 (建築家・竹中工務店東京本店設計部設計 主任) モデレーター： 南後 由和 (社会学者・東京大学大学院情報学環助教) 藤村 龍至 (建築家・藤村龍至建築設計事務所代表・ 建築文化事業委員) コメンテーター： 若林 幹夫 (社会学者・早稲田大学教授)	建築会館ホール	150名
10. 10	<b>建築夜楽校 2008 特別編</b> テーマ：ヴェネチアビエンナーレからアーキニアル グ・デザイン展へ ～帰国報告を通して見える、未来～ パネリスト： 建築について 石上 純也 (建築家・石上純也建築設計事務所) 構造について 佐藤 淳 (構造家・佐藤淳構造設計事務所所長) 他の国の展示について	建築会館ホール	200名



	五十嵐太郎（建築批評家・東北大学准教授） コメンテーター： 斎藤 公男（日本建築学会会長）		
10. 28	<b>東京ウォッチング 2008</b> テーマ：「築地」 見学先： 東京都中央卸売市場築地市場 （東京市土木局建築課，1934） 築地場外 本願寺築地別院＜築地本願寺＞（伊東忠太，1934） 聖路加国際病院 旧病院棟 （アントニン・レーモンド他，1933） 勝鬨橋（東京府，1933 着工，1940 竣工） カトリック築地教会聖堂 （ジロジラス神父，石川音次郎，1927） 講 師： 斎藤 理（東京大学研究員・建築史） 小笠原 伸（早稲田大学 WABOT-HOUSE 研究所講師・都 市論）		37 名 (申込 70 名)
10. 4～5	<b>学生ワークショップ 2008</b> 主テーマ：「24 時間耐久ワークショップ ArchiTV 『と，建築』」	建築会館ホール ＋イベント広場 ＋ギャラリー	延べ 250 名
10. 4	テーマ：『絵本と，建築』 ゲスト： 吉村 靖孝（吉村靖孝建築設計事務所代表） 永山 祐子（永山祐子建築設計代表） 松原 慈・有山 宙（assistant）	建築会館ホール，建 築会館イベント広 場	50 名
10. 4	テーマ：『宇宙と，建築』 ゲスト： アニール・セルカン（東京大学大学院助教）	建築会館ホール	200 名
10. 4	テーマ：『お金と，建築』 ゲスト： 丹下 憲孝（丹下都市建築設計代表取締役）	建築会館ホール	200 名
10. 4	テーマ：『写真と，建築』 ゲスト： 松本 悠介（中央アーキ） 上領 大祐（中央アーキ） 坂下加代子（中央アーキ） 木寺 紀雄（写真家） 山岸 剛（建築写真家）	建築会館ホール	150 名
10. 5	テーマ：『ファッションと，建築』 関係団体：服飾サークル common（慶応義塾大学）	建築会館ホール	80 名
10. 4	テーマ：『食と，建築』	建築会館イベント 広場	120 名
10. 5	テーマ：『建築と，建築』 審査員：長谷川逸子（長谷川逸子建築計画工房代表） 藤村 龍至（藤村龍至建築設計事務所代表） 五十嵐太郎（評論家）	建築会館ホール	150 名
10. 4～5	テーマ：『新世代と，建築』 関係団体：全国の学生団体 HP： <a href="http://architv.net/">http://architv.net/</a>	建築会館ホール・イ ベント広場	80 名

建築文化週間 2008 支部開催事業			
10. 4	<p>&lt;北海道支部&gt; 北海道支部創立 60 周年記念事業 テーマ：歴史的建造物から夕張の歴史と未来を考える (主催) 北海道支部 プログラム： 講演会 講師：角 幸博 (北海道大学) 駒木 定正 (北海道職業能力開発大学校) 見学会 見学先：鹿ノ谷倶楽部ならびに滝ノ上水力発電所</p>	<p>夕張市民会館 2 階</p> <p>北海道夕張市</p>	<p>73 名</p> <p>61 名</p>
10. 4	<p>テーマ：みんなで始める地震防災対策 (主催) 北海道支部, 本部災害委員会 (共催) 中標津町, 北海道立北方建築総合研究所 (後援) 北海道 プログラム： 1. 地震と建物の耐震性の話 2. 住宅の耐震診断の話 3. 室内安全対策の話 4. 耐震診断, 室内診断の体験 5. 避難食づくり 講師：大学, 行政職員ほか</p>	中標津町総合文化会館	39 名
10. 31	<p>テーマ：第 33 回北海道建築賞 (2008 年度) 受賞式・記念講演会 (主催) 北海道支部 講師：加藤 誠 (アトリエブシク)</p>	北海道大学遠友学舎	50 名
9. 27	<p>&lt;東北支部&gt; テーマ：第 19 回東北建築作品発表会 (主催) 東北支部</p>	せんだいメディアテーク 7 階スタジオシアター	102 名
10. 31	<p>日本建築学会東北支部 60 周年記念市民向け環境講座 第 55 回東北環境設備研究会 テーマ：東北地方における非住宅建築物エネルギー消費量の 10 年間の変化 (主催) 東北支部, 空気調和・衛生工学会東北支部, 建築設備技術者協会東北支部 (共催) 建築環境・省エネルギー機構 (IBEC), 電気設備学会東北支部 プログラム： 趣旨説明 吉野 博 (東北大学大学院教授, 東北支部長) IBEC 非住宅建築物環境関連データベース検討委員会の取り組み 亀谷 茂樹 (東京海洋大学准教授) 東北地方の非住宅建築物エネルギー消費量の実態 1) 事務所建築・福祉施設・宿泊施設について 須藤 諭 (東北文化学園大学教授) 井城 依真 (東北文化学園大学大学院) 2) 商業施設について 許 雷 (東北工業大学講師) 3) 庁舎建築・病院建築について 三浦 秀一 (東北芸術工科大学教授) 4) 学校建築について 渡辺 浩文 (東北工業大学教授) まとめ</p>	フォレスト仙台 (宮城県教育会館) 第 2 フォレストホール	69 名

	石川 善美（東北工業大学教授，空気調和・衛生工学会東北支部）		
11. 6	<p>日本建築学会東北支部 60 周年記念          テーマ：宮城県沖地震 30 周年市民講座          「ここまで進んだ建物の総合耐震と都市の防災」          （主催）東北支部          コーディネーター：          源栄 正人（東北支部災害調査連絡会委員長，東北大学教授）</p> <p>パネリスト：          小林 淳（秋田県立大学教授）          渡邊 浩文（東北支部環境工学部会長，東北工業大学教授）          最知 正芳（東北支部前施工部会長，東北工業大学准教授）          月舘 敏栄（八戸工業大学教授）</p>	夢メッセみやぎ会議棟 1 階 B 会場	53 名
10. 20	<p>&lt;関東支部&gt;          テーマ：キャンパスが熱い～キャンパス空間の現在の行方          （主催）関東支部          プログラム：          見学会：東京大学本郷キャンパスの建築          見学先：赤門総合研究棟，情報学環・福武ホール，工学部新 2 号館          シンポジウム：これからの教育研究空間          パネリスト：          今村 雅樹（日本大学），岩崎 堅一（岩崎建築研究室），          古谷 誠章（早稲田大学），安田 幸一（東京工業大学），          岸田 省吾（東京大学）</p>	東京大学 2 号館講堂（213 講義室）	63 名 116 名
10. 11	<p>&lt;東海支部&gt;          テーマ：建築ウォッチング「文化財建造物の『裏』を見る」          （主催）東海支部          見学地：博物館明治村（犬山市）          見学先：芝川邸屋根裏，北里研究所，第六連隊兵舎，菊の世酒蔵など          講師：石川新太郎（博物館明治村）</p>		8 名
10. 12	<p>&lt;北陸支部&gt;          テーマ：「能登半島地震からの復興と現在-能登の建築」          （主催）北陸支部          プログラム（見学対象建築）：          石川県七尾美術館，石川県能登島ガラス美術館，ラポルトすず：珠洲市多目的ホール，うみとさかなの科学館（海洋漁業科学館），大本山総持寺祖院          講師：村田 一也（石川工業高等専門学校）          森原 崇（石川工業高等専門学校）</p>		21 名

10. 11	<p>テーマ：集合！みんなはたてももの探偵団  (主催) 北陸支部・富山支所  (後援) 富山大学地域づくり・文化支援センター</p> <p>プログラム：  会場に集合  万葉線（路面電車）に乗って建物探検に出発  万葉線沿線の建物を探検して会場に帰着  ワークショップ1（建物選び，発表用スライド作成）  ワークショップ2（探偵団ごとに，反対の感じのする一組の建物を，対になる言葉とともに発表）  表彰式と講評</p>	高岡駅前 ウイング グウイング 5 階 501 研修室	32 名
10. 18	<p>&lt;近畿支部&gt;  テーマ：見学会「旧小西家住宅（重要文化財）」  (主催) 近畿支部  解説者：  新谷 昭夫（大阪市立住まいのミュージアム（大阪くらしの今昔館）副館長）</p>		41 名
10. 26	<p>&lt;中国支部&gt;  テーマ：「歴史文化を活かしたまちづくり」  (主催) 中国支部  (後援) 広島県，広島市，NHK 広島放送局，中国放送，中国新聞社，日本都市計画学会中国四国支部，土木学会中国支部，広島県建築士会</p> <p>プログラム：  開会挨拶／日本建築学会中国支部長</p> <p>●第1部 基調講演  講演1 「地域個性や観光資源，生活環境としての歴史的町並みの可能性」  松場 登美（観光カリスマ，石見銀山生活文化研究所取締役所長）  講演2 「地域連携の視点からみた歴史文化を活かしたまちづくり」  佐々木卓也（ひろしま歴史街道トリップ実行委員会・座長）</p> <p>●第2部 事例報告  事例報告1 「歴史文化を活かしたまちづくりへの支援とこれまでの取り組み事例」  藤岡啓太郎（国土交通省中国地方整備局建政部都市調整）  事例報告2 山口県萩市の事例「観光と生活との調和を目指したまちづくり」  大槻 洋二（萩市歴史まちづくり部まちなみ対策課 主任専門職）  事例報告3 広島県宮島の事例「観光と生活の調和を目指したまちづくり」  福島 俊を（古民家再生研究所主宰）  意見交換・全体総括  閉会挨拶／中国支部建築文化週間シンポジウム実行委員会 委員長</p>	広島国際大学 広島 キャンパス国際教育センター	70 名
10. 19	<p>&lt;四国支部&gt;  テーマ：四国の民家 木と土と石の伝統  (主催) 四国支部  (共催) 土木学会四国支部  (後援) 香川県，高松市，香川大学工学部，香川県教育委員会，四国村，香川県デザイン協会，日本建</p>		62 名

	<p>築家協会四国支部，香川県建築士会，香川県建築士事務所協会，日本建築構造技術者協会，NHK高松放送局，KSB瀬戸内海放送，西日本放送，四国新聞社，（順不同）</p> <p>プログラム：  ●見学会 四国の民家と農工具の見学  講師：斧上 紗木（四国村学芸員）  見学先：四国各地から移設された建造物 33 棟と屋島の麓を散策</p> <p>●木と土と石の工匠による座談会  テーマ：「わたしの歩んだ伝統」</p> <p>パネリスト：  「木の工匠」 新名 重夫（新名工務店（株）会長）  「土の工匠」 石田 貞夫（石田左官工業社長）  「石の工匠」 新名 静夫（庭師）</p> <p>コーディネーター：  松島 学（香川大学工学部教授）  伊丹絵美子（香川大学工学部講師）  斧上 紗木（四国村学芸員）</p>	<p>四国村（屋島中町）</p> <p>四国村内 資料館</p>	
10. 12	<p>&lt;九州支部&gt;  テーマ：MIYAZAKI 発「木造建築の技術と魅力を語る」（講演会&amp;展示会）  （主催）九州支部・宮崎支所  （後援）宮崎県（県土整備部，環境森林部，木材利用技術センター），都城市，宮崎県建築士会，日本建築家協会九州支部 JIA 宮崎建築家の会，宮崎県木材青壮年会連合会，都城工業高等専門学校建築学科</p> <p>プログラム：  宮崎県木材利用技術センター見学会  基調講演 1「宮崎県木材利用技術センター設計のこころ」  講師：大倉 靖彦（アルセッド建築研究所）  基調講演 2「『オーク』から『パイン』、『スギ』へ」  講師：飯村 豊  （宮崎県木材利用技術センター）  地元建築家による作品紹介  （住宅を中心に，その思いと工夫）  松竹 昭彦，柴 睦巳，高橋 武則，川崎 晃  「宮崎県木造建築展」</p>	<p>都城市ウエルネス交流プラザ</p> <p>講演会：  ムジカホール</p> <p>展示会：  茶霧茶霧ギャラリー</p> <p>見学会：  宮崎県木材利用技術センター</p>	<p>講演会  170名</p> <p>展示会  199名</p> <p>見学会  39名</p>

## 9.2 講演会・展覧会

### (1) 講演会・セミナー

期 日	催 し 物 名 称	会 場	参加者
	<p>2008年 日本建築学会賞（作品）受賞者記念講演会  「作品を語る」  （主催）日本建築学会・京都大学・熊本大学  （協賛）東京ガス  （受賞作品）  武蔵工業大学新建築学科棟#4  岩崎 堅一（武蔵工業大学教授）  ふじようちえん</p>		

	手塚 貴晴 (武蔵工業大学准教授・手塚貴晴+手塚由比/手塚建築研究所代表取締役) 手塚 由比 (手塚貴晴+手塚由比/手塚建築研究所代表取締役)		
7. 11	東京会場 記念講演：岩崎 堅一 (前掲) 手塚 貴晴+手塚 由比 (前掲) パネルディスカッション： 岩崎 堅一 (前掲) 手塚 貴晴+手塚 由比 (前掲) 深尾 精一 (首都大学東京教授/2008 年日本建築学会賞選考委員) 司 会：鶴飼 哲矢 (東京大学/建築文化事業委員会委員)	建築会館ホール	320 名
10. 24	熊本会場 記念講演： 岩崎 堅一 (前掲) 手塚 貴晴 (前掲) 司 会：伊藤 重剛 (熊本大学大学院教授)	熊本大学工学部百周年記念館	245 名
11. 5	京都会場 記念講演： 岩崎 堅一 (前掲) 手塚 貴晴 (前掲) パネルディスカッション： 岩崎 堅一 (前掲) 手塚 貴晴 (前掲) 門内 輝行 (京都大学大学院教授) 司 会：高田 光雄 (京都大学大学院教授)	京都大学百周年時計台記念館 国際交流ホール II・III	200 名
11. 12	「カルチベートトーク」(第2回) 主 催：建築文化事業委員会 テーマ：消えてゆく技術 ―私たちは未来の何を失いつつあるのか 講 師：赤尾 建蔵 (竹中道具館館長) 司 会：車戸 城二 (建築文化事業委員会委員)	建築会館 302・303 会議室	42 名

(2) 講座

期 日	催 し 物 名 称	会 場	参加者
	<親と子の都市と建築講座 2008>		
10. 11	とび出すカードでイスや家を作ろう！ ～ 折り紙建築の世界 ～ (主催) 日本建築学会 (共催) 日本建築センター 講師：木原 隆明 (長岡造形大学非常勤講師)	晴海アイランド トリトンスクエア	18 名
2. 13 2. 20 2. 27 3. 6 3. 13	「上野一地図企画」 (主催) 日本建築学会 プログラム 第1回「テーマ：軸」 第2回「テーマ：建物」 第3回「テーマ：地形」 第4回「フィールドワーク」 第5回「まとめ」 (台東区立上野中学校 中学1年生 選択社会で5回実施)	上野中学校, 上野恩賜公園	16 名
5. 31	第4回 子ども教育事業研究会 「子どものまち・いねワークショップ」の展望	建築会館会議室	18 名

	<p>(主催) 子ども教育事業委員会 プログラム 主旨説明: 小松 尚 (名古屋大学) 基調講演: 子どもとあそぶ「建築教室」 鈴木 明 (神戸芸術工科大学) 発表会: 子どもを対象とした教育事業等について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「千の種あかし隊」2007年度の活動: <ul style="list-style-type: none"> <li>高村 尚吾, 立俵 晃次 (名古屋大学)</li> </ul> </li> <li>・子供の建築・都市教育プログラム教材に関する基礎的研究: 稲葉 武司 (建築と子供たちネットワーク)</li> <li>・“まち”をつくろうー小学生が描く未来の飯田橋ー: 根岸 博之, 大古場 稔 (法政大学大学院)</li> <li>・東叡の鐘, 鳴りわたるー地図を重ねると都市の秘密が見えてくるー: 根岸 博之, 大古場 稔 (法政大学大学院)</li> </ul> <p>ディスカッション: 講演や発表をふまえて 司会 佐藤 将之 (子ども教育事業委員会, 早稲田大学)</p>		
	<p>&lt;親と子の都市と建築講座&gt; (主催) 本会・東海支部・北陸支部・近畿支部・中国支部・九州支部</p>		
	<p>&lt;東海支部&gt; 親と子の都市と建築講座 テーマ:「ボクのワタシの秘密基地づくり『森のおまつり』」</p>	名古屋大学	88名
11.8	<p>テーマ:「音源・熱源の見える化」</p>	名古屋工業大学 101 教室	74名
	<p>&lt;北陸支部&gt; わたしたちのまちや建築から学ぶみんなの環境教育</p>		
10.5	<p>新潟会場 テーマ:魔法の板を積んでかまくらを作ろう 講師: 富安 智子 (アトリエカプラ代表)</p>	新潟県立自然科学館講堂	36名
11.22	<p>柏崎会場 テーマ:強い形・弱い形 講師: 穂積 秀雄 (新潟工科大学教授)</p>	新潟工科大学	125名
11.30	<p>長岡会場 テーマ:地震に強い家の形 講師: 後藤 哲男 (長岡造形大学教授)</p>	長岡造形大学	22名
8.10	<p>石川会場 テーマ:「アカリヲサガシテ」 講師: 村田 一也 (石川工業高等専門学校建築学科准教授)</p>	石川工業高等専門学校 建築学科棟	20名
	<p>&lt;近畿支部&gt; ワークショップ「親と子の都市と建築教室」 「家をつくろう!2008」 (主催) 近畿支部, 大阪市立住まい情報センター, 大阪府建築士</p>	大阪市立住まい情報センター3階ホール	
8.2	<p>①家のつくり方を学ぼう 講師: 佐藤 達喜 (佐藤達喜建築設計事務所)</p>		47名
8.9	<p>②家をつくってみようー私の家をつくり始めましょう。 講師: 桑原 宏明 (ピーピーアイ計画・設計研究所) ※佐藤先生「生活に欠かせない便所」講義</p>		51名
8.10	<p>③まちを完成させよう 講師: 飯田 英二 (IMO 一級建築士事務所) ※木多先生「祭りともち」講義</p>		51名
8.23	<p>親と子の都市と建築教室 (主催) 近畿支部, 京都建築学園 京都建築専門学校</p>	京都建築専門学校	10組 25名

	「京町家の伝統技術を学ぶー小舞編みと土壁塗り」 講 師：佐野 春仁（京都建築学園 京都建築専門学校） 林 正信（京都府左官技能専修学院）		修了者 7名
7.28	<中国支部> (主催) 中国支部 (後援) 周南市, 周南市教育委員会, 徳山工業高等専門学校 テーマ: 「心に残るまちの環境を地図するワークショップ」 プログラム: プログラム ひろしまの地図の今昔 竹崎 嘉彦 (中国書店) 地図づくりの時間 千代章一郎 (広島大学 准教授) 親子で地図を比べてみよう! (作品の表彰) 匹田 篤 (広島大学准教授)	広島市まちづくり市民交流プラザ研修室A	親子6組 12名
11.17	<九州支部> 福岡会場 (主催) 本会九州支部, NPO 法人 FUKUOKA デザインリーグ, 日本建築家協会九州支部福岡会 テーマ: 街をデザインしよう 夢の再開 講 師: 廣瀬 正人 (廣瀬建築研究所) 水野 宏 (水野宏建築事務所) ほか	福岡教育大学付属福岡小学校	100名

### (3) 展覧会

期 日	催 し 物 名 称	会 場	参加者
5.15～ 6.1	2008年日本建築学会賞 (作品/技術/業績) 2008年日本建築学会教育賞 2008年日本建築学会作品選奨 2008年日本建築学会文化賞 受賞業績展	建築博物館ギャラリー	600名
11.18 ～28	設計競技入選作品展示会 日本建築学会設計競技 課題「記憶の器」 全国入選・タジマ奨励賞 19点 技術部門設計競技 課題「公共建築の再構成と更新のための計画技術」 入選作品 8点	建築博物館ギャラリー	300名

### (4) アーキニアリング・デザイン展

10.7～28	アーキニアリング・デザイン展 2008 ー テクノロジーと建築デザインの融合・進化 ー  ■ 展 覧 会 ー 模型で楽しむ世界の建築 ー <8つのテーマによる仕組解剖展示> A 歴史の歩み B 20世紀の建築と技術 C イメージとテクノロジーの交差点 D 空間構造の諸相 E 対震と高さへの挑戦 F 身近な AND 住いの AND G 都市・環境の AND H 軽量構造	建築会館ホール, イベント広場, 建築館ギャラリー	6,027名
---------	---	------------------------------	--------



10.17	<p>■ オープニング・レセプション</p> <p>次 第：  開会挨拶 竹内 徹（アーキニアリング・デザイン展  実行委員長）  主催者挨拶 斎藤 公男（日本建築学会会長）  木原 碩美（日本建築構造技術者協会会  長）  乾 杯 岡部 憲明（岡部憲明アーキテクチャーネット  ワーク代表）  歌 楽友会（日本建築学会合唱団）  締め 櫻井 潔（日本建築学会副会長）</p>		220名
10.17	<p>■ プレスギャラリーツアー  メディア対象展覧会紹介</p>		20社
制作 10.11～12 展示 10.13～28	<p>■ ビッグアートワークショップ</p>	建築会館イベ ント広場	31名
	<p>■ コンテスト・制作ワークショップ  &lt;未来へつなぐ  —身近な材料でつくる未知なる空間や造形—&gt;</p> <p>審査員：  委員長 斎藤 公男（日本建築学会）  委 員 石上 純也（石上純也建築設計事務所）  遠藤 秀平（神戸大学大学院）  加藤 詞史（早稲田大学）  曾我部昌史（神奈川大学）  富永 祥子（福島加津也＋富永祥子建築設計事務  所）  西沢 大良（西沢大良建築設計事務所）  福島加津也（福島加津也＋富永祥子建築設計事務  所）  藤本 壮介（藤本壮介建築設計事務所）  宮本 佳明（大阪市立大学）  幹 事 陶器 浩一（滋賀県立大学）  佐藤 淳（佐藤淳構造設計事務所）  金田 充弘（東京藝術大学）</p>		
8.21	一次審査会（公開）	建築会館会議室	応募数： 45作品

10.19	<p>二次審査会（公開）  入選作品：  ・最優秀賞「plant animal living structure」  ・優秀賞「tetron」  「強がりな布」  ・佳作「竹のシナリヲ ～竹と人との劇的な出会い～」  「FPOY」  「Spinning」  「Trapezoid Block」  「Hitofude × Tube」</p> <p>審査員賞受賞作品  ・斎藤公男賞（北京・鳥ノ巣をこえたかも賞）「編み編みドーム」  ・陶器浩一賞（仕組みにもう一工夫を・・・賞）「積層ダンボール Box」  ・福島加津也賞（とても美しいで賞）「Drape Fiber」  ・富永祥子賞（あったら私がいりたい。賞）「たたみん」  ・西沢大良賞（もうちょっと詰めていけば入賞）「ぐるぐるハンガー」  ・藤本壮介賞「息づく壁体」  ・曾我部昌史賞（ビミョウな不安感が楽しみでした賞）  「block in directionality」  ・佐藤淳賞（ヘリウム賞）「Light Space」  ・宮本佳明賞（きもちよさそうなんだけどね～賞）「Dive To Laundry」  ・竹内徹賞（既に完成しているで賞）「可動可変な小屋」  ・加藤詞史賞「PLALID HOUSE」  ・金田充弘賞「一枚の木の板から生まれる空間」</p>	建築会館イベント広場	
10.18～19	ワークショップ	建築会館イベント広場	延べ 110 名
10.23	<p>■ Dr.Mike Schlaich 講演会  &lt;ホリスティックな構造デザインをめざして&gt;  講師：Mike Schlaich（ベルリン工科大学教授）  司会：竹内 徹（東京工業大学准教授）  挨拶・解説：斎藤 公男（日本大学名誉教授）  質疑討論：川口 衛，川口 健一他多数</p>	建築会館イベント広場	260 名
5.7	<p>■ アーキニアリング・デザイン・フォーラム 1  &lt;素材と構造 - 蜘蛛によるマイクロ・ケーブル・ストラクチャー&gt;  コーディネーター：三宅 理一（慶應義塾大学教授）  パネリスト：大崎 茂芳（奈良県立医科大学教授）  金田 充弘（東京芸術大学准教授）  司会：宇野 求（東京理科大学教授）</p>	建築会館会議室	103 名
6.11	<p>■ アーキニアリングデザイン・フォーラム 2  &lt;環境と構造 - 世界の建築再生と第 4 の構造材料&gt;  コーディネーター：松村 秀一（東京大学大学院教授）  パネリスト：太田 浩史（建築家，前東京大学 COE 特任研究員）  腰原 幹雄（東京大学生産技術研究所准教授）  司会：宇野 求（東京理科大学教授）</p>	建築会館会議室	71 名

10.25	<p>■ アーキニアリングデザイン・フォーラム 3          &lt;文化と技術—軽量なるものへのリアリティー—&gt;          プログラム：          主旨説明 城戸 隆宏（構造デザインフォーラム WG）          モデレータ 高橋 誠一（第一工房代表取締役）          プレゼンテーター Annette Böegle（ベルリン工科大学）          宮里 直也（日本大学助教）          司 会：宇野 求（東京理科大学教授）</p>	建築会館イベント広場	120名
10.27	<p>■ 市民フォーラム          &lt;安全はどうデザインされるか—&gt;          プログラム：          司 会 布野 修司（滋賀県立大学教授）          講 演 建築構造の安全性とは          和田 章（東京工業大学教授）          建築デザインと安全性          小嶋 一浩（建築家・東京理科大学教授）          市民が建築に求めるもの          茂木 俊輔（フリージャーナリスト）          構造設計者の役割          中田 捷夫（構造家・中田捷夫研究室代表取締役）          まとめ 金田勝徳（日本建築構造技術者協会副会長）</p>	建築会館イベント広場	110名
第1回 10.25 第2回 10.26	<p>■ 親と子の建築講座          &lt;地震と建築—&gt;          講 師：福和 伸夫（名古屋大学教授）</p>	建築会館会議室	第1回 53名 第2回 59名
9.19	<p>■ 日本建築学会大会 PD          &lt;アーキニアリング・デザインとは — “技術の質” と “空間の質” “環境の質” — &gt;          プログラム：          主旨説明 斎藤 公男（日本大学名誉教授）          主題解説 アーキニアリング・デザインの諸相          世界遺産を巡って          川口 衛（川口衛構造設計事務所代表）          今日の建築を巡って          岡部 憲明（岡部憲明アーキテクチャーネットワーク代表）          未来の構造を巡って          佐藤 淳（佐藤淳構造設計事務所所長）          地球環境を巡って          野沢 正光（野沢正光計画工房代表）          住まいの空間を巡って          大谷 弘明（日建設大阪設計室設計室長）          まとめ 陶器 浩一（滋賀県立大学教授）</p>	広島大学教育学研究科 K 棟 K201	116名
10.10	<p>■ 建築夜楽校 2008 特別編（建築文化週間 2008 参照）          &lt;ヴェネチアビエンナーレからアーキニアリング・デザイン展へ ～帰国報告を通して見える、未来～&gt;</p>		

### 9.3 設計競技

#### (1) 技術部門設計競技

<課 題> 公共建築の再構成と更新のための計画技術  
 <主 催> 建築計画委員会

<後援>国土交通省，総務省，公共建築協会，建築保全センター

<主旨>

21世紀をむかえ、3,000以上あった日本の地方自治体の数は、1千数百に再編された。自治体の合併にあたって、各自治体は既存公共建築の統廃合を検討推進している。今後、新築される公共建築は半減することが予想され、また財政上の理由からも、既存公共建築機能の有効な再配置、再構成、更新が求められている。その際、魅力ある建築再生のためには、1)計画技術(住宅系、施設系、基礎系)および2)構法計画技術のコンビネーションが必要不可欠である。

国、地方自治体、公共事業体などが保有する既存の公共建築をとありあげて、上記1)、2)のコンビネーションによる、市民と自治体から支持される持続可能で魅力的な改築の計画技術提案を募るものである。

<審査員>南一誠(委員長)、布野修司(幹事)、宇野求(幹事)、岡垣晃、金田充宏、加茂紀和子、杉本俊多、宿谷昌則、竹下輝和、長澤悟、深尾精一、六鹿正治、大原一興、小野田泰明、菊地成朋、清水裕之、広田直之、藤井晴行、野城智也

<応募資格>本会個人会員(準会員を含む)、または会員のみで構成するグループとする。なお、同一の個人または代表者名で複数の応募をすることはできない。

<入選>

	提案名	入選者 (○:代表者)
最優秀賞	旧百貨点ビルの市庁舎コンバージョン計画	○正会員 中野 恒明 君(芝浦工業大学) 正会員 齋島 慎治 君(芝浦工業大学) 準会員 茅根 雅司 君(芝浦工業大学) 準会員 竹内 博亮 君(芝浦工業大学) 正会員 柴田 昭浩 君(アプル総合計画事務所) 正会員 佐々木俊太 君(アプル総合計画事務所)
優秀賞	ストアとコンシェルジュによる「公・共」空間計画」・マネジメント技術の展開ー長谷戸小学校を近隣単位とした恵比寿駅西側地区を事例にー	○正会員 藤井 俊二 君(大成建設) 正会員 安藤 正雄 君(千葉大学) 正会員 渡邊 朗子 君(渡邊建築総合研究所) 正会員 深尾 仁 君(大成建設) 正会員 屋祢下 亮 君(大成建設) 正会員 小柳 秀光 君(大成建設) 正会員 松本 朋之 君(大成建設) 正会員 石川 陽太 君(大成建設) 正会員 後藤 啓太 君(大成建設) 正会員 柴田 哲 君(大成建設) 正会員 徳山 和彦 君(大成建設)
	TERAKOYA 真駒内	○正会員 森 傑 君(北海道大学) 正会員 横山 隆 君(清水建設) 正会員 堀 雅弘 君(ウェルメディックプランニング)  正会員 原田 慎一 君(清水建設) 正会員 大澤 一彦 君(清水建設) 正会員 浅井 政宏 君(清水建設) 正会員 菅野 克 君(清水建設) 正会員 鈴木 淳 君(清水建設) 正会員 内藤 純 君(清水建設) 正会員 佐藤 正博 君(清水建設) 正会員 清水 郁江 君(清水建設) 正会員 木村 有里 君(北海道大学) 正会員 桐 圭佑 君(北海道大学) 正会員 小林 暁子 君(北海道大学) 正会員 坂井 友美 君(北海道大学) 正会員 野中 志帆 君(北海道大学) 正会員 松島 泰裕 君(北海道大学) 正会員 山口健太郎 君(北海道大学)
佳作	野菜小学校	○正会員 赤木 建一 君(九州大学) 正会員 川口 尚美 君(九州大学) 正会員 富田 昌平 君(九州大学)

国立岡山病院病棟から福祉の総合拠点へのコンバージョンー岡山県総合福祉・ボランティア・NPO 会館 きらめきプラザ	○正会員 須田 修司 君 (竹中工務店) 正会員 松川 敏正 君 (竹中工務店) 正会員 竹村 晃 君 (竹中工務店) 正会員 清水 斉 君 (竹中工務店) 正会員 畝 博志 君 (竹中工務店) 正会員 橋本 俊二 君 (竹中工務店) 正会員 山岡 正洋 君 (竹中工務店)
サテライトステーションーヒト・モノ・知恵が集まる場所ー	○正会員 高橋 溪 君 (滋賀県立大学) 正会員 小川 哲史 君 (滋賀県立大学) 正会員 中村 喜裕 君 (滋賀県立大学)
月夜間「つきよま」	○正会員 西崎 拓郎 君 (九州大学) 正会員 福田 哲也 君 (九州大学) 正会員 山口祐一郎 君 (九州大学)
nagara改修 住みながら変わるイェ	○正会員 福田 真希 君 (大阪市立大学) 正会員 中山 曜 君 (大阪市立大学) 正会員 中屋 昌之 君 (大阪市立大学) 正会員 豊田 恵美 君 (大阪市立大学) 準会員 鉛 悠子 君 (大阪市立大学) 準会員 長本美由紀 君 (大阪市立大学) 準会員 山口翔一郎 君 (大阪市立大学) 準会員 櫻井恵梨子 君 (大阪市立大学)

応募総数：50件

#### 9.4 教育・文化事業参加者数

事業内容		参加者数
建築文化週間	本部	1,687名
	支部	1,278名
講演会・講座・セミナー	学会賞受賞者記念講演会	765名
	カルチベートトーク	42名
	親と子の都市と建築講座 本部	52名
	親と子の都市と建築講座 支部	651名
	アーキニアリング・デザイン展関連事業	1,157名
展示会	学会賞・作品選奨展示会	600名
	設計競技全国入選者展示会	300名
	アーキニアリング・デザイン展	6,027名
合計		12,559名

## 10. 国際交流事業

### 10.1 国際交流振興基金

国際間の研究交流ならびに研究成果の国際流通促進のための事業を援助した。

上期配分額	480,000 円
下期配分額	770,000 円
合計	1,250,000 円

申請 6 件, 採択 6 件

期	事業名	申請者	実施時期	援助額
上期	第 24 回建築生産シンポジウム	建築経済委員会	2008. 7. 24～25	240,000 円
〃	九州支部と大韓建築学会釜山・蔚山・慶南支部との学术交流記念シンポジウムの開催	九州支部	2009. 3. 7	240,000 円
下期	国際シンポジウム「雨水利用建築の規格化とその効果」	環境工学委員会	2009. 2. 21	200,000 円
〃	第 9 回建築教育シンポジウム	建築教育委員会	2009. 1. 24	100,000 円
〃	第 8 回アジアの建築交流国際シンポジウム開催費積立	アジア建築交流委員会	2010 年度	470,000 円
合計				1,250,000 円

### 10.2 渉外関係

- (1) 2008. 5. 12 発生の四川大地震に対し、四川大地震復旧技術支援連絡会議（本会・土木学会・地盤工学会・日本地震工学会・日本地震学会・日本都市計画学会の共同組織）の構成員として本会から地震被災建築物の応急復旧技術支援チーム 4 名（団長：中埜良昭東京大学生産技術研究所教授）を中国に派遣し、被災地視察と技術交流・セミナーを実施。5. 25 に全員無事帰国。（中国・四川省，2008. 5. 20-25）
- (2) UIA2011 東京大会の PR 及び事前調査を目的として、UIA2011 東京大会日本組織委員会が UIA トリノ大会公式訪問団（団長：立石（財）日本建築センター理事長）を派遣。本会から中川副会長が参加。（イタリア・トリノ 6. 29-7. 3）
- (3) 第 7 回アジアの建築交流国際シンポジウム（北京）への公式訪問団として、斎藤会長，中川副会長，国広アジア建築交流委員会委員長ほか，計 6 名が参加。特別セッションに本会から，斎藤公男君，重村力君の 2 名が招待を受け，基調講演を行った。なお，会期中の登録参加者は約 300 名（うち日本から約 100 名），論文投稿は 210 編（うち本会から 67 編）であった。（中国・北京，2008. 10. 15-17）

### 10.3 外国人来会者

2008. 11. 4	デルフト工科大学 Ype Cuperus 准教授 デルフト工科大学の火災の被害状況について報告。深尾副会長，南総務理事が応接。
2009. 2. 2	中国建築学会 英文論文集 JAABE 前チーフエディター・現構造系フィールドエディター 呂西林同済大学教授 長澤泰新チーフエディター，野城智也リエゾンエディター，笠井和彦エディターらと今後の JAABE の運営・編集方針等について意見交換。

#### 10.4 現代日本建築 1996-2006 展

現代日本建築展は、創立 100 周年記念事業の一環として、本会と国際交流基金の主催で日本の現代建築を世界各国に紹介することを目的に始められた。海外におけるわが国の建築への関心は高く、世界各国において大変好評である。2006 年の創立 120 周年を機に、第 3 期として新たに過去 10 年の間に日本で竣工した建築、さらには日本人が海外で実現した建築、112 作品を都市、生命、文化、住まいという 4 つのセクションで対比的に展示する展覧会「パラレル・ニッポン 現代日本建築展 1996-2006」は、2007 年 6 月から海外巡回を始めた。

地域	国	都市	会場	期間	参観者
西欧	フランス	パリ	パリ日本文化会館 展示ホール	2008/ 4/16～ 6/21	5,702 名
西欧	ドイツ	ミュンヘン	バイエルン州内務省最上級建設局 (エントランスホール)	2008/ 7/21～ 9/12	1,700 名
西欧	イタリア	ミラノ	アーバン・センター・ミラノ	2008/11/14～11/28	
北アフリカ	スーダン	ハルツーム	ブルジュ・エルファーティフホテル	2009/ 1/ 5～ 1/26	1,000 名
北アフリカ	アルジェリア	アルジェ	アルジェリア国立図書館	2009/ 3/18～ 3/31	

## 11. 図書館

### 11.1 運営管理

(1) 図書館各室の名称と面積

- ・一般閲覧席と開架部分 493 m<sup>2</sup>
- ・大書庫 86 m<sup>2</sup> 小書庫 17 m<sup>2</sup> 特別閲覧室 32 m<sup>2</sup> 記念図書室 38 m<sup>2</sup> 総面積 666 m<sup>2</sup>

(2) 受け入れ蔵書数とデータベース化

・単行図書 (和書)	1,129 冊	累計	38,841 冊
(洋書)	123 冊		5,867 冊
計	1,252 冊		44,708 冊
・雑誌 (和書)	1,130 冊		28,333 冊
(洋)	497 冊		10,495 冊
計	1,627 冊		38,828 冊
・ビデオ, CD-ROM 等			2,941 件
(和)	160 件		75 件
(洋)	1 件		3,016 件
計	161 件		86,552 件
合計	3,040 件		

(3) 雑誌記事索引 6,837 件 90,217 件

(4) CiNii 電子図書館データ提供

論文集*	2008年4月～2009年3月	(* 計画系論文集, 構造系論文集, 環境系論文集)
建築雑誌	2008年4月～2009年3月	
技術報告集	2008年4月～2009年2月	
英文論文集	2007年4月～2008年11月	
総合論文誌	2007年4月～2009年2月	
大会梗概集	2008年	
各支部研究報告	1989年から2007年	

【2009年3月までの公開データ】

建築雑誌	(1887年～2008年3月)
論文集	(1936年～1944年)
論文集	(1947年～2008年3月)
研究報告	(1949年～1962年)
大会梗概集	(1945年～2007年)
技術報告集	(1995年12月～2007年12月)
英文論文集	(1995年12月～2007年11月)
(JAABE)	
各支部研究報告	1989年から2007年

(5) 韓国建設研究情報センター東アジア建学情報ネットワーク CRIC データ提供

[冊子および書誌データ]

建築雑誌	(2008年4月～2009年3月)
技術報告集	(2008年6月～2009年2月)
作品選集	(2009年)
英文論文集	Journal of Asian Architecture and Building Engineering



(2008年5月, 2008年11月)  
 総合論文誌 (No.7 2009年2月)  
 論文集 計画系 (2008年4月-2009年3月)  
 論文集 構造系 (2008年4月-2009年3月)  
 論文集 環境系 (2008年4月-2009年3月)  
 大会梗概集 CD-R (2008年)

(6) 外部データベース利用状況

- ・ CRIC/eAINA 利用登録状況 2008年度登録者: 934人 (内日本人 341人)  
 2003~2008年度合計: 4,275人 (内日本人 1,538人)
- ・ J-STAGE/CiNii 本文PDFダウンロード数: 1,783,361件

(7) 視聴覚ライブラリーの運営

- ・ ビデオ, CD-ROM等を開覧に供した。

## 11.2 「建築雑誌」「論文集」の交換・寄贈

(1) 建築雑誌

中国3 チェコ1 北朝鮮1 ギリシャ1 香港1 ハンガリー1 インド1 インドネシア1 韓国9  
 マレーシア1 台湾2 アメリカ3 ロシア1 イギリス1

14か国 27機関

(2) 論文集

オーストラリア3 ブルガリア1 カナダ1 中国4 北朝鮮1 フランス1 ドイツ1 インド3  
 インドネシア3 韓国4 モロッコ1 ネパール1 フィリピン1 ポルトガル1 台湾2 タイ1  
 アメリカ4 ロシア1 イギリス3

19か国 37機関

(3) 英文論文集

オーストラリア3 ブルガリア1 カナダ1 中国4 北朝鮮1 フランス1 ドイツ1 インド3  
 インドネシア3 韓国4 モロッコ1 ネパール1 フィリピン1 ポルトガル1 台湾1 タイ1  
 アメリカ4 ロシア1 イギリス4 モンゴル 1 ベトナム 2

21か国 40機関

## 11.3 受入図書・雑誌・研究報告

種別	購入				寄贈				学会				計
	図書	雑誌	研究報告	視聴覚	図書	雑誌	研究報告	視聴覚	図書	雑誌	研究報告	視聴覚	
和書	10	32	3	0	755	1,844	466	142	251	16	79	9	3,607
洋書	9	360	15	0	28	137	91	1	0	0	0	0	641
計	19	392	18	0	783	1,981	557	143	251	16	79	9	4,248

## 11.4 利用者数

・2008年度図書館利用者数

種別年月	会員 正会員	準会員	法人会員	会員外	土木学会 会員	計
2008年 4月	269	0	29	33	4	335
5月	294	0	18	47	5	364
6月	270	1	17	40	5	333
7月	330	2	37	55	8	432
8月	225	3	26	36	4	294
9月	259	4	27	37	4	331
10月	280	10	37	74	10	411
11月	232	13	17	52	5	319
12月	229	8	20	36	2	295
2009年 1月	285	7	24	32	5	353
2月	286	3	17	44	3	353
3月	329	3	21	48	1	402
計	3,288	54	290	534	56	4,222

・利用者昨年比 0.36% (15名) 減 (前年 4,237名)

・開館日数 240日

## 11.5 利用者複写サービス件数

来館者 1,990件 郵送サービス 148件

## 11.6 研究助成関係

(1) 科学研究費補助金「研究成果公開促進費」

図書館目録・書誌・画像データベースとして、1,500,000円の交付

(本会が編集・刊行した戦前、戦後(1963年まで)の文献資料の全文を電子画像化)

## 12. 建築博物館

### 12.1 運営管理

(1) 建築博物館の各室の名称と面積

- ・ 建築博物館ギャラリー 99 m<sup>2</sup>
- ・ 建築博物館作業室 58 m<sup>2</sup>
- ・ 収蔵庫 90 m<sup>2</sup>

(2) 受け入れ資料

1) 正式受け入れ

- ・ 後藤慶二資料 (7,434 点：図面・構造実験の写真乾板・『建築雑誌』の表紙図案等・構造学に関する資料・朝鮮半島旅行 1915 の際のスケッチほか)
- ・ 清家清資料 (図面件数 534 点： 30,722 点)

注) 昨年度の事業報告でも掲げたが、正式受け入れが本年度に順延となった。

2) 仮受け入れ資料整理作業中

- ・ 曾禰中條建築事務所資料 (図面件数 361 点：約 10,000 枚)
- ・ 日本学術振興会科研費助成金による上記設計図面資料の画像化約 979 点)
- ・ 宮脇檀資料 宮脇彩氏寄贈 (CD-ROM20 枚, 設計図面ほか)

### 12.2 事業

#### 研究助成関係

(1) 科学研究費補助金「研究成果公開促進費」

建築博物館蒐集資料目録・書誌・画像データベースとして、2,700,000 円の交付  
(曾禰中條建築事務所設計図面資料の電子画像化)

(2) 展覧会開催

本年度開催なし

(3) シンポジウム関係

本年度開催なし

### 13. 建策・進言・要望・提言

提出年月日	要望事項	提出先
2008. 5. 14	男女共同参画推進行動計画について	
2008. 6. 19	東京中央郵便局庁舎・大阪中央郵便局庁舎保存要望書	郵便局(株)会長, 郵便局(株)社長
2008. 10. 21	三菱東京UFJ銀行貨幣資料館(旧名古屋銀行本店)の保存・活用に関する要望書	三菱地所(株)社長
2008. 11. 10	大阪府立総合青少年野外活動センターの保存に関する要望書	大阪府知事
2009. 3. 11	日本建築学会の東京中央郵便局庁舎, 大阪中央郵便局庁舎に対する歴史的価値に関する見解	郵便局(株)

提出年月日	要望事項	提出先
2008. 4. 3	学習院ピラミッド校舎群の保存に関する要望書 (関東支部)	学校法人学習院長, 学習院大学長
2008. 7. 10	千里ニュータウン南地区センタービル・文化センターの保存に関する要望書 (近畿支部)	吹田市市長
2008. 8. 1	横浜松坂屋本館の保存に関する要望書 (関東支部)	J. フロントリテイリング(株)代表取締役社長兼最高責任者, (株)松坂屋代表取締役社長, (株)横浜松坂屋代表取締役社長, 横浜市市長
2008. 10. 6	中林邸の保存に関する要望書 (近畿支部)	末陰章江殿, 中林のり子殿, 中林美江子殿
2009. 1. 29	旧神戸市立生糸検査所および旧国立神戸生糸検査所(現独立行政法人農林水産消費安全技術センター神戸センター)保存要望書 (近畿支部)	神戸市長

## 14. 刊行図書

### 14.1 直営出版物

#### (1) 新刊・改定（訂）版

1. 建築工事標準仕様書・同解説 JASS 5 鉄筋コンクリート工事	6,000 部
2. 建築工事標準仕様書・同解説 JASS 9 張り石工事	1,500 部
3. 鉄筋コンクリート造建築物の環境配慮施工指針（案）・同解説	600 部
4. 溶接接合設計施工ガイドブック	2,000 部
5. コンクリート充填鋼管構造設計施工指針	1,500 部
6. 最新の地盤震動研究を活かした強震波形の作成法	1,000 部
7. 建築物の耐震性能評価手法の現状と課題—限界耐力計算・エネルギー法・時刻歴応答解析—	1,500 部
8. 仮設構造物計画の手引き	1,500 部
9. 原子力施設における建築物の維持管理指針・同解説	500 部
10. 構造材料の耐火性ガイドブック	500 部
11. 火災時のエレベータを利用した避難計画指針（案）	500 部
12. 日本建築学会環境基準 AIJES-B001-2008 建築設備管理ガイドライン	1,000 部
13. 日本建築学会環境基準 AIJES-W001-2009 建物運用時に発生するごみのリサイクル推進に 寄与する建築計画とごみ処理システムに関するガイドライン —大規模事務所・商業施設および集合住宅の設計・運用管理—	1,000 部
14. グローバル時代における建築情報連携技術—建築生産情報統合ガイドブック・4—	500 部
15. 実践 やさしくわかる 建築・都市・環境のためのソフトコンピューティング	500 部
16. 建築法規用教材 2009	4,500 部
17. 大学（建築関係学科）名簿 2008 年版	500 部
合計 17 点	25,100 部

#### (2) 重版

1. 建築工事標準仕様書・同解説 JASS 1 一般共通事項	700 部
2. 建築工事標準仕様書・同解説 JASS 5 鉄筋コンクリート工事	1,000 部
3. 建築工事標準仕様書 JASS 6 鉄骨工事	5,000 部
4. 建築工事標準仕様書・同解説 JASS 15 左官工事	700 部
5. 建築技術者のための JASS 4 杭工事 Q&A	500 部
6. 鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説	2,000 部
7. 構造体コンクリートの品質に関する研究の動向と問題点	200 部
8. 高強度コンクリート施工指針（案）・同解説	500 部
9. マスコンクリートの温度ひび割れ制御設計・施工指針（案）・同解説	200 部
10. 鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規準・同解説	1,500 部
11. ブロック塀施工マニュアル	500 部
12. 非構造部材の耐震設計施工指針・同解説および耐震設計施工要領	700 部
13. 建築基礎構造設計例集	1,000 部
14. 建築基礎のための地盤改良設計指針案	1,000 部
15. 小規模建築物基礎設計指針	3,000 部
16. 木質構造設計規準・同解説—許容応力度・許容耐力設計法—	1,500 部
17. 鋼構造設計規準—許容応力度設計法—	2,500 部
18. 鋼構造接合部設計指針	1,500 部
19. 溶接接合設計施工ガイドブック	3,000 部
20. 軽鋼構造設計施工指針・同解説（SI 単位版）	700 部
21. 鋼管トラス構造設計施工指針・同解説	500 部
22. 鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説—許容応力度設計法—	2,000 部
23. 鉄筋コンクリート造建物の靱性保証型耐震設計指針・同解説	800 部
24. コンクリート系構造の部材解析モデルと設計への応用	100 部
25. 壁式構造関係設計規準集・同解説（壁式鉄筋コンクリート造編）	1,500 部
26. 壁構造配筋指針	1,000 部
27. 建築材料用教材	2,500 部
28. 建築材料実験用教材	2,000 部
29. 構造用教材	5,000 部
30. 構造入門教材 ちからとかたち	500 部

31. 建築環境工学用教材 環境編	1,200 部
32. 建築環境工学用教材 設備編	700 部
33. まちづくりデザインのプロセス	1,000 部
34. 建築倫理用教材	1,000 部
合計	47,500 部

## 14.2 委託出版物

(1) 新刊・改定（訂）版	
1. 都市・建築の感性デザイン工学	600 部
2. 図解 火災安全と建築設計	600 部
3. 生活景 身近な景観価値の発見とまちづくり	2,500 部
4. アルゴリズムック・デザイン 建築・都市の新しい設計手法	2,000 部
5. 景観法活用ガイド 市民と自治体による実践的景観づくりのために	1,000 部
6. 長く暮らすためのマンションの選び方・育て方	2,500 部
7. 建築・まちづくりの夢をカタチにする力	2,500 部
8. 建築論事典	2,000 部
9. まちづくりのインフラの事例と基礎知識 -サステナブル社会のインフラストラクチャーのあり方-	1,500 部
10. 水辺のまちづくり 住民参加の親水デザイン	1,500 部
11. 2008 年度日本建築学会設計競技優秀作品集 記憶の器	1,200 部
12. 建築基準法令集〔法令編〕平成 21 年版	8,000 部
13. 建築基準法令集〔様式編〕平成 21 年版	6,500 部
14. 建築基準法令集〔告示編〕平成 21 年版	8,000 部
合計	40,400 部

(2) 重版	
1. 建築学用語辞典 第 2 版	500 部
2. 人間環境学 よりよい環境デザインへ	200 部
3. 光と色の環境デザイン	54 部
4. 日本建築史図集 新訂第二版	5,000 部
5. 近代建築史図集 新訂版	1,500 部
6. 日本建築学会設計計画パンフレット 4 建築の音環境設計 新訂版	1,000 部
7. 建築紛争ハンドブック	213 部
8. まちづくり教科書 第 1 巻 まちづくりの方法	726 部
9. まちづくり教科書 第 6 巻 まちづくり学習	520 部
10. まちづくり教科書 第 8 巻 景観まちづくり	520 部
11. まちづくり教科書 第 9 巻 中心市街地活性化とまちづくり会社	520 部
12. 第 3 版 コンパクト建築設計資料集成	12,040 部
13. 第 2 版 コンパクト建築設計資料集成 [住居]	4,000 部
14. 景観法と景観まちづくり	1,000 部
合計	27,793 部

## 14.3 刊行物数

刊行物		刊行点数	発行部数
直営出版物	新版および改定（訂）版	17	25,100 部
	重版	34	47,500 部
委託出版物	新版および改定（訂）版	14	40,400 部
	重版	14	27,793 部
合計		79	140,793 部

#### 14.4 刊行物等からの引用転載許諾

許諾件数 123 件 (図表等 1,039 点)

内訳：刊行物(203 種 651 点), 大会梗概・論文等(62 種 78 点), 委員会資料(8 種 14 点),  
建築雑誌(51 種 136 点)

## 15. 会 館

### 15.1 建築会館

(1) 建物概要(所在地・規模・構造・設計者・施工者・施工年月)

東京都港区芝5丁目26番20号

敷 地 3,053m<sup>2</sup>

建築面積 2,474m<sup>2</sup>

延べ床面積 10,522m<sup>2</sup>

鉄筋コンクリート造および鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上7階

設 計 者 (株)秋元和雄設計事務所

施 工 者 清水建設, 大林組, 鹿島建設, 大成建設, 竹中工務店 共同企業体

竣 工 1982年11月, 増築部(6・7階)1989年11月

(2) 使用状況(専有床面積)

本会使用部分 3,569m<sup>2</sup>

賃貸借契約部分 4,040m<sup>2</sup>

(3) テナント

1) 建築関係団体・公益法人

(社)日本建築士会連合会, (財)震災予防協会

民間(旧四会)連合協定工事請負契約約款委員会, (社)商業施設技術者・団体連合会

(社)日本医療福祉建築協会, (社)建築研究振興協会, (社)日本建築美術工芸協会

(社)仮設工業会, 日本建築仕上学会, 繊維補修補強協会, (社)建築設備総合協会

日本技術者教育認定機構, (社)日本工学教育協会, 日本地震工学会, (社)日本工学アカデミー

(社)日本工学会

独立行政法人 雇用・能力開発機構 職業能力開発総合大学校 起業・新分野展開支援センター

(財)国際技能振興財団, 日本コンストラクション・マネジメント協会

2) 民間

アビコム・ジャパン(株), スウェーデンステール(株), (株)MIA, 日本コムシンク(株)

(株)東京ロックサービス, アサ国際特許事務所, アスカ・クリエイション(株)

(株)ティーエーシー, (株)グローバル・サイバーネット・システム

(株)ヌーボー・サイバー・ビジネス, 丸重商事(株)

3) 店舗

(株)ニュートーキョー, ヘアーアベニューファム, (株)三光マーケティングフーズ

(有)東池袋商事, レゾナンスダイニング(株), うどん四国, (株)ダイヤモンドダイニング

(4) 建物賃貸借契約の新規契約および解除

1) 丸重商事(株)2008年7月1日付をもって契約

2) レゾナンスダイニング(株)(事務所物件)2008年11月30日付をもって契約解除

3) (社)建築研究振興協会2008年12月1日付をもって増床契約



## 15.2 建築会館ホール利用状況

数字は利用回数

年 月 内 訳	2008年										2009年			合 計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
学会委員会等	5	4	4	9	3	2	26	9	9	4	3	11	89	
会 員	6	10	14	11	7	13	5	5	7	7	7	10	102	
一 般	11	7	6	8	4	8	0	8	3	6	13	8	82	
計	22	21	24	28	14	23	31	22	19	17	23	27	271	

## 15.3 建築会館会議室利用状況

数字は利用回数

年 月 内 訳	2008年										2009年			合 計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
学会委員会等	211	298	242	334	177	280	361	259	263	239	221	322	3,207	
一般貸会議室	48	24	48	48	41	38	30	45	38	46	46	55	507	
計	259	322	290	382	218	318	391	304	301	285	267	377	3,714	

## 15.4 建築博物館・ギャラリー利用状況

展示・開催期日	展 示 名 称
2008年	
4. 3～ 4. 7	早稲田大学建築学科二年有志主催「STUDY・集合住宅設計案の展示会」
4. 14～ 4. 20	(社)日本建築美術工芸協会主催「卯月展」
5. 13～ 6. 6	2008年日本建築学会賞・教育賞・作品選奨・文化賞・受賞業績展示会
6. 7～ 6. 13	2704会主催「第5回2704会展」
6. 16～ 6. 28	(社)日本建築美術工芸協会主催「アートパラダイス展」
6. 30～ 7. 12	全国専門学校建築教育連絡協議会主催「第8回専門学校卒業作品展示会」
7. 17～ 7. 19	(株)ベナ主催「第2回ARC250コンテスト」
7. 24～ 7. 25	建設トップランナーフォーラム主催「建設トップランナーフォーラム」
8. 16～ 8. 22	ファイバーアーティストギルド糸楽主催「布と糸による造形作品展・第7回糸楽展」
8. 25～ 8. 30	会員個人作品展「第5回いちこけんじ写真展」
9. 1～ 9. 4	全国陶器瓦工業組合主催「第14回賞瓦屋根・景観等設計実施例コンクール入賞作品展示」
9. 5～ 9. 12	建築家たちのスケッチ会主催「建築家たちのスケッチ展」
9. 15～ 9. 23	(社)日本建築美術工芸協会主催「AAC+A7展」
9. 26～ 9. 27	芝浦工業大学建築研究会主催「建築展・多種無様」
10. 1～10. 6	(財)住宅総合研究財団主催「世界遺産をつくった大工棟梁・中井大和守の仕事」
10. 17～10. 28	(社)日本建築学会「アーキニリング・デザイン展2008」
11. 3～11. 16	(社)日本建築美術工芸協会主催「シナジー展」
11. 18～11. 28	2008年度日本建築学会設計競技・技術部門設計競技入選作品展
12. 1～12. 8	彩寿会主催「第5回秋季展」
2009年	
1. 21～ 1. 26	(社)商業施設技術者・団体連合会主催「第6回主張するーみせー学生デザインコンペ入賞作品展」
1. 31～ 2. 5	セントラル硝子(株)主催「第43回国際建築設計競技・入選作品展示会」
2. 16～ 2. 20	日新工業(株)主催「建築設計競技・地球学校」

2. 24～ 3. 1	東京電機大学工学部建築学科「卒業設計展」
3. 3～ 3. 9	(社)日本建築学会関東支部「全国大学・高専卒業設計展示会」
3. 10～ 3. 15	新制作協会主催「新制作協会スペースデザイン部受賞作家展」
3. 16～ 3. 19	(社)建築設備総合協会主催「第7回環境・設備デザイン賞作品展示と第一次審査」
3. 21～ 3. 24	スタジオAZ主催「テキスタイルNOW・2009」
3. 27～ 3. 29	愛知産業大学通信教育部「建築卒業研究展」

## 15.5 イベント広場利用状況

展示・開催期日	展 示 名 称
2008年	
4. 14～ 4. 20	(社)日本建築美術工芸協会主催「卯月展」
6. 16～ 6. 28	(社)日本建築美術工芸協会主催「アートパラダイス展」
7. 4	(社)日本建築学会・熱環境運営委員会「第38回熱シンポジウム・ドライミスト実演」
7. 12	住宅総合研究財団主催「住総研シンポジウム・パーティー会場」
7. 19	(株)ベナ主催「第2回ARC250コンテスト・パーティー会場」
7. 24	建設トップランナーフォーラム主催「建設トップランナーフォーラム・パーティー会場」
9. 15～ 9. 23	(社)日本建築美術工芸協会主催「AAC+7展」
10. 4～10. 5	(社)日本建築学会「建築文化週間2008」
10. 17～10. 28	(社)日本建築学会「アーキニアリング・デザイン展2008」
11. 3～11. 16	(社)日本建築美術工芸協会主催「シナジー展」
11. 18	全国仮設安全事業協同組合主催「全国仮設安全大会・足場機材展示」

## 15.6 三宅島研修所

### (1)所在地・規模・構造

#### 施設概要

所在地 東京都三宅島三宅村阿古532-1

構 造 木造・板葺き

規 模 本棟 86.95㎡

別棟 9.92㎡(風呂・便所)

設 備 電気, ガス(プロパン), 給排水, 流し台, 冷蔵庫

宿 泊 1回10名まで可能

### (2)三宅島研修所利用状況

2005年9月より「三宅島災害・東京ボランティア支援センター」に貸与

## 16. 会 員

### 16.1 会員数の移動

種 別 摘要	正 会 員			正 会 員 小 計	準 会 員	賛 助 会 員		合 計
	個 人	法 人				社	口 数	
		社	口 数					
入 会	3,026	22	26	3,048	814	3	8	3,865
資 格 変 更		1		1	2	1		4
転 格	644			644				644
除 名 退 会 復 活	127	3		130	3	2		135
小 計	3,797	26	26	3,823	819	6	8	4,648
死 亡 ・ 退 会	2,390	54	70	2,444	139	14	17	2,597
資 格 変 更		1		1	2	1		4
転 格					644			644
除 名	1,336			1,336				1,336
小 計	3,726	55	70	3,781	785	15	17	4,581
本 年 度	33,405	917	1,520	34,322	931	283	320	35,536
前 年 度	33,334	946	1,564	34,280	897	292	329	35,469
増 減	71	▲29	▲44	42	34	▲9	▲9	67

### 16.2 支部地域会員数

種 別 支部名	正 会 員			正 会 員 小 計	準 会 員	賛 助 会 員		合 計
	個 人	法 人				社	口 数	
		社	口 数					
北 海 道	869	52	73	921	17	7	8	945
東 北	1,241	50	79	1,291	32	11	18	1,334
関 東	19,184	431	794	19,615	281	168	192	20,064
東 海	2,291	82	109	2,373	81	19	19	2,473
北 陸	1,105	43	53	1,148	25	16	17	1,189
近 畿	4,750	111	231	4,861	87	29	33	4,977
中 国	1,110	38	51	1,148	126	9	9	1,283
四 国	482	46	51	528	18	8	8	554
九 州	2,060	64	79	2,124	264	14	14	2,402
国 外	313	0	0	313	0	2	2	315
合 計	33,405	917	1,520	34,322	931	283	320	35,536

### 16.3 名誉会員

定款第15条により、本会の目的達成に多大の貢献をした者、または建築に関する学術・技術・芸術の進歩発達に功績顕著な者。本年度は推挙者なし。逝去者10名（年度中届出）。

逝去者	金 真一 君	2008/03/16	逝去
	金井 清 君	2008/04/13	逝去
	富井 政英 君	2008/04/11	逝去
	佐治 泰次 君	2008/04/19	逝去
	太田 利彦 君	2008/06/06	逝去

仲 威雄 君	2008/11/04逝去
ジョージ ハウスナー 君	2008/11/10逝去
洪 悦郎 君	2009/01/04逝去
若林 實 君	2009/01/17逝去
北後 寿 君	2009/01/23逝去

2008年度末現在総数 67名

## 16.4 終身正会員

定款第 14 条により 2008 年度において在会 50 年に達し、終身正会員待遇者に推挙された方は下記 87 名。  
年度中資格変更・退会者・逝去者等 87 名。

2008年4月 8名

安斎 嘉昭 君(東北)	木戸 信夫 君(関東)	藤原 博司 君(関東)	八十島 達夫 君(関東)
小竹 正夫 君(北陸)	吉田 繁治 君(北陸)	山本 勝 君(近畿)	永島 藤昭 君(九州)

2008年5月 4名

乾 正雄 君(関東)	須和田 利男 君(関東)	宮原 宏 君(関東)	佐々木 洋 君(近畿)
------------	--------------	------------	-------------

2008年6月 11名

青木 弘好 君(関東)	浅見 亀夫 君(関東)	土田 裕康 君(関東)	中西 正俊 君(関東)
松尾 陽 君(関東)	村上 雅也 君(関東)	渡辺 徳雄 君(関東)	福田 近 君(近畿)
俣野 善治 君(近畿)	好川 忠延 君(近畿)	荒巻 利男 君(九州)	

2008年7月 7名

石井 昭 君(関東)	川井 敏雄 君(関東)	八木澤 壯一 君(関東)	粕谷 国夫 君(東海)
福田 一豊 君(東海)	吉田 英彦 君(東海)	若林 時郎 君(北陸)	

2008年8月 8名

井野 智 君(北海道)	越野 武 君(北海道)	江口 和雄 君(関東)	河野 巖 君(関東)
小林 正春 君(関東)	根藤 毅 君(関東)	吉田 宏 君(関東)	渡辺 誠一 君(東海)

2008年9月 2名

服部 格治 君(東海)	山口 明 君(近畿)
-------------	------------

2008年10月 16名

釜田 幹男 君(北海道)	井波 孝夫 君(関東)	加藤 隆 君(関東)	金田 昭治 君(関東)
河島 良雄 君(関東)	島田 良一 君(関東)	鈴木 貞昭 君(関東)	鈴木 敏郎 君(関東)
寺田 秀夫 君(関東)	広瀬 謙次郎 君(関東)	峯 成子 君(関東)	清水 昭夫 君(東海)
柳澤 忠 君(東海)	宇埜 国男 君(北陸)	脇山 広三 君(近畿)	倉森 治 君(中国)

2008年11月 11名

伊原 恵司 君(関東)	白井 正子 君(関東)	谷田 義久 君(関東)	野口 凶書 君(関東)
三嶽 泰男 君(関東)	吉田 邦彦 君(関東)	水野 雅彦 君(東海)	伊藤 健次郎 君(近畿)
下河内 勇 君(近畿)	田口 進一 君(近畿)	橋口 賢之 君(近畿)	

2008年12月 13名

尾上 孝一 君(関東)	木下 晴二 君(関東)	佐々木 雄二 君(関東)	田中 淳夫 君(関東)
田中 順三 君(関東)	徳永 恵治 君(関東)	伴野 松次郎 君(関東)	森下 淳 君(関東)
山口 昭一 君(関東)	山崎 敏敏 君(関東)	横田 暉生 君(関東)	中村 泰人 君(近畿)
板東 忠史 君(四国)			

2009年1月 2名

照沼 弘 君(関東)	目良 純 君(関東)
------------	------------

2009年3月 5名

伊賀上 博志 君(関東)	佐藤 正吾 君(関東)	蓑原 敬 君(関東)	三輪 正弘 君(北陸)
夏目 昌明 君(近畿)			

2008年度末現在総数 1,265名

## 16.5 会友

本年度は、推挙者なし。

## 16.6 メールサービス

本会講習会，シンポジウム等イベント情報，論文募集や新刊案内などをE-MAILでお知らせするサービス。2002年2月25日の第1号から，毎月2回送信している。

### ・メールサービス送信数

号 数	送 信 日	送信件数
NO. 148	2008年 4月10日	10,922
NO. 149	4月25日	11,713
NO. 150	5月 9日	11,611
NO. 151	5月26日	11,799
NO. 152	6月10日	11,868
NO. 153	6月25日	12,092
NO. 154	7月10日	12,277
NO. 155	7月25日	12,356
NO. 156	8月10日	12,400
NO. 157	8月25日	12,408
NO. 158	9月10日	12,448
NO. 159	9月25日	12,482
NO. 160	10月10日	12,532
NO. 161	10月23日	12,540
NO. 162	11月 7日	12,613
NO. 163	11月25日	12,630
NO. 164	12月10日	12,781
NO. 165	12月25日	12,801
NO. 166	2009年 1月 9日	12,928
NO. 167	1月26日	13,087
NO. 168	2月12日	12,935
NO. 169	2月25日	12,890
NO. 170	3月10日	13,353
NO. 171	3月25日	13,377

## 16.7 能力開発支援制度 履修登録

### ・2008年4月1日より2009年3月31日まで

- |                           |         |
|---------------------------|---------|
| (1) データ登録件数               | 62,622件 |
| (2) 履修登録された人数             | 11,954名 |
| (3) 履修登録カード(磁気カード会員証)使用者数 | 3,021名  |
| (4) 登録メンバー(会員外)数          | 55名     |

## 16.8 ホームページアクセス数

・2008年度本会ホームページ訪問者数

	訪問者数
2008年4月	111,980
5月	112,934
6月	108,132
7月	107,804
8月	88,215
9月	99,824
10月	101,074
11月	89,128
12月	89,221
2009年1月	98,242
2月	94,999
3月	101,196

## 17. その他の重要事項

### 17.1 理事の登記に関する事項

登記事項	登記年月日	備考
2008年5月末日をもって任期満了の理事16名の後任として、新任の理事深尾副会長ほか15名の就任登記	2008年6月26日	東京法務局港出張所

### 17.2 文部科学省実地調査に関する事項

実施年月日	監査項目	実施場所
2008.7.31	「公益法人の設立および監督に関する規則」に基づく事業内容、実施状況ならびに計算書類、その他について	本会会議室

### 17.3 国税調査に関する事項

2008年度は行われず

### 17.4 都税調査に関する事項

2008年度は行われず

### 17.5 監事監査会に関する事項

実施年月日	監査項目	実施場所
2008.4.25	1) 2007年度の事業報告案について 2) 2007年度収支決算・財産目録および未処分金処分案について 3) 2007年度の会計に関する外部監査（新日本監査法人）について 4) 内部監査について ・国際的な情報発信のあり方について ・CPD事業のあり方について	本会会議室

### 17.6 寄付に関する事項

①運営基金		
1) 安藤伸治終身正会員		10,000円
計		10,000円
②アーキニアリング・デザイン展2008協賛金		
1) (社)日本建築構造技術者協会		4,000,000円
2) 鹿島建設(株)		1,000,000円
3) 東京電力(株)		1,000,000円
4) 森ビル(株)		1,000,000円
5) (株)NTTファシリティーズ		500,000円
6) (株)大林組		500,000円
7) (株)関電工		500,000円
8) (株)建築資料研究社・日建学院		500,000円
9) 積水ハウス(株)		500,000円
10) 大和ハウス工業(株)		500,000円

11)	(株)日建設計	500,000 円
12)	三井不動産(株)	500,000 円
13)	三菱地所(株)	500,000 円
14)	(株)三菱地所設計	500,000 円
15)	YKK AP(株)	500,000 円
16)	安藤建設(株)	300,000 円
17)	小川テント(株)	300,000 円
18)	川口金属工業(株)	300,000 円
19)	(株)久米設計	300,000 円
20)	(株)熊谷組	300,000 円
21)	黒沢建設(株)	300,000 円
22)	(株)佐藤総合計画	300,000 円
23)	神鋼鋼線工業(株)	300,000 円
24)	東京ガス(株)	300,000 円
25)	(株)巴コーポレーション	300,000 円
26)	(株)日本設計	300,000 円
27)	(株)松田平田設計	300,000 円
28)	(株)山下設計	300,000 円
29)	横河工事(株)	300,000 円
30)	太陽工業(株)	250,000 円
31)	(株)梓設計	200,000 円
32)	(株)石本建築事務所	200,000 円
33)	(株)協立建築設計事務所	200,000 円
34)	田島ルーフィング(株)	200,000 円
35)	TOTO(株)	200,000 円
36)	東京建築構造設計事務所協会	200,000 円
37)	東京製綱(株)	200,000 円
38)	日本ウェーブロック(株)	200,000 円
39)	フィグラ(株)	200,000 円
40)	(有) レモン	200,000 円
41)	(株)小川テック	100,000 円
42)	協立工業(株)	100,000 円
43)	(株)建研	100,000 円
44)	(株)大建設計	100,000 円
45)	(株)安井建築設計事務所	100,000 円
	計	19,450,000 円
	総合計	19,460,000 円

#### 17.7 委託研究の受託契約に関する事項【7.4(4)参照】

契約年月日	契約の名称・期間 (括弧内は理事会承認日)	委託者	担当委員会
2007. 9. 19	原子力発電所鉄筋コンクリート工事の品質管理の高度化に関する研究 2007年9月19日～2010年3月10日 (2007. 5. 14)	関西電力(株)他10社	材料施工委員会
2008. 5. 21	平成20年度地球環境研究総合推進費：低炭素社会の理想都市実現に向けた研究 2008年5月21日～2009年3月31日 (12. 19)	環境省地球環境局	低炭素社会特別調査委員会
7. 1	京都の都市景観の創生に関する調査研究業務 2008年7月1日～2009年3月31日 (6. 17)	京都市総合企画局	京都市の都市景観の創生特別委員会
7. 1	国立西洋美術館本館の保存活用計画策定	独立行政法人 国立美術館	建築歴史・意匠委



	に関する調査 2008年8月1日～2009年3月31日 (7.14)	国立西洋美術館	員会
9.10	韓国国内での空間構造物に対する設計指 針資料作成(その3) 2008年9月10日～2009年6月29日 (9.9)	(社)韓国空間構造学会 附 設研究所	構造委員会
9.11	荻窪小学校エコスクール化推進について の実践 2008年9月11日～2009年3月31日 (9.9)	杉並区教育委員会事務局	子ども教育事業 委員会
10.8	平成20年度長周期地震動対策に関する調 査業務 2008年10月8日～2009年3月19日 (11.11)	内閣府	構造委員会
10.27	建築設備の総合評価に関する調査研究 2008年10月27日～2009年1月31日 (10.8)	(財)資産評価システム研究 センター	建築経済委員会
12.22	(仮称)耐火性能の確保にむけた設計・工 事管理チェックシート等作成委託 2008年12月22日～2009年3月21日 (12.19)	墨田区	防火委員会

#### 17.8 委託業務の受託契約に関する事項

契約年月日	契約の名称・期間 (括弧内は理事会承認日)	委託者	担当委員会
2008.7.31	平成20年度技術者教育プログラム認定審 査業務 2008年7月31日～2009年3月31日 (12.19)	日本技術者教育認定機構	建築教育認定事 業委員会
10.15	平成20年度 地域社会づくりに関する共同 事業 2008年10月15日～2009年3月31日 (12.19)	日本大学生産工学部	住まいづくり支 援建築会議

## 17.9 主務官庁（文部科学省）からの連絡事項等

連絡年月日	連絡事項	履行事項
2008. 4. 16	平成 19 年度概況調査における国からの補助金・委託費の交付について(調査依頼)	4 月 17 日回答
4. 23	行政と密接な関係にある公益法人の総点検に伴う調査について (依頼)	4 月 25 日回答
5. 7	平成 21 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞及び若手科学者賞受賞候補者の推薦について (依頼)	
5. 30	実地検査の日程調整について	6 月 4 日回答
5. 30	公益認定等委員会作成のパンフレット (民による公益の増進を目指して)の配布について (連絡)	
6. 4	公益法人新制度に関するパンフレットについて (資料送付)	
6. 20	新公益法人制度に関する説明会について (周知)	
6. 23	文部科学大臣の所管に属する公益法人の業務等の実地検査の実施について (通知)	7 月 31 日に 実地検査実施
6. 26	資格の付与について (照会)	6 月 27 日回答
7. 3	公益法人の年間収入額及び国等からの支出額調査について (依頼)	7 月 3 日回答
7. 28	「ねんきん特別便」の送付に伴う周知・広報依頼のフォローアップについて (依頼)	7 月 31 日回答
8. 4	新文部科学大臣等に係る兼職状況調査 (照会)	8 月 4 日回答
8. 5	「新公益法人制度に係わる説明会 (8 月 25 日開催)」に関するご案内	
8. 6	「民間社会教育活動振興費補助金」により建設した施設等の財産処分について (通知)	
9. 24	新制度への移行希望調査について (照会)	9 月 26 日回答
9. 25	地方公共団体から国所管公益法人への支出について(平成 18 年度決算額) (依頼)	9 月 29 日回答
9. 29	新文部科学大臣等に係わる兼職状況調査 (照会)	9 月 29 日回答
9. 29	行政支出総点検のための資料について (依頼)	10 月 2 日回答
10. 29	第 2 回新公益法人制度に係わる説明会 (11 月 11 日 (火) 開催)」について (案内)	
11. 25	改正国家公務員法の運用のための公益法人調査について (依頼)	11 月 26 日回答
12. 4	文部科学大臣の所管に属する特例民法法人からの許認可等の申請等について (案内)	
12. 5	国家公務員の再就職状況に関する予備的調査への対応について (依頼)	12 月 8 日回答
12. 5	平成 20 年度特例民法法人概況調査について	12 月 17 日回答
12. 9	実地検査の結果について (通知)	
2009. 1. 14	平成 21 年度 (第 50 回) 科学技術週間について (依頼)	
2. 2	平成 21 年度 1 月 29 日現在の貴法人の長について (依頼)	2 月 2 日回答
2. 25	「各府省所管公益法人についての財務, 特に内部留保の状況について」に関する調書について (依頼)	3 月 4 日回答
2. 27	事業名称に「検定」とつく事業について (確認依頼)	3 月 2 日回答
3. 23	供養塔等を所有する特例民法法人について (調査依頼)	3 月 23 日回答
3. 31	「国と特に密接な関係がある」特例民法法人への該当性の公表, 報告等について (依頼)	4 月 3 日回答

## 18. 役員等

### 18.1 民法上の役員

2008年度末現在

役名	氏名	就任年月日	担当職務	手当	現職	備考
会長	斎藤 公男	2007年6月1日	総括	なし	日本大学名誉教授	
副会長	中川 武	2007年6月1日	研究	なし	早稲田大学教授	
同	中島 正愛	2007年6月1日	支部・学術ビュー	なし	京都大学防災研究所教授・(独)防災科学技術研究所兵庫耐震工学研究センターセンター長	
同	最上 公彦	2007年6月1日	会務	なし	(株)竹中工務店常務取締役	
同	櫻井 潔	2008年6月1日	教育	なし	(株)日建設計取締役副社長	
同	深尾 精一	2008年6月1日	社会・情報	なし	首都大学東京教授	
理事	広田 直行	2007年6月1日	総務	なし	日本大学准教授	
同	大森 文彦	2008年6月1日	同	なし	東洋大学教授・大森法律事務所	
同	南 一誠	2008年6月1日	同	なし	芝浦工業大学教授	
同	林 幸雄	2007年6月1日	会計	なし	鹿島建設(株)常務執行役員	
同	井上 容子	2008年6月1日	同	なし	奈良女子大学教授	
同	相良 和伸	2007年6月1日	会員	なし	大阪大学教授	
同	定行まり子	2008年6月1日	同	なし	日本女子大学教授	
同	伊藤 毅	2007年6月1日	学術	なし	東京大学教授	
同	竹脇 出	2007年6月1日	同	なし	京都大学教授	
同	宮崎 裕雄	2008年6月1日	同	なし	清水建設(株)執行役員, 設備・BLC本部長	
同	五十嵐太郎	2007年6月1日	図書	なし	東北大学准教授	
同	藤岡 洋保	2008年6月1日	同	なし	東京工業大学教授	
同	円満 隆平	2007年6月1日	事業	なし	金沢工業大学教授	
同	北山 恒	2007年6月1日	同	なし	横浜国立大学教授	
同	工藤 和美	2007年6月1日	同	なし	東洋大学教授	
同	市之瀬敏勝	2008年6月1日	同	なし	名古屋工業大学教授	
同	北澤 章	2007年6月1日	会館	なし	(株)JR東日本建築設計事務所専務取締役	
同	森 暢郎	2008年6月1日	同	なし	(株)山下設計代表取締役社長	
同	星野 政幸	2008年6月1日	北海道	なし	北海道工業大学教授	
同	吉野 博	2008年6月1日	東北	なし	東北大学教授	
同	新宮 清志	2008年6月1日	関東	なし	日本大学教授	
同	谷口 元	2007年6月1日	東海	なし	名古屋大学教授	
同	秦 正徳	2008年6月1日	北陸	なし	富山大学教授	
同	渡邊 史夫	2007年6月1日	近畿	なし	京都大学名誉教授	
同	三浦 賢治	2007年6月1日	中国	なし	広島大学教授	
同	林 茂樹	2008年6月1日	四国	なし	(株)林建築事務所代表	
同	渡邊 俊行	2007年6月1日	九州	なし	九州大学教授	

### 18.2 監事

役名	氏名	就任年月日	担当職務	手当	現職	備考
監事	三橋 博三	2007年6月1日		なし	東北大学教授	
同	竹下 輝和	2008年6月1日		なし	九州大学教授	

2007年6月就任 任期:2007年6月1日～2009年5月31日

2008年6月就任 任期:2008年6月1日～2010年5月31日

### 18.3 代議員

任 期	第9期代議員：2008年4月1日～2010年3月31日	第8期代議員：2007年4月1日～2009年3月31日
支 部	新 任 (所 属)	留 任 (所 属)
第1区 北海道 定員6名	串山 繁 (北海学園大学教授) 緑川 光正 (北海道大学教授) 向山 松秀 ((株)石本建築事務所札幌支所支 所長)	飯田 雅史 (北海道工業大学教授) 猪股 宣夫 (大成建設(株)札幌支店副支店長) 城 攻 ((株)総研設計顧問)
第2区 東北 定員8名	石坂 公一 (東北大学教授) 磯部 正 (国土交通省東北地方整備局営繕 部長) 狩野 勝重 (日本大学教授) 渡邊 英明 (東日本旅客鉄道(株)仙台支社総 務部企画室担当部長)	高橋 恒夫 (東北工業大学教授) 武 修司 (仙台市都市整備局公共建築部営繕 課長) 出村 克宣 (日本大学教授) 源栄 正人 (東北大学教授)
第3区 関東 定員50名	荒井 良延 (鹿島建設(株)技術研究所主席研 究員) 植野 糾 (鹿島建設(株)建築設計本部統括 グループリーダー) 江本 正和 ((株)松田平田設計専務取締役業 務統括室長) 大川 出 ((独)建築研究所構造研究グルー プ主席研究監) 大野 茂 (大成建設(株)技術センター知的 財産部長) 岡田 昭彦 ((株)NTTファシリティーズ理事・ 建築事業本部建築デザイン部門 長) 岡田 章 (日本大学教授) 嘉納 成男 (早稲田大学教授) 河津 行隆 ((株)大林組東京本社設計本部設 計部長) 河野 晴彦 (大成建設(株)設計本部統括グル ープリーダー) 後藤 春彦 (早稲田大学教授) 小宮 英孝 ((株)大林組技術研究所副所長, 都市・居住環境研究室長兼務) 島崎 昭彦 (防衛省装備施設本部施設計画課 提供施設整備工事室長) 末廣 康久 ((株)安井建築設計事務所企画部 部長) 菅 順二 ((株)竹中工務店東京本店設計部 設計担当マネージャー) 曾根 陽子 (日本大学教授) 谷口 元 ((株)竹中工務店技術研究所建設 技術研究部長) 田村 和夫 (清水建設(株)技術研究所副所長) 永易 修 ((株)フジタ建築本部建築技術統 括部技術部長) 長谷見雄二 (早稲田大学教授)	安達 俊夫 (日本大学教授) 磯崎 浩 (鹿島建設(株)建築設計本部構造設 計統括グループリーダー) 井上 勝夫 (日本大学教授) 入江 正之 (早稲田大学教授) 上之 蘭隆志 ((財)ベターリビング構造審査部 部長) 川口 彰久 ((株)大林組技術研究所技術ソリ ューション部主任研究員) 川元 茂 (国土交通省九州地方整備局営繕部 部長) 小堀 徹 ((株)日建設計常務執行役員構造設 計部門代表) 桜田 智之 (日本大学教授) 桜本 文敏 (鹿島建設(株)技術研究所建築生産 グループ長) 佐塚 和夫 ((株)熊谷組常務取締役建築事業本 部本部長) 佐藤 英嗣 ((株)久米設計常務執行役員設計推 進本部本部長) 芝山 哲也 (大成建設(株)設計本部プロジェク ト群統括) 高澤 恒男 (戸田建設(株)建築設計統轄部構造 設計部長) 高橋 紀行 ((株)竹中工務店技術研究所取締 役所長) 塚本 正己 ((株)フジタ東京支店建築技術部長) 当麻 茂尚 (清水建設(株)設計本部副本部長) 中川 武 (早稲田大学教授) 中川 喜光 (東日本旅客鉄道(株)事業創造本部 次長) 榎府 龍雄 ((独)建築研究所国際協力審議役) 橋本 康則 ((株)大林組設計本部副本部長) 森川 泰成 (大成建設(株)技術センター建築技 術開発部部長)

任 期	第9期代議員：2008年4月1日～2010年3月31日	第8期代議員：2007年4月1日～2009年3月31日
支 部	新 任 (所 属)	留 任 (所 属)
関東	藤野 立夫 (東急建設(株)建築総本部設計本部本部長) 宮崎 博之 (戸田建設(株)建築工事統轄部建築工務部長) 本橋 健司 ((独)建築研究所材料研究グループ長 (併任) 建築生産研究グループ長) 横河 健 (日本大学教授) 吉松 賢二 ((株)熊谷組技術研究所副所長)	安井 幹人 ((株)NTTファシリティーズ取締役営業本部副本部長) 安田 隆 (東急建設(株)執行役員住宅本部長) 葭内 博史 ((株)竹中工務店東京本店設計部部長)
第4区 東海 定員12名	大森 博司 (名古屋大学教授) 小川 英明 (愛知産業大学教授) 掛布 勇 ((株)大林組名古屋支店執行役員副支店長) 小山 裕康 (トヨタ自動車(株)プラント・エンジニアリング部部長) 鈴木 賢一 (名古屋市立大学教授) 中神 俊士 (名古屋市住宅都市局営繕部部長)	片岡 靖夫 (中部大学教授) 河田 克博 (名古屋工業大学教授) 黒野 雅好 ((株)日本設計名古屋支店シニアアーキテクト) 駒田 敏行 (東邦ガス(株)技術部建築・土木技術グループマネジャー) 澤柳 達男 ((株)竹中工務店福井営業所営業所長) 吉久 光一 (名城大学教授)
第5区 北陸 定員6名	櫻井 康宏 (福井大学教授) 滝川 博 (富山県土木部営繕課長) 辻岡 静雄 (福井工業大学教授)	土田 義郎 (金沢工業大学教授) 土井 希祐 (新潟大学教授) 中込 忠男 (信州大学教授)
第6区 近畿 定員18名	阿波野昌幸 ((株)日建設計構造設計部門構造設計室主管) 岩下 智 ((株)鴻池組建築本部エンジニアリング部技術課長) 大淵 敏行 ((株)安井建築設計事務所大阪事務所工事管理部長) 河井 宏允 (京都大学防災研究所教授) 神吉紀世子 (京都大学准教授) 多賀 謙蔵 ((株)日建設計構造設計部門副代表兼構造設計室長) 谷 明勲 (神戸大学教授) 谷口与史也 (大阪市立大学准教授) 辻 聖晃 (京都大学准教授)	石田潤一郎 (京都工芸繊維大学教授) 井上 一朗 (京都大学教授) 金多 隆 (京都大学准教授) 河野 進 (京都大学准教授) 高松 伸 (京都大学教授) 中田 浩之 (鹿島建設(株)建築設計本部構造設計統括グループチーフエンジニア) 福森 享 ((株)東畑建築事務所大阪事務所構造部部長) 前野 敏元 ((株)竹中工務店大阪本店設計部構造部門マネージャー) 安井 雅明 ((株)大林組本店建築設計第8部部長)
第7区 中国 定員6名	岩井 哲 (広島工業大学教授) 木戸 英樹 ((株)フジタ広島支店設計部長) 平野 吉信 (広島大学教授)	倉森 治 ((株)倉森建築設計事務所代表取締役) 寺岡 勝 (呉工業高等専門学校教授) 西名 大作 (広島大学教授)
第8区 四国 定員4名	上田 堯世 ((合)上田建築事務所代表) 福井 一博 (プランニングラボ(株)比呂代表取締役)	平野 祐一 (平野地域計画代表) 曲田 清維 (愛媛大学教授)
第9区 九州 定員10名	大井 尚行 (九州大学准教授) 木村 潤一 (福岡大学教授) 西川 長秀 (戸田建設(株)本社) 堀 賀貴 (九州大学教授) 山田 義智 (琉球大学教授)	志賀 勉 (九州大学講師) 曾我 和弘 (鹿児島大学准教授) 太記 祐一 (福岡大学准教授) 森 敏彦 (福岡市住宅都市局住宅政策部長) 山成 實 (熊本大学准教授)

18.4 支所長

2008年度末現在

支 部	支 所	支 所 長	所 属・職 名
東北支部	青森支所	盛 勝昭	(株)盛興業社代表取締役
	秋田支所	安原 盛彦	秋田県立大学教授
	岩手支所	鈴木 徹	岩手県県土整備部建築住宅課 技術参事兼総括課長
	山形支所	相羽 康郎	東北芸術工科大学教授
	福島支所	佐々木孝男	福島県土木部建築総室建築住宅課長
関東支部	茨城支所	増澤 敬	(株)日立建設設計技術顧問
	栃木支所	岩本 太郎	高崎市役所水道局長
	群馬支所	大冢 義樹	日本ERI(株)
	埼玉支所	市川 毅	麓建築設計事務所代表
	千葉支所	麓 佳正	神奈川大学助手
	神奈川支所	福井 通	(株)早野組相談役
東海支部	静岡支所	岩田 俊昭	静岡県総務部企画監 [営繕担当] 付技監
	三重支所	石川 幸雄	三重大学教授
	岐阜支所	今井 裕夫	京都橘大学教授
北陸支部	新潟支所	穂積 秀雄	新潟工科大学教授
	富山支所	白山 徹	(社)富山県建築士事務所協会事務局長
	石川支所	久保 猛志	金沢工業大学教授
	福井支所	松下 聡	福井大学教授
	長野支所	中込 忠男	信州大学教授
中国支部	鳥取支所	森本 博美	(社)鳥取県建築士会専務理事
	島根支所	和美 廣喜	島根大学教授
	岡山支所	藤井 義和	岡山県土木部都市局建築指導課長
	山口支所	田中 充	(株)鴻池組広島支店山口駐在営業顧問
四国支部	香川支所	佐藤 准一	香川県土木部建築課長
	徳島支所	新居 輝和	新居建築研究所
	高知支所	岡本 眞一	高知県土木部建築指導課長
	愛媛支所	村上 慶裕	愛媛県土木部道路都市局建築住宅課長
九州支部	福岡支所	竹下 輝和	九州大学教授
	佐賀支所	丹羽 和彦	佐賀大学教授
	長崎支所	村田 明久	長崎総合科学大学教授
	熊本支所	河野 昭雄	崇城大学教授
	大分支所	真鍋 正規	大分大学教授
	宮崎支所	樋口 栄作	都城工業高等専門学校教授
	鹿児島支所	友清 貴和	鹿児島大学教授
	沖縄支所	池田 孝之	琉球大学教授

## 18.5 職員名簿

2008年度末現在

職 務	氏 名	就任年月日	担当事務	備 考
事務局長	真木 康守	2005年4月1日	総 括	
主 幹	川田 昭朗	2007年4月1日	局長補佐	
グループ長	小野寺 篤	2007年4月1日	総務グループ	
副主幹	山口 成人	2000年4月1日	〃	
〃	峯浦 敏	1988年4月1日	〃	
〃	中村 幹久	1987年4月1日	〃	
係主任	一ノ瀬雅代	2006年4月1日	〃	
グループ長	鈴木 大介	2008年4月1日	財務グループ	
副主幹	山口 英樹	2001年4月1日	〃	
係主任	江崎清一郎	2006年4月1日	〃	
係 員	北嶋 慎一	2009年1月1日	〃	
グループ長	森山 一之	2007年4月1日	会員・情報グループ	
副主幹	須藤 智宏	2003年4月1日	〃	
〃	芳沢ひとみ	2003年4月1日	〃	
〃	三枝ゆりえ	2002年4月1日	〃	
係主任	小島 純	2007年4月1日	〃	
グループ長	今井 浩	2007年4月1日	研究事業グループ	
副主幹	森田 進	1989年4月1日	〃	
〃	浜田 政治	1997年4月1日	〃	
〃	伏見 朋枝	2004年4月1日	〃	
〃	酒井 正純	2006年4月1日	〃	
〃	大野 智洋	2005年4月1日	〃	
グループ長	鎌田 潤一	2007年4月1日	出版・普及事業グループ	
副主幹	森脇 博	2002年4月1日	〃	
〃	米沢 香織	2003年4月1日	〃	
〃	榎本 和正	2005年4月1日	〃	
〃	安 裕和	2005年4月1日	〃	
グループ長	三島 隆	2007年4月1日	定期刊行物グループ	
副主幹	片寄 尚	2003年4月1日	〃	
係主任	栗原いず美	2002年4月1日	〃	